TD61-4756P

APRESIA Systems スイッチングハブ

ApresiaLight シリーズ

ApresiaLightFM/GM/GM152GT

ハードウェアマニュアル

APRESIA Systems 株式会社

制 定 ・ 改 訂 来 歴 表

No.	年　　月　　日	内　　容
-	2011年1月26日	・新規制定
A	2011年5月31日	・輸出する際のご注意 説明文修正 ・3.2.2 ラックへの取り付け方法 奥行き(内寸)の誤記訂正 ・3.2.2.3 専用ラックマウント金具(2台連結用) 注意書き追記 ・100BASE-FX SFP対応を追記 ・表1-4、表1-6、表1-7 ラックマウント金具(2台連結用) 本体取り付け用ネジ数の誤記訂正 ・表2-6、表2-7 PoE給電機能デフォルト値変更予定バージョンを追記
B	2012年2月9日	・表2-3～10にACインレットコネクター仕様、フラッシュメモリー容量、騒音特性、瞬停特性を追加 ・表2-3～10 電源仕様の周波数を修正(50/60Hz → 47～63Hz) ・表2-6～7 消費電力、平均消費電力、発熱量の誤記修正 ・表2-11～18 (2) CONSOLE LED 緑点滅の説明文修正(自装置または接続先のLoop検知を追加) ・表2-11～18 CONSOLE LED 緑点滅の注意書き追加
C	2012年3月26日	・表2-14、15 No.(3)10/100Mポート LINK/ACT LEDと(4)PoE LEDに注記*1)を追加
D	2012年5月29日	・2.3.9 補足事項を追加
E	2013年3月25日	・全体：APLGM110/124GTPOEを追加 ・表2-1 準拠規格のRoHS対応に注記を追加 ・表2-6 概略仕様(No.24 PoE 給電機能)の機能説明内容を変更 ・表2-7 概略仕様(No.24 PoE 給電機能)の機能説明内容を変更 ・2.5 対応トランシーバーに100BASE-FX SFP(H-FX-SFP-A)を追加 ・2.5 対応トランシーバーの100BASE-FX SFP使用上の注意点を変更 ・3.2.6 マグネットの取り付け方法 ネジ長さの誤記訂正：＜誤＞M3×8 → ＜正＞M3×7.3 ・7 トラブルシューティングの内容を追加/修正 ・7.2 Telnetに関連する現象と対策を追加 ・7.3 スイッチングハブ機能に関連する現象と対策の内容を追加 ・7.4 VLANに関連する現象と対策を追加 ・7.5 SFPに関連する現象と対策を追加 ・7.6 PoEに関連する現象と対策を追加 ・7.7 FANに関連する現象と対策を追加
F	2014年6月23日	・全体：社名を変更 ・全体：APLGM152GTを追加 ・1.4.2、3.2.6 マグネットの型式をAL-MG-B02に変更

No.	年　月　日	内　容
		・表 2-2 湿度表記を%RH に変更 ・2.3 概略仕様 騒音特性の単位を dB(A)に修正、JISX7779(残響室での音響パワーレベル)を追記 電源仕様を入力電圧範囲に変更 消費電力を最大消費電力に変更 平均消費電力を消費電力(典型値)に変更 定格電流を最大入力電流に変更 ・2.5 対応トランシーバー 100BASE-FX SFP(H-FX-SFP-A/B)の備考に補足事項を追加 ・3.2.1 設置条件 段積み設置の制限事項修正 ・3.2.6 マグネットの取り付け方法 ネジ長さの変更：M3×7.3 → M3×5.4
G	2014 年 9 月 23 日	・全体：APLFM104GTPOE を追加 ・1.1 本書の位置づけに記載の URL を変更 ・3.2.1 設置条件 (6) 熱を発する装置を本装置の上下に設置する場合に必要な離隔距離(目安)を追加 ・7.6 PoE に関連する現象と対策に「端末へ給電されない」を追加 ・7.7 FAN に関連する現象と対策に「電源投入しても冷却ファンが回転しない」を追加
H	2016 年 3 月 8 日	・はじめに：本製品のネジ穴/貫通穴に関する警告を追加 ・1.4.2、3.2.6 マグネットの型式を AL-MG-B03 に変更 ・表 2-3～14 概略仕様 項目名をカタログと統一 No.4：アドレス登録数→MAC 登録数 No.6：スイッチング容量→スイッチ容量 No.7：CPU メモリー容量→CPU メモリー No.8：フラッシュメモリー容量→フラッシュメモリー No.9：SW バッファ容量→パケットバッファー ・表 2-3～13 概略仕様 表記、単位をカタログと統一 No.6：Gbit/s→Gbps No.7：MB→Mbyte No.8：MB→Mbyte No.9：KB→Kbyte ・表 2-13 騒音特性の表記変更(FAN 通常回転時 → FAN 低速回転時) ・表 2-14 概略仕様 表記、単位をカタログと統一 No.6：Gbit/s→Gbps No.7：MB→Mbyte No.8：MB→Mbyte

No.	年　月　日	内　容
		No.9：MB→Kbyte ・表 2-14 パケットバッファーの誤記修正(1.5Mbyte → 3Mbyte) ・3.2.1 設置条件の段積み設置の注意にトランシーバーの型式を追加 ・3.2.3 壁面への取り付け方法に注記を追加 ・3.2.6 マグネットの取り付け方法に注記を追加 ・3.4.1 接地極に関する警告を追加 ・7.7 FAN 回転数単位の誤記修正(prm → rpm)
I	2016 年 12 月 12 日	・全体：社名を変更 ・2.4.2 リアパネル 表 2-27,28,29,30,31,32,33,34,35,36,37,38 に注釈を追記 ・2.4.3 トップパネル 図 2-31,32,33,34,35 の図面変更 表 2-39,40,41,42,43,44,45,46,47,48,49,50 に注釈を追記 ・2.5.5 ApresiaLightGM108GT-SS/PoE を ApresiaLightGM110GT-SS/PoE に誤記訂正 ・3.4.1 AC 電源の接続 リアパネル図面を訂正
J	2017 年 11 月 1 日	・はじめに：静電気に関する警告を追加 ・ツイストケーブル→ツイストペアケーブルに表現変更 ・全体：APLGM118GTPOE を追加 ・表 1-3 保証書の備考欄に電子版保証書に関する説明を追加 ・2.4.2 リアパネル 図 2-14,15,16,17,18,19,20,21,22,23,25,26 の図面変更 ・2.4.3 トップパネル 図 2-27,28,29,30,31,32,33,34,35,36,37,39 の図面変更
K	2018 年 12 月 28 日	・安全に関するご注意：修理→RMA に表現変更 ・2.3 概略仕様：騒音特性変更 ・2.4.3 トップパネル 図 2-39 の図面変更 図 3-7 の図面変更
L	2020 年 2 月 12 日	・はじめに：電波障害自主規制 クラスＡ情報技術装置→クラス A 機器に、家庭環境→住宅環境に変更 ・全体：ApresiaLightGM1xxGT-PoE2 の情報を追加 ・表 1-3 保証書削除 ・1.4.2 別売り品に AC200V 用電源コード、L 型 AC100V 用電源コード追加 ・1.4.2 別売り品の専用コンソールケーブルを、販売終了に伴い削除 ・表 2-5 騒音特性 約 18dB→20 dB 以下(FAN レス)に変更 ・図 2-37,38,39,41,43,45,46,47 の図面変更(APLGM1xxGT-PoE2 に変更) ・図 2-3,7,11,15,19,23,27,31,35,51 の図面変更(製造元ラベル削除) ・「本製品」の表記を「本装置」に変更

No.	年　月　日	内　容
		・「吸気口」の表記を「通風孔」に統一 ・「安全にお取り扱いいただくために」に禁止マーク(丸に斜線)の図記号を追加 ・「安全に関するご注意」の「RMA の際にはお買い求めの販売店もしくは販売元に RMA を依頼してください」の表記を削除 ・2.4「各部の名称と機能」の表記を、パネルの面→機種の順から、機種→パネルの面の順に変更 ・2.4「各部の名称と機能」に、サイドパネルの図を追加し、ネジ穴の適用金具の情報を追加 ・本文中の禁止事項に禁止マーク（丸に斜線）の図記号を表示 ・表 2-73 注記「*1) ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 は未サポート。」を追加 ・6.「ソフトウェア使用承諾契約」の「Ethernet は、米国 Xerox Corp.の登録商標です。」を「Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。」に変更 ・7.7 FAN 異常で PoE 給電停止する機種に APLGM118GTPoE/PoE2 を追加 ・7.7 APLGM118GTPOE/POE2 の FAN 番号と配置を示す図を追加
M	2020 年 5 月 28 日	・表紙会社ロゴマークの変更 ・1.1 本書の位置づけにある URL アドレスを変更 ・1.4.2 別売り品の専用マグネット型式変更および注意事項を追加 ・2.3 概略仕様 書式変更および項目表記、注釈の見直し ・2.3.11 発熱量の AC200V PoE フル給電時の値を修正 1080→1066 ・2.5.5 表 2-72 に 1000BASE-BX10 と 1000BASE-BX20、注釈*2)を追加 ・2.5.6 表 2-73 に 1000BASE-BX10 と 1000BASE-BX20、注釈*2)を追加 ・2.5.7 表 2-74 に 1000BASE-BX10 と 1000BASE-BX20、注釈*2)を追加 ・3.2.6 マグネット型式を AL-MG-B04 に変更 ・3.6.2.1 表 3-4 に H-BX10-SFP と H-BX20-SFP を追加 ・4.システムパラメーターの設定手順の表示例を変更 ・その他誤記訂正
N	2020 年 8 月 21 日	・1.4.2 別売り品 縦置き KIT(小)の型式 AL-TOKT-B01 を AL-TOKT-B02 に変更 ・2.5.5、2.5.6、2.5.7 ファームウェアバージョン「1.14 以降」を「1.14.00 以降」に変更 ・3.2.4 縦置き KIT の取り付け方法 縦置き KIT(小)の形状変更に伴い、取り付け方法の図を変更 の名称を「本体取付用ネジ」に統一 手順の説明文の見直し ・3.5 装置起動の確認 PWR LED の「点灯状態を確認」を「点灯することを確認」に変更

No.	年　　月　　日	内　　容
		・表記の見直し 「下記」を「以下」に変更 「FAN なし」「FAN レス」を「FAN レス」に統一
0	2021 年 1 月 25 日	・1.4.2 別売り品の 1.4.2.1 と 1.4.2.4 ラックマウント金具(2 台連結用)型式 AL-2P-RM01 追加および説明文を追加。それに伴う表項番の見直し ・3.2.2.4 専用ラックマウント金具(2 台連結用)(AL-16-8-2P-RM) 組み合わせ時の注意文章を追加 ・3.2.2.5 ラックマウント金具(2 台連結用)(AL-2P-RM01)を追加 ・6.「ソフトウェアの使用承諾契約」を「ソフトウェア使用について」に変更し、内容の見直しを実施
P	2021 年 2 月 17 日	・目次と安全事項の再掲載(前版で非表示となっていたため) ・1.4.1 標準添付品でラックマウント金具に参照先を追記 ・1.4.2 別売り品の装置毎の表記を統合 ・3.2 本装置の設置 ネジ締め付けトルク推奨値を見直し、全体の数値を更新 (M3:0.39→0.69N･m、M5:0.69→2.45N･m) ネジにピッチ情報(ISO 並目)を追記 ・3.2.2.1 標準添付ラックマウント金具に構成品情報を追加 ・3.2.2.3 専用ラックマウント金具(AL-16-8-RM)の重複記載ページの削除および見出し番号とページ数の見直し ・その他体裁修正

はじめに

この度は、スイッチングハブ ApresiaLightFM/GM シリーズ、ApresiaLightGM152GT をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。お使いになる前に、本書をよくお読みください。また、お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保管してください。

本書は、本装置を正しくご利用頂く上で必要な機能説明および操作方法について記述してあります。本装置のソフトウェアに関する設定や表示方法については別冊 CLI マニュアル及び SW マニュアルを参照してください。

⚠ **警告**	本装置には、お客様がカバーを開けて作業する項目はありません。感電する恐れがありますのでカバーを絶対開けないでください。
⚠ **警告**	本装置のネジ穴/貫通穴は、本装置の付属品/別売品用に設計されています。感電や火災の原因の恐れがありますので、本装置のネジ穴/貫通穴はこれ以外の用途に使用しないでください。
⚠ **警告**	電源が入っているとき、光ポート及びそれに接続されている光ファイバーの終端を直視しないでください。目に損傷を与える恐れがあります。

【本書をお読みになる前の注意事項】

電波障害自主規制

この装置は、クラスＡ機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ＶＣＣＩ－Ａ

使用環境のご注意

医療機器や兵器システムの制御など直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途に使用されるよう設計・製造されたものではありません。そのような用途には使用しないでください。使用される場合、当社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

輸出する際のご注意

本装置は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本装置は日本国外で使用された場合当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本装置に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

使用上のご注意

・本装置の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・本装置は、一般事務用、パーソナル用などの一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、医療機器、原子力設備、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本装置を使用しないでください。

【ご注意】
・本書はAPRESIA Systems(株)が著作権を保有しています。
・内容を無断で転載したり、複写したりすることは固くお断り致します。
・本書の内容については、改良のため予告なく変更することがあります。

目次

1. ご使用の前に..... 15
1.1 本書の位置づけ..... 15
1.2 マニュアル分類..... 16
1.3 特徴..... 16
1.4 構成品..... 17
1.4.1 標準添付品..... 17
1.4.2 別売り品..... 18
2. 本装置の仕様..... 20
2.1 準拠規格..... 20
2.2 環境条件及び電源条件..... 20
2.3 概略仕様..... 21
2.3.1 ApresiaLightFM108GT-SS..... 21
2.3.2 ApresiaLightFM116GT-SS..... 23
2.3.3 ApresiaLightFM124GT-SS..... 25
2.3.4 ApresiaLightFM104GT-PoE..... 27
2.3.5 ApresiaLightFM108GT-PoE..... 29
2.3.6 ApresiaLightFM116GT-PoE..... 31
2.3.7 ApresiaLightGM110GT-SS..... 33
2.3.8 ApresiaLightGM118GT-SS..... 35
2.3.9 ApresiaLightGM124GT-SS..... 37
2.3.10 ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2..... 39
2.3.11 ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2..... 41
2.3.12 ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2..... 43
2.3.13 ApresiaLightGM152GT..... 45
2.3.14 補足事項..... 46
2.4 各部の名称と機能..... 47
2.4.1 ApresiaLightFM108GT-SS..... 47
2.4.2 ApresiaLightFM116GT-SS..... 52
2.4.3 ApresiaLightFM124GT-SS..... 57
2.4.4 ApresiaLightFM104GT-PoE..... 62
2.4.5 ApresiaLightFM108GT-PoE..... 67
2.4.6 ApresiaLightFM116GT-PoE..... 72
2.4.7 ApresiaLightGM110GT-SS..... 77
2.4.8 ApresiaLightGM118GT-SS..... 82
2.4.9 ApresiaLightGM124GT-SS..... 87
2.4.10 ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2..... 92
2.4.11 ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2..... 97
2.4.12 ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2..... 102

2.4.13 ApresiaLightGM152GT 107
2.5 対応トランシーバー 112
2.5.1 ApresiaLightFM104GT-PoE 113
2.5.2 ApresiaLightFM108GT-SS/PoE 113
2.5.3 ApresiaLightFM116GT-SS/PoE 113
2.5.4 ApresiaLightFM124GT-SS 114
2.5.5 ApresiaLightGM110GT-SS/PoE/PoE2 114
2.5.6 ApresiaLightGM118GT-SS/PoE/PoE2 115
2.5.7 ApresiaLightGM124GT-SS/PoE/PoE2 115
2.5.8 ApresiaLightGM152GT 116
3. 設置および接続 117
3.1 接続ケーブルの準備 118
3.1.1 接続に必要なケーブル 118
3.1.2 コンソールポートの詳細 119
3.1.3 パラメーター設定端末が D-SUB9 ピンの場合 120
3.2 本装置の設置 121
3.2.1 設置条件 121
3.2.2 ラックへの取り付け方法 122
3.2.3 壁面への取り付け方法 131
3.2.4 縦置き KIT の取り付け方法 132
3.2.5 AC 電源コードストッパーの取り付け方法 133
3.2.6 マグネットの取り付け方法 134
3.2.7 筐体ゴム足の取り付け方法 136
3.3 トランシーバーの装着 137
3.3.1 SFP の装着 137
3.3.2 SFP の脱着 138
3.4 電源の接続 139
3.4.1 AC 電源の接続 139
3.5 装置起動の確認 140
3.6 周辺機器の接続 141
3.6.1 RJ45 ポートの接続 141
3.6.2 光ポートの接続 141
4. システムパラメーター設定の手順 143
4.1 コンソールポートからパラメーターの設定 145
4.1.1 パラメーター設定端末の準備 145
4.1.2 パラメーター設定端末の接続 145
5. パラメーターの設定 146
5.1 基本的なキー操作 146
5.2 初期ログイン方法 148
5.3 ユーザーアカウント設定 148

5.3.1 ユーザーアカウントの作成 148
5.3.2 パスワードの設定 148
5.3.3 アカウントの削除 149
5.3.4 IP アドレスの設定 149
5.4 設定の保存 150
5.5 ログアウト 150
6. ソフトウェア使用について 151
7. トラブルシューティング 152
7.1 コンソール端末に関連する現象と対策 152
7.2 Telnet に関連する現象と対策 153
7.3 スイッチングハブ機能に関連する現象と対策 153
7.4 VLAN に関連する現象と対策 154
7.5 SFP に関連する現象と対策 154
7.6 PoE に関連する現象と対策 154
7.7 FAN に関連する現象と対策 155

⚠ 安全にお取り扱いいただくために

⚠ 安全に関する共通的な注意事項

以下に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 操作は、本書内の指示、手順に従って行ってください。
- 本装置や本書に表示されている注意事項は必ず守ってください。
  お守りいただけない場合、人身上の傷害や本装置の破損を引き起こす恐れがあります。
- 本書に記載されている以外の操作や動作は行わないでください。
- 本装置や本書に記載されている内容について何か問題がある場合は、お買い求め先にご連絡ください。
- 本装置や本書に表示されている注意事項は、十分に検討されたものでありますが、それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。作業にあたっては、単に指示に従うだけでなく常に自分自身でも注意するようにしてください。
- 安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって示されます。これは「警告」および「注意」という見出し語と注意シンボルを組み合わせたものです。

⚠ 警告	死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。
⚠ 注意	軽度の傷害、あるいは本装置の重大な損傷を引き起こす恐れのある潜在的な危険の存在を示すのに用いられます。
⚠	この注意シンボルは見出し語などと共に用いられ、そこに記述されている事柄が安全に関するものであることを示し、注目させる為に用いられます。
⃠	この注意シンボルは見出し語などと共に用いられ、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止するために用いられます。
❗	この注意シンボルは見出し語などと共に用いられ、製品の取扱いにおいて、その行為を強制するために用いられます。

⚠警告

ふたを開けない
本装置のふた(カバー)は絶対開けないでください。感電する恐れがあります。また、故障の原因となります。

異常発生時は使わないこと
万一、煙が出ている、異臭がする、異音がするなどの異常状態の場合、直ちに電源供給を停止してください。感電や火災の恐れがあります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認して、お買い求めの販売店もしくは販売元へご連絡ください。お客様による修理は、危険のため、絶対にお止めください。

分解禁止
本装置を分解・改造しないでください。また異常発生時、お客様自身で修理することも絶対にお止めください。感電や火災、装置の故障の恐れがあります。

接続コードに傷を付けないこと
接続コードを傷つけたり、加工したり、引っ張ったりしないでください。感電や火災の恐れがあります。

コードのプラグはしっかり差し込むこと
各コードは指定されたものを使用し、プラグは根元までしっかりと差し込んでください。差し込み不足の場合、感電や火災の恐れがあります。

電源コードを正しく接続すること
電源コードを差し込むとき、抜くときは必ずプラグを持って行ってください。接触不良などで感電や火災の原因となることがあります。

濡れ手禁止
濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

異物を入れないこと
本装置の通風孔やコネクター部分にピンなどの金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電の恐れがあります。万一、本装置に異物が入った場合にはお買い求めの販売店もしくは販売元へご連絡ください。

プラグの掃除をすること
電源コードを接続する際にはプラグ部分にほこりが付着していないことを事前に確認してください。ほこりの付着による感電や火災の原因となることがあります。

雷発生時には装置に触らないこと
雷発生時は本装置やケーブル類に触らないでください。感電の恐れがあります。

電源コードは必ず添付品を使用すること
本装置使用の際は、必ず添付の電源コードを使用してください。指定外の電源コードを使用した場合、コードが異常発熱、発火する恐れがあります。

使わないときは電源プラグを抜く
夏季休暇など長時間ご使用にならないときは、安全の為必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。使用していないときも通電しているため、火災の原因となります。

水に濡らさない
本装置を水にぬらさないでください。また、花びんやコップなど、水や薬品類の入った容器を装置の上に置かないでください。感電や火災、故障の恐れがあります。万一、水などが本装置にかかった場合には、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの販売店もしくは販売元にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因になります。

通風を妨げない
通風孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い所に置いたり、物を置いたり立てかけたりして通風孔を塞がないでください。内部の温度が上昇すると故障や火災の原因となります。

⚠警告

指定外の電源電圧では使用しない

指定の電源電圧以外では絶対に使用しないでください。感電や火災、装置の故障の恐れがあります。

ApresiaLightFM/GM シリーズ、ApresiaLightGM152GT	AC100～120V/AC200～240V ±10%(50/60Hz)

たこ足配線禁止

電源コードの接続は、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。感電や火災の恐れがあります。

装置の上に乗ったり物を載せたりしないこと

本装置の上に乗ったり、本装置の上に物を載せたりしないでください。転倒、落下によるケガや本装置の故障の原因になることがあります。

電源コードが傷んだときはコンセントから抜くこと

電源コードが傷んだときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止してください。抜かないと感電や火災の原因となることがあります。

破損したときはコンセントから抜くこと

万一、本装置を落としたり、破損させた場合、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店もしくは販売元にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

不安定な設置をしないこと

本装置を不安定な状態で設置しないでください。また、不安定な場所に設置しないでください。本装置の転倒や落下によるケガや機器の故障の恐れがあります。

無理な力を加えない

コネクター部には、無理な力を加えたり、金属で触れないでください。無理な力を加えたりすると、故障や破損の原因となります。

移動時はコードを抜くこと

本装置を移動させる場合は、必ず電源コードをコンセントから抜き、全ての接続コードを外した状態で行ってください。電源コードや接続コードに引っ掛かってつまずいたり物が落下するなどしてケガの原因となります。

運搬について

本装置を運搬する際は、落下・転倒しないように十分気をつけてください。本装置が故障したり、ケガの原因となります。

環境の悪いところに置かない

以下のような環境では、本装置を保管、使用しないでください。本装置の寿命を縮めたり、故障の原因となります。

- 電車などの車両への搭載
- 振動が連続する場所
- 屋外環境
- 温泉地など腐食性ガスの発生する環境
- 結露が発生する環境
- 発熱機器の近く
- 直射日光があたる場所
- 機器同士が密接する環境
- 塩害地域（海岸の近くなど）
- 殺虫剤や消毒剤など薬液のかかる可能性のある環境
- 装置および装置周辺に埃がたまりやすい環境

電波障害について

他のエレクトロニクス製品に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合雑音が入ることがあります。その場合は、次のような対策を講じてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- コンセントを別にする。

⚠警告

静電気について

本装置は静電気に敏感な部品を使用しております。人体にも静電気が帯電することがあります。静電気による故障や誤動作を防ぐため機器設置時及びツイストペアケーブル接続時に以下の点に留意して取扱ってください。

- 事前に導電性のものに触れる。
- 本装置に接続されているツイストペアケーブルの解放側モジュラープラグ端子導体近傍に触れない。
- 本装置及びアースが必要な周辺機器はアースを取る。
- ツイストペアケーブルの敷設や移動をした場合はケーブルの除電を確認した後で本装置に接続する。

廃棄について

本装置を廃棄する際は、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは地方自治体にお問い合わせください。

譲渡について

本装置を譲渡する際は、本装置の安全上のご注意事項も添付して譲渡してください。

1. ご使用の前に

1.1 本書の位置づけ

本書は、表 1-1 に記載している機種について、ハードウェアの説明と設置から基本的なコマンドの入力までを本書のみで操作できるように解説しています。本書で説明するのは最低限必要な情報だけです。本装置の機能を活用して頂くには、以下のマニュアル類を参照してください。

本装置の各マニュアルは弊社のサポートサイトにてご提供しております。以下 URL からダウンロード頂けますようお願いいたします。

URL: https://www.apresia.jp/products/apresialight/

表 1-1 本書適用の機種一覧

シリーズ名	品名	型式
ApresiaLightFM シリーズ	ApresiaLightFM108GT-SS	APLFM108GTSS
	ApresiaLightFM116GT-SS	APLFM116GTSS
	ApresiaLightFM124GT-SS	APLFM124GTSS
	ApresiaLightFM104GT-PoE	APLFM104GTPOE
	ApresiaLightFM108GT-PoE	APLFM108GTPOE
	ApresiaLightFM116GT-PoE	APLFM116GTPOE
ApresiaLightGM シリーズ	ApresiaLightGM110GT-SS	APLGM110GTSS
	ApresiaLightGM118GT-SS	APLGM118GTSS
	ApresiaLightGM124GT-SS	APLGM124GTSS
	ApresiaLightGM110GT-PoE	APLGM110GTPOE
	ApresiaLightGM118GT-PoE	APLGM118GTPOE
	ApresiaLightGM124GT-PoE	APLGM124GTPOE
	ApresiaLightGM110GT-PoE2	APLGM110GTPOE2
	ApresiaLightGM118GT-PoE2	APLGM118GTPOE2
	ApresiaLightGM124GT-PoE2	APLGM124GTPOE2
ApresiaLightGM152GT	ApresiaLightGM152GT	APLGM152GT

1.2 マニュアル分類

以下にマニュアルの分類を記載します。

表 1-2 マニュアル分類

名称	概要
ApresiaLightFM/GM シリーズ、ApresiaLightGM152GT ハードウェアマニュアル(本書)	ハードウェアの説明と設置から基本的なコマンドの入力までの説明
ApresiaLightFM シリーズ リリースノート ApresiaLightGM シリーズ リリースノート ApresiaLightGM152GT リリースノート	ソフトウェアの改訂情報
ApresiaLightFM シリーズ CLI マニュアル ApresiaLightGM シリーズ CLI マニュアル ApresiaLightGM152GT CLI マニュアル	ソフトウェア(CLI)に関する説明
ApresiaLightFM シリーズ SW マニュアル ApresiaLightGM シリーズ SW マニュアル ApresiaLightGM152GT SW マニュアル	ソフトウェア(GUI)に関する説明
ApresiaLightFM シリーズ ログ・トラップ対応一覧 ApresiaLightGM シリーズ ログ・トラップ対応一覧 ApresiaLightGM152GT ログ・トラップ対応一覧	ログ・トラップに関する説明
ApresiaLightFM シリーズ MIB 項目の実装仕様 ApresiaLightGM シリーズ MIB 項目の実装仕様 ApresiaLightGM152GT MIB 項目の実装仕様	MIB 実装仕様に関する説明

1.3 特徴

(1) AEOS 非搭載のインテリジェント L2 スイッチ

(2) IPv6Host/IEEE802.1X/xSTP 等の標準機能搭載

(3) WEB-UI による簡易操作

1.4 構成品

1.4.1 標準添付品

標準添付品には以下の内容の物が含まれますので、不足品がないか確認してください。

表 1-3 ApresiaLightFM/GM シリーズ、ApresiaLightGM152GT 標準添付品一覧表

No.	品名	数量	備考
1	本体	1 台	-
2	安全上のご注意事項	1 枚	-
3	筐体ゴム足	1 式	ゴム足：4 個
4	専用コンソールケーブル	1 本	1.8 m
5	AC 電源コード	1 本	1.8 m
6	ラックマウント金具 *1)	1 式	マウント金具：2 枚、本体取付用ネジ M3：8 個、 ラック取付用ネジ M5：4 個

*1) ApresiaLightFM124GT-SS、ApresiaLightGM124GT-SS/PoE/PoE2、ApresiaLightGM152GT のみ標準添付

(1) 本体

スイッチングハブ本体です。

(2) 安全上のご注意事項

本装置を安全にお使いいただく為の注意事項を記載しております。

ご使用前に必ずお読みください。

(3) 筐体ゴム足

本装置を卓上に設置する場合に使用します。

(4) 専用コンソールケーブル

本体のコンソールポートに接続して、本装置の設定を行う場合に使用します。

(5) AC 電源コード

100V 用 AC 電源コード(1.8 m)が 1 本添付されています。

(6) ラックマウント金具

ApresiaLightFM124GT-SS、ApresiaLightGM124GT-SS/PoE/PoE2、ApresiaLightGM152GT のみ製品に同梱されています。取り付け方法は 3.2.2.1 項を参照ください。

また他の機種は別売りになりますので、1.4.2 を確認し、必要に応じて購入してください。

1.4.2 別売り品

以下に別売り品を記載します。必要に応じて購入してください。

表 1-4 ApresiaLightFM/GM シリーズ、ApresiaLightGM152GT の別売り品

No	品名	数量	備考
1	AC 電源コードストッパー (型式：AL-ACPWCD-SP)	1 個	-
2	専用ラックマウント金具 (型式：AL-16-8-RM)	1 式	マウント金具:2 枚、本体取付用ネジ M3:8 個、ラック取付用ネジ M5:4 個
3	専用ラックマウント金具(2 台連結用) (型式：AL-16-8-2P-RM)	1 式	マウント金具:4 枚、本体取付用ネジ M3:30 個、ラック取付用ネジ M5:4 個
4	ラックマウント金具(2 台連結用) (型式：AL-2P-RM01)	1 式	マウント金具:2 枚、連結金具本体:2 枚、連結金具フロント部:1 枚、本体取付用ネジ M3:20 個、ラック取付用ネジ M5:4 個
5	専用マグネット (型式：AL-MG-B04)	1 式	マグネット:4 個、マグネットフット:4 枚、取付専用ネジ M3:4 個
6	縦置き KIT(大) (型式：AL-TOKT-A01)	1 式	金具：1 枚、本体取付用ネジ M3：4 個
7	縦置き KIT(小)(型式：AL-TOKT-B02)	1 式	金具:1 枚、本体取付用ネジ M3:4 個
8	壁面取付金具(型式：AL-WM)	1 式	マウント金具:2 枚、本体取付用ネジ M3:8 個
9	SFP	1 個	対応する SFP は 2.5 節を参照
10	AC200V 用電源コード(NEMA L6-20) (型式:HC-PC200V-L6-20)	1 本	2 m
11	AC200V 用電源コード(C14) (型式:HC-PC200V-C14)	1 本	3 m
12	AC100V 用電源コード(L 型) (型式:HC-PC100V-L)	1 本	2 m

(1) AC 電源コードストッパー

本装置から AC 電源コードが抜けるのを防止するものになります。取り付け方法は 3.2.5 項を参照ください。

(2) 専用ラックマウント金具

EIA ワイドピッチのラックに搭載する場合に使用します。取り付け方法は 3.2.2.2 項を参照ください。

ApresiaLightFM124GT-SS、ApresiaLightGM124GT-SS/PoE/PoE2、ApresiaLightGM152GT には使用できません。標準添付のラックマウント金具をご使用ください。

(3) 専用ラックマウント金具(2 台連結用)

EIA ワイドピッチのラックに 2 台並べて搭載する場合に使用します。取り付け方法は 3.2.2.3 項を参照ください。

ApresiaLightFM124GT-SS、ApresiaLightGM124GT-SS/PoE/PoE2、ApresiaLightGM152GT にはサイズが

異なるため使用できません。

(4) ラックマウント金具(2 台連結用)

EIA ワイドピッチのラックに 2 台並べて搭載する場合に使用します。機器交換時に片側だけの取り外しも可能です。取り付け方法は 3.2.2.4 項を参照ください。

ApresiaLightFM108/116GT-SS、ApresiaLightGM110/118GT-SS にのみ使用可能です。その他のハーフラックサイズの装置は、耐荷重の制限によりサポートしておりません。

サポート対象の機器以外には使用しないでください。落下や損傷の恐れがあります。

(5) 専用マグネット

本装置が左右に移動するのを防ぐために使用します。取り付け方法は 3.2.6 項を参照ください。

ApresiaLightFM124GT-SS、ApresiaLightGM124GT-SS/PoE/PoE2、ApresiaLightGM152GT には使用できません。

装置の完全な固定を目的としていません。落下の恐れがある場所には設置しないでください。

サポート対象の機器以外には使用しないでください。落下や損傷の恐れがあります。

(6) 縦置き KIT(大)

本装置を縦置きする場合に使用します。取り付け方法は 3.2.4 項を参照ください。

ApresiaLightFM124GT-SS、ApresiaLightFM104/108/116GT-PoE、ApresiaLightGM124GT-SS および ApresiaLightGM110/118GT-PoE/PoE2 に使用可能です。

(7) 縦置き KIT(小)

本装置を縦置きする場合に使用します。取り付け方法は 3.2.4 項を参照ください。

ApresiaLightFM108/116GT-SS、ApresiaLightGM110/118GT-SS のみ使用可能です。

(8) 壁面取付金具

本装置を壁面に取り付ける場合に使用します。取り付け方法は 3.2.3 項を参照ください。

(9) SFP

光ケーブルを使用する際に、対応したポートに装着して使用します。

(10) AC200V 用電源コード(NEMA L6-20)

本装置を AC200V で使用する場合に用いる NEMA L6-20 型の電源コードです。

(11) AC200V 用電源コード(C14)

本装置を AC200V で使用する場合に用いる NEMA C14 型の電源コードです。

(12) AC100V 用電源コード(L 型)

装置側装着部が L 型の AC100V 電源コードです。背面のスペースが無い場合などに使用します。

AC100V 電源コード(L 型)を使用する場合、AC 電源コードストッパーは使用できません。使用時は電源コードが横方向に出るため、隣り合う装置や各種インターフェースとの干渉にご注意ください。

2. 本装置の仕様

2.1 準拠規格

以下にハードウェアの準拠規格を記載します。ソフトウェアの準拠規格は、別冊 CLI マニュアル及び SW マニュアルを参照してください。

表 2-1 準拠規格

No.	項目	準拠規格
1	LAN インターフェース	IEEE802.3 ： 10BASE-T IEEE802.3u ： 100BASE-TX、100BASE-FX IEEE802.3u ： Auto-Negotiation IEEE802.3z ： 1000BASE-X IEEE802.3ab：1000BASE-T
2	コンソールインターフェース	ITU-T 勧告 V.24/V.28
3	EMI 規格	VCCI Class A 準拠
4	環境規制	RoHS 対応 *1)

*1) RoHS 指令(2011/65/EU)に規定された禁止物質管理に対応。CE マーク及び適合宣言書には未対応。

2.2 環境条件及び電源条件

以下に環境と電源の条件を記載します。

表 2-2 環境及び電源条件

No.	項目	条件	備考
1	動作周囲温度	0 ～ 50 ℃	ApresiaLightFM シリーズ ApresiaLightGM1xxGT-PoE/PoE2 ApresiaLightGM152GT
		0 ～ 40 ℃	ApresiaLightGM1xxGT-SS
2	動作周囲相対湿度	10 ～ 90 %RH	結露なきこと
3	保存周囲温度	-20 ～ 60 ℃	
4	保存周囲相対湿度	10 ～ 90 %RH	結露なきこと

2.3 概略仕様

2.3.1 ApresiaLightFM108GT-SS

以下に ApresiaLightFM108GT-SS の概略仕様を記載します。

表 2-3 ApresiaLightFM108GT-SS 概略仕様

No.	項目		概略仕様
1	LAN インター フェース	ポート数	10/100M ポート　　：8 ポート 10/100/1000M ポート　：2 ポート *1) 1G(SFP)ポート　　：2 ポート *1)
		通信モード	10/100M ポート　　：10BASE-T/100BASE-TX Auto-Negotiation, 固定設定(10/100M、全二重/半二重) 10/100/1000M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto-Negotiation, 固定設定(10/100/1000M、全二重/半二重) 1G(SFP)ポート　　：1000BASE-X、100BASE-FX Auto-Negotiation, 固定設定(100/1000M、全二重) *2)
		コネクター形状	10/100M ポート　　：8 ピン RJ-45 10/100/1000M ポート　：8 ピン RJ-45 1G(SFP)ポート　　：SFP(mini-GBIC)
2	管理ポート インター フェース	コンソール インター フェース	コネクター形状：D-SUB9 ピン メス形状 接続：RS-232C(ストレート、DTE 仕様、勘合ネジ:インチネジ #4-40)
3	AC インレットコネクター仕様		IEC60320-1 スタンダード・C14
4	MAC アドレス登録数		8k
5	スイッチングモード		ストア・アンド・フォワード
6	スイッチング容量		5.6 Gbps
7	CPU メモリー		128 Mbyte
8	フラッシュメモリー		16 Mbyte
9	パケットバッファー		384 Kbyte
10	ジャンボフレーム		最大 2048 byte(Tag Frame) 最大 2044 byte(Untag Frame)
11	冷却方式		自然空冷(FAN レス)
12	騒音特性		ー(FAN レス)
13	入力電圧範囲		AC100～120 V +/-10 % (47～63Hz) AC200～240 V +/-10 % (47～63Hz)
14	瞬停特性(AC100V 時)		20ms 以上
15	最大消費電力(W)(AC100/200V)		14 / 14 以下

No.	項目	概略仕様
16	消費電力(W)(AC100/200V) *3)	11 以下 / 13 以下
17	皮相電力(VA)(AC100/200V)	26 / 32
18	最大入力電流(A)(AC100/200V)	0.3 / 0.2
19	消費電流(A)(AC100/200V)	0.14 以下 / 0.07 以下
20	突入電流(A)(AC100/200V) *4)	30 以下 / 60 以下
21	発熱量(kJ/h)(AC100/200V)	50.4 以下 / 50.4 以下
22	外形寸法(WDH)(mm) *5)	210.0×189.6×44.0
23	概算質量 *6)	1.3 kg 以下

*1) 排他ポート(同時使用可能なポートは 2 ポート)

*2) 100M 固定設定は 100BASE-FX SFP 使用時のみ。

*3) 全ポート 1,518byte ユニキャスト L2 フレーム、IFG12byte 通信における典型値、SFP ポート H-SX-SFP/R 搭載時。

*4) 典型値であり性能を保証するものではありません。

*5) 突起部含まず。

*6) 本体のみの質量。コンソールケーブルや電源ケーブルなどは含まず。

2.3.2 ApresiaLightFM116GT-SS

以下に ApresiaLightFM116GT-SS の概略仕様を記載します。

表 2-4 ApresiaLightFM116GT-SS 概略仕様

No.	項目		概略仕様
1	LAN インター フェース	ポート数	10/100M ポート　　：16 ポート 10/100/1000M ポート　：2 ポート *1) 1G(SFP)ポート　　：2 ポート *1)
		通信モード	10/100M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX Auto-Negotiation, 固定設定(10/100M、全二重/半二重) 10/100/1000M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto-Negotiation, 固定設定(10/100/1000M、全二重/半二重) 1G(SFP)ポート　　：1000BASE-X、100BASE-FX Auto-Negotiation, 固定設定(100/1000M、全二重) *2)
		コネクター形状	10/100M ポート　　：8 ピン RJ-45 10/100/1000M ポート　：8 ピン RJ-45 1G(SFP)ポート　　：SFP(mini-GBIC)
2	管理ポート インター フェース	コンソール インター フェース	コネクター形状：D-SUB9 ピン メス形状 接続：RS-232C(ストレート、DTE 仕様、勘合ネジ:インチネジ #4-40)
3	AC インレットコネクター仕様		IEC60320-1 スタンダード・C14
4	MAC アドレス登録数		8k
5	スイッチングモード		ストア・アンド・フォワード
6	スイッチング容量		7.2 Gbps
7	CPU メモリー		128 Mbyte
8	フラッシュメモリー		16 Mbyte
9	パケットバッファー		384 Kbyte
10	ジャンボフレーム		最大 2048 byte(Tag Frame) 最大 2044 byte(Untag Frame)
11	冷却方式		自然空冷(FAN レス)
12	騒音特性		ー(FAN レス)
13	入力電圧範囲		AC100～120 V +/-10 % (47～63Hz) AC200～240 V +/-10 % (47～63Hz)
14	瞬停特性(AC100V 時)		20ms 以上
15	最大消費電力(W)(AC100/200V)		15 以下 / 16 以下
16	消費電力(W)(AC100/200V) *3)		13 以下 / 15 以下

No.	項目	概略仕様
17	皮相電力(VA)(AC100/200V)	29 / 35.5
18	最大入力電流(A)(AC100/200V)	0.3 / 0.2
19	消費電流(A)(AC100/200V)	0.15 以下 / 0.08 以下
20	突入電流(A)(AC100/200V) *4)	30 以下 / 60 以下
21	発熱量(kJ/h)(AC100/200V)	54.0 以下 / 57.6 以下
22	外形寸法(WDH)(mm) *5)	210.0×189.6×44.0
23	概算質量 *6)	1.3 kg 以下

*1) 排他ポート(同時使用可能なポートは 2 ポート)

*2) 100M 固定設定は 100BASE-FX SFP 使用時のみ。

*3) 全ポート 1,518byte ユニキャスト L2 フレーム、IFG12byte 通信における典型値、SFP ポート H-SX-SFP/R 搭載時。

*4) 典型値であり特性を保証するものではありません。

*5) 突起部含まず。

*6) 本体のみの質量。コンソールケーブルや電源ケーブルなどは含まず。

2.3.3 ApresiaLightFM124GT-SS

以下に ApresiaLightFM124GT-SS の概略仕様を記載します。

表 2-5 ApresiaLightFM124GT-SS 概略仕様

No.	項目		概略仕様
1	LAN インター フェース	ポート数	10/100M ポート　　：24 ポート 10/100/1000M ポート　：4 ポート *1) 1G(SFP)ポート　　：4 ポート *1)
		通信モード	10/100M ポート　　：10BASE-T/100BASE-TX Auto-Negotiation, 固定設定(10/100M、全二重/半二重) 10/100/1000M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto-Negotiation, 固定設定(10/100/1000M、全二重/半二重) 1G(SFP)ポート　　：1000BASE-X、100BASE-FX Auto-Negotiation, 固定設定(100/1000M、全二重) *2)
		コネクター形状	10/100M ポート　　：8 ピン RJ-45 10/100/1000M ポート　：8 ピン RJ-45 1G(SFP)ポート　　：SFP(mini-GBIC)
2	管理ポート インター フェース	コンソール インター フェース	コネクター形状：D-SUB9 ピン メス形状 接続：RS-232C(ストレート、DTE 仕様、勘合ネジ:インチネジ #4-40)
3	AC インレットコネクター仕様		IEC60320-1 スタンダード・C14
4	MAC アドレス登録数		8k
5	スイッチングモード		ストア・アンド・フォワード
6	スイッチング容量		12.8 Gbps
7	CPU メモリー		128 Mbyte
8	フラッシュメモリー		16 Mbyte
9	パケットバッファー		384 Kbyte
10	ジャンボフレーム		最大 2048 byte(Tag Frame) 最大 2044 byte(Untag Frame)
11	冷却方式		自然空冷(FAN レス)
12	騒音特性		ー(FAN レス)
13	入力電圧範囲		AC100～120 V +/-10 % (47～63Hz) AC200～240 V +/-10 % (47～63Hz)
14	瞬停特性(AC100V 時)		20ms 以上
15	最大消費電力(W)(AC100/200V)		21 以下 / 22 以下
16	消費電力(W)(AC100/200V) *3)		18 以下 /21 以下

No.	項目	概略仕様
17	皮相電力(VA)(AC100/200V)	39 / 55
18	最大入力電流(A)(AC100/200V)	0.45 / 0.3
19	消費電流(A)(AC100/200V)	0.21 以下 / 0.11 以下
20	突入電流(A)(AC100/200V) *4)	30 以下 / 60 以下
21	発熱量(kJ/h)(AC100/200V)	75.6 以下 / 79.2 以下
22	外形寸法(WDH)(mm) *5)	441.0×207.0×44.0
23	概算質量 *6)	2.9 kg 以下

*1) 排他ポート(同時使用可能なポートは 4 ポート)

*2) 100M 固定設定は 100BASE-FX SFP 使用時のみ。

*3) 全ポート 1,518byte ユニキャスト L2 フレーム、IFG12byte 通信における典型値、SFP ポート H-SX-SFP/R 搭載時。

*4) 典型値であり特性を保証するものではありません。

*5) 突起部含まず。

*6) 本体のみの質量。コンソールケーブルや電源ケーブルなどは含まず。

2.3.4 ApresiaLightFM104GT-PoE

以下に ApresiaLightFM104GT-PoE の概略仕様を記載します。

表 2-6 ApresiaLightFM104GT-PoE 概略仕様

No.	項目		概略仕様
1	LAN インター フェース	ポート数	10/100M ポート　　：4 ポート 10/100/1000M ポート　：2 ポート *1) 1G(SFP)ポート　　：2 ポート *1)
		通信モード	10/100M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX Auto-Negotiation, 固定設定(10/100M、全二重/半二重) 10/100/1000M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto-Negotiation, 固定設定(10/100/1000M、全二重/半二重) 1G(SFP)ポート　　：1000BASE-X、100BASE-FX Auto-Negotiation, 固定設定(100/1000M、全二重) *2)
		コネクター 形状	10/100M ポート　　：8 ピン RJ-45 10/100/1000M ポート　：8 ピン RJ-45 1G(SFP)ポート　　：SFP(mini-GBIC)
2	管理ポート インター フェース	コンソール インター フェース	コネクター形状：D-SUB9 ピン メス形状 接続：RS-232C(ストレート、DTE 仕様、勘合ネジ:インチネジ #4-40)
3	AC インレットコネクター仕様		IEC60320-1 スタンダード・C14
4	MAC アドレス登録数		8k
5	スイッチングモード		ストア・アンド・フォワード
6	スイッチング容量		4.8 Gbps
7	CPU メモリー		128 Mbyte
8	フラッシュメモリー		16 Mbyte
9	パケットバッファー		384 Kbyte
10	ジャンボフレーム		最大 2048 byte(Tag Frame) 最大 2044 byte(Untag Frame)
11	冷却方式		強制空冷 (FAN あり、側面吸気、背面排気)
12	騒音特性 *3)		約 42 dB
13	入力電圧範囲		AC100～120 V +/-10 % (47～63Hz) AC200～240 V +/-10 % (47～63Hz)
14	瞬停特性(AC100V 時)		20ms 以上
15	最大消費電力 (W)(AC100/200V)	PoE 無給電	17 以下 / 17 以下
		PoE フル給電	77 以下 / 80 以下

No.	項目		概略仕様
16	消費電力(W) (AC100/200V)*4)	PoE 無給電	13 以下 / 13 以下
		PoE フル給電	66 以下 / 79 以下
17	皮相電力(VA) (AC100/200V)	PoE 無給電	18 / 34
		PoE フル給電	80 / 96
18	最大入力電流(A) (AC100/200V)	PoE 無給電	0.2 / 0.2
		PoE フル給電	0.9 / 0.6
19	消費電流(A) (AC100/200V)	PoE 無給電	0.2 以下 / 0.2 以下
		PoE フル給電	0.8 以下 / 0.5 以下
20	突入電流(A)(AC100/200V) *3)		60 以下 / 120 以下
21	発熱量(kJ/h) (AC100/200V)	PoE 無給電	62 以下 / 62 以下
		PoE フル給電	280 以下 / 290 以下
22	外形寸法(WDH)(mm) *5)		210.0×259.7×44.0
23	概算質量 *6)		1.9 kg 以下
24	PoE 給電機能		IEEE802.3af に準拠した給電機能(1～4ポート) 給電タイプ：Alternative B Type 各ポートの給電値を設定可能(最大15.4 W/port。15.4 W給電時で最大4ポートのトータル61.6 Wまで給電可能) 最大給電値：61.6 W 給電トータル値を超える端末を接続した場合、優先度の低い端末の給電を停止する。

*1) 排他ポート(同時使用可能なポートは 2 ポート)

*2) 100M 固定設定は 100BASE-FX SFP 使用時のみ。

*3) 典型値であり性能を保証するものではありません。

*4) 全ポート 1,518byte ユニキャスト L2 フレーム、IFG12byte 通信における典型値、SFP ポート H-SX-SFP/R 搭載時。

*5) 突起部含まず。

*6) 本体のみの質量。コンソールケーブルや電源ケーブルなどは含まず。

Ver.1.01.01～1.05.00 では、PoE 給電機能のデフォルト値は ”Disable ” になります。
Ver.1.06.00～では、PoE 給電機能のデフォルト値は ”Enable ” になります。

2.3.5 ApresiaLightFM108GT-PoE

以下に ApresiaLightFM108GT-PoE の概略仕様を記載します。

表 2-7 ApresiaLightFM108GT-PoE 概略仕様

No.	項目		概略仕様
1	LAN インター フェース	ポート数	10/100M ポート　　：8 ポート 10/100/1000M ポート　：2 ポート *1) 1G(SFP)ポート　　：2 ポート *1)
		通信モード	10/100M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX Auto-Negotiation, 固定設定(10/100M、全二重/半二重) 10/100/1000M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto-Negotiation, 固定設定(10/100/1000M、全二重/半二重) 1G(SFP)ポート　　：1000BASE-X、100BASE-FX Auto-Negotiation, 固定設定(100/1000M、全二重) *2)
		コネクター 形状	10/100M ポート　　：8 ピン RJ-45 10/100/1000M ポート　：8 ピン RJ-45 1G(SFP)ポート　　：SFP(mini-GBIC)
2	管理ポート インター フェース	コンソール インター フェース	コネクター形状：D-SUB9 ピン メス形状 接続：RS-232C(ストレート、DTE 仕様、勘合ネジ:インチネジ #4-40)
3	AC インレットコネクター仕様		IEC60320-1 スタンダード・C14
4	MAC アドレス登録数		8k
5	スイッチングモード		ストア・アンド・フォワード
6	スイッチング容量		5.6 Gbps
7	CPU メモリー		128 Mbyte
8	フラッシュメモリー		16 Mbyte
9	パケットバッファー		384 Kbyte
10	ジャンボフレーム		最大 2048 byte(Tag Frame) 最大 2044 byte(Untag Frame)
11	冷却方式		強制空冷 (FAN あり、側面吸気、背面排気)
12	騒音特性 *3)		約 40 dB
13	入力電圧範囲		AC100～120 V +/-10 % (47～63Hz) AC200～240 V +/-10 % (47～63Hz)
14	瞬停特性(AC100V 時)		20ms 以上
15	最大消費電力(W) (AC100/200V)	PoE 無給電	20 以下 / 19 以下
		PoE フル給電	180 以下 / 180 以下

No.	項目		概略仕様
16	消 費 電 力 (W)	PoE 無給電	17 以下 / 18 以下
	(AC100/200V)*4)	PoE フル給電	175 以下 / 180 以下
17	皮相電力(VA)	PoE 無給電	21 / 34
	(AC100/200V)	PoE フル給電	210 / 205
18	最大入力電流(A)	PoE 無給電	0.3 / 0.2
	(AC100/200V)	PoE フル給電	2.1 / 1.1
19	消費電流(A)	PoE 無給電	0.2 以下 / 0.1 以下
	(AC100/200V)	PoE フル給電	2.1 以下 / 1.0 以下
20	突入電流(A)(AC100/200V) *3)		60 以下 / 120 以下
21	発熱量(kJ/h)	PoE 無給電	75 以下 / 70 以下
	(AC100/200V)	PoE フル給電	650 以下 / 650 以下
22	外形寸法(WDH)(mm) *5)		210.0×259.7×44.0
23	概算質量 *6)		1.9 kg 以下
24	PoE 給電機能		IEEE802.3af に準拠した給電機能(1～8ポート) 給電タイプ：Alternative B Type 各ポートの給電値を設定可能(最大15.4 W/port。15.4 W給電時で最大8ポートのトータル123.2 Wまで給電可能) 最大給電値：123.2 W 給電トータル値を超える端末を接続した場合、優先度の低い端末の給電を停止する。

*1) 排他ポート(同時使用可能なポートは 2 ポート)

*2) 100M 固定設定は 100BASE-FX SFP 使用時のみ。

*3) 典型値であり性能を保証するものではありません。

*4) 全ポート 1,518byte ユニキャスト L2 フレーム、IFG12byte 通信における典型値、SFP ポート H-SX-SFP/R 搭載時。

*5) 突起部含まず。

*6) 本体のみの質量。コンソールケーブルや電源ケーブルなどは含まず。

Ver.1.01.01～1.05.00 では、PoE 給電機能のデフォルト値は ”Disable ” になります。
Ver.1.06.00～では、PoE 給電機能のデフォルト値は ”Enable ” になります。

2.3.6 ApresiaLightFM116GT-PoE

以下に ApresiaLightFM116GT-PoE の概略仕様を記載します。

表 2-8 ApresiaLightFM116GT-PoE 概略仕様

No.	項目		概略仕様
1	LAN インター フェース	ポート数	10/100M ポート　　：16 ポート 10/100/1000M ポート　：2 ポート *1) 1G(SFP)ポート　　：2 ポート *1)
		通信モード	10/100M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX Auto-Negotiation, 固定設定(10/100M、全二重/半二重) 10/100/1000M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto-Negotiation, 固定設定(10/100/1000M、全二重/半二重) 1G(SFP)ポート　　：1000BASE-X、100BASE-FX Auto-Negotiation, 固定設定(100/1000M、全二重) *2)
		コネクター 形状	10/100M ポート　　：8 ピン RJ-45 10/100/1000M ポート　：8 ピン RJ-45 1G(SFP)ポート　　：SFP(mini-GBIC)
2	管理ポート インター フェース	コンソール インター フェース	コネクター形状：D-SUB9 ピン メス形状 接続：RS-232C(ストレート、DTE 仕様、勘合ネジ:インチネジ #4-40)
3	AC インレットコネクター仕様		IEC60320-1 スタンダード・C14
4	MAC アドレス登録数		8k
5	スイッチングモード		ストア・アンド・フォワード
6	スイッチング容量		7.2 Gbps
7	CPU メモリー		128 Mbyte
8	フラッシュメモリー		16 Mbyte
9	パケットバッファー		384 Kbyte
10	ジャンボフレーム		最大 2048 byte(Tag Frame) 最大 2044 byte(Untag Frame)
11	冷却方式		強制空冷 (FAN あり、側面吸気、背面排気)
12	騒音特性 *3)		約 39 dB
13	入力電圧範囲		AC100～120 V +/-10 % (47～63Hz) AC200～240 V +/-10 % (47～63Hz)
14	瞬停特性(AC100V 時)		20ms 以上
15	最大消費電力(W) (AC100/200V)	PoE 無給電	22 以下 / 23 以下
		PoE フル給電	180 以下 / 180 以下

No.	項目		概略仕様
16	消費電力(W) (AC100/200V)*4)	PoE 無給電	18 以下 / 22 以下
		PoE フル給電	175 以下 / 180 以下
17	皮相電力	PoE 無給電	23 / 41
		PoE フル給電	215 / 205
18	最大入力電流	PoE 無給電	0.3 / 0.2
		PoE フル給電	2.2 / 1.1
19	消費電流	PoE 無給電	0.3 以下 / 0.2 以下
		PoE フル給電	2.1 以下 / 1.1 以下
20	突入電流(A)(AC100/200V)*3)		60 以下 / 120 以下
21	発熱量	PoE 無給電	80 以下 / 83 以下
		PoE フル給電	650 以下 / 650 以下
22	外形寸法(WDH)(mm) *5)		210.0×259.7×44.0
23	概算質量 *6)		2.0 kg 以下
24	PoE 給電機能		IEEE802.3afに準拠した給電機能(1～16ポート) 給電タイプ：Alternative B Type 各ポートの給電値を設定可能(最大15.4 W/port。15.4 W給電時は最大8ポートのトータル123.2 Wまで給電可能) 最大給電値：123.2 W 給電トータル値を超える端末を接続した場合、優先度の低い端末の給電を停止する。

*1) 排他ポート(同時使用可能なポートは 2 ポート)

*2) 100M 固定設定は 100BASE-FX SFP 使用時のみ。

*3) 典型値であり性能を保証するものではありません。

*4) 全ポート 1,518byte ユニキャスト L2 フレーム、IFG12byte 通信における典型値、SFP ポート H-SX-SFP/R 搭載時。

*5) 突起部含まず。

*6) 本体のみの質量。コンソールケーブルや電源ケーブルなどは含まず。

Ver.1.01.01～1.05.00 では、PoE 給電機能のデフォルト値は ”Disable ” になります。
Ver.1.06.00～では、PoE 給電機能のデフォルト値は ”Enable ” になります。

2.3.7 ApresiaLightGM110GT-SS

以下に ApresiaLightGM110GT-SS の概略仕様を記載します。

表 2-9 ApresiaLightGM110GT-SS 概略仕様

No.	項目		概略仕様
1	LAN インター フェース	ポート数	10/100/1000M ポート　：8 ポート 10/100/1000M ポート　:2 ポート *1) 1G(SFP)ポート　　：2 ポート *1)
		通信モード	10/100/1000M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto-Negotiation, 固定設定(10/100/1000M、全二重/半二重) 1G(SFP)ポート　　：1000BASE-X、100BASE-FX Auto-Negotiation, 固定設定(100/1000M、全二重) *2)
		コネクター形状	10/100/1000M ポート　：8 ピン RJ-45 1G(SFP)ポート　　：SFP(mini-GBIC)
2	管理ポート インター フェース	コンソール インター フェース	コネクター形状：D-SUB9 ピン メス形状 接続：RS-232C(ストレート、DTE 仕様、勘合ネジ:インチネジ #4-40)
3	AC インレットコネクター仕様		IEC60320-1 スタンダード・C14
4	MAC アドレス登録数		8k
5	スイッチングモード		ストア・アンド・フォワード
6	スイッチング容量		20 Gbps
7	CPU メモリー		128 Mbyte
8	フラッシュメモリー		16 Mbyte
9	パケットバッファー		512 Kbyte
10	ジャンボフレーム		最大 9216 byte
11	冷却方式		自然空冷(FAN レス)
12	騒音特性		ー(FAN レス)
13	入力電圧範囲		AC100～120 V +/-10 % (47～63Hz) AC200～240 V +/-10 % (47～63Hz)
14	瞬停特性(AC100V 時)		20ms 以上
15	最大消費電力(W)(AC100/200V)		16 以下 / 16 以下
16	消費電力(W)(AC100/200V) *4)		13 以下 / 15 以下
17	皮相電力(VA)(AC100/200V)		31 / 39
18	最大入力電流(A)(AC100/200V)		0.4 / 0.2
19	消費電流(A)(AC100/200V)		0.2 以下 / 0.1 以下
20	突入電流(A)(AC100/200V) *3)		30 以下 / 60 以下
21	発熱量(kJ/h)(AC100/200V)		58 以下 / 58 以下

No.	項目	概略仕様
22	外形寸法(WDH)(mm) *5)	210.0×189.6×44.0
23	概算質量 *6)	1.3 kg 以下

*1) 排他ポート(同時使用可能なポートは 2 ポート)

*2) 100M 固定設定は 100BASE-FX SFP 使用時のみ。

*3) 典型値であり特性を保証するものではありません。

*4) 全ポート 1,518byte ユニキャスト L2 フレーム、IFG12byte 通信における典型値、SFP ポート H-SX-SFP/R 搭載時。

*5) 突起部含まず。

*6) 本体のみの質量。コンソールケーブルや電源ケーブルなどは含まず。

2.3.8 ApresiaLightGM118GT-SS

以下に ApresiaLightGM118GT-SS の概略仕様を記載します。

表 2-10 ApresiaLightGM118GT-SS 概略仕様

No.	項目		概略仕様
1	LAN インター フェース	ポート数	10/100/1000M ポート　：16 ポート 10/100/1000M ポート　:2 ポート *1) 1G(SFP)ポート　：2 ポート *1)
		通信モード	10/100/1000M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto-Negotiation, 固定設定(10/100/1000M、全二重/半二重) 1G(SFP)ポート　：1000BASE-X、100BASE-FX Auto-Negotiation, 固定設定(100/1000M、全二重) *2)
		コネクター形状	10/100/1000M ポート　：8 ピン RJ-45 1G(SFP)ポート　：SFP(mini-GBIC)
2	管理ポート インター フェース	コンソール インター フェース	コネクター形状：D-SUB9 ピン メス形状 接続：RS-232C(ストレート、DTE 仕様、勘合ネジ:インチネジ #4-40)
3	AC インレットコネクター仕様		IEC60320-1 スタンダード・C14
4	MAC アドレス登録数		8k
5	スイッチングモード		ストア・アンド・フォワード
6	スイッチング容量		36 Gbps
7	CPU メモリー		128 Mbyte
8	フラッシュメモリー		16 Mbyte
9	パケットバッファー		512 Kbyte
10	ジャンボフレーム		最大 9216 byte
11	冷却方式		自然空冷(FAN レス)
12	騒音特性		ー(FAN レス)
13	入力電圧範囲		AC100～120 V +/-10 % (47～63Hz) AC200～240 V +/-10 % (47～63Hz)
14	瞬停特性(AC100V 時)		20ms 以上
15	最大消費電力(W) (AC100/200V)		25 以下 / 24 以下
16	消費電力(W) (AC100/200V) *4)		21 以下 / 23 以下
17	皮相電力(VA) (AC100/200V)		45 / 56
18	最大入力電流(A) (AC100/200V)		0.5 / 0.3
19	消費電流(A) (AC100/200V)		0.3 以下 / 0.2 以下
20	突入電流(A) (AC100/200V) *3)		30 以下 / 60 以下
21	発熱量(kJ/h) (AC100/200V)		91 以下 / 87 以下

No.	項目	概略仕様
22	外形寸法(WDH)(mm) *5)	210.0×189.6×44.0
23	概算質量 *6)	1.4 kg 以下

*1) 排他ポート(同時使用可能なポートは 2 ポート)

*2) 100M 固定設定は 100BASE-FX SFP 使用時のみ。

*3) 典型値であり特性を保証するものではありません。

*4) 全ポート 1,518byte ユニキャスト L2 フレーム、IFG12byte 通信における典型値、SFP ポート H-SX-SFP/R 搭載時。

*5) 突起部含まず。

*6) 本体のみの質量。コンソールケーブルや電源ケーブルなどは含まず。

2.3.9 ApresiaLightGM124GT-SS

以下に ApresiaLightGM124GT-SS の概略仕様を記載します。

表 2-11 ApresiaLightGM124GT-SS 概略仕様

No.	項目		概略仕様
1	LAN インター フェース	ポート数	10/100/1000M ポート　：20 ポート 10/100/1000M ポート　:4 ポート *1) 1G(SFP)ポート　　：4 ポート *1)
		通信モード	10/100/1000M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto-Negotiation, 固定設定(10/100/1000M、全二重/半二重) 1G(SFP)ポート　　：1000BASE-X、100BASE-FX Auto-Negotiation, 固定設定(100/1000M、全二重) *2)
		コネクター形状	10/100/1000M ポート　：8 ピン RJ-45 1G(SFP)ポート　　：SFP(mini-GBIC)
2	管理ポート インター フェース	コンソール インター フェース	コネクター形状：D-SUB9 ピン メス形状 接続：RS-232C(ストレート、DTE 仕様、勘合ネジ:インチネジ #4-40)
3	AC インレットコネクター仕様		IEC60320-1 スタンダード・C14
4	MAC アドレス登録数		8k
5	スイッチングモード		ストア・アンド・フォワード
6	スイッチング容量		48 Gbps
7	CPU メモリー		128 Mbyte
8	フラッシュメモリー		16 Mbyte
9	パケットバッファー		512 Kbyte
10	ジャンボフレーム		最大 9216 byte
11	冷却方式		自然空冷(FAN レス)
12	騒音特性		ー(FAN レス)
13	入力電圧範囲		AC100～120 V +/-10 % (47～63Hz) AC200～240 V +/-10 % (47～63Hz)
14	瞬停特性(AC100V 時)		20ms 以上
15	最大消費電力		30 以下 / 30 以下
16	消費電力(典型値) *4)		25 以下 / 29 以下
17	皮相電力		56 / 68
18	最大入力電流		0.6 / 0.4
19	消費電流		0.3 以下 / 0.2 以下
20	突入電流 *3)		30 以下 / 60 以下
21	発熱量		110 以下 / 110 以下

No.	項目	概略仕様
22	外形寸法(WDH)(mm) *5)	441.0×207.0×44.0
23	概算質量 *6)	2.7 kg 以下

*1) 排他ポート(同時使用可能なポートは 4 ポート)

*2) 100M 固定設定は 100BASE-FX SFP 使用時のみ。

*3) 典型値であり特性を保証するものではありません。

*4) 全ポート 1,518byte ユニキャスト L2 フレーム、IFG12byte 通信における典型値、SFP ポート H-SX-SFP/R 搭載時。

*5) 突起部含まず。

*6) 本体のみの質量。コンソールケーブルや電源ケーブルなどは含まず。

2.3.10 ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2

以下に ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 の概略仕様を記載します。

表 2-12 ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 概略仕様

No.	項目		概略仕様
1	LAN インター フェース	ポート数	10/100/1000M ポート　：8 ポート 10/100/1000M ポート　:2 ポート *1) 1G(SFP)ポート　：2 ポート *1)
		通信モード	10/100/1000M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto-Negotiation, 固定設定(10/100/1000M、全二重/半二重) 1G(SFP)ポート　：1000BASE-X、100BASE-FX Auto-Negotiation, 固定設定(100/1000M、全二重) *2)
		コネクター形状	10/100/1000M ポート　：8 ピン RJ-45 1G(SFP)ポート　：SFP(mini-GBIC)
2	管理ポート インター フェース	コンソール インター フェース	コネクター形状：D-SUB9 ピン メス形状 接続：RS-232C(ストレート、DTE 仕様、勘合ネジ:インチネジ #4-40)
3	AC インレットコネクター仕様		IEC60320-1 スタンダード・C14
4	MAC アドレス登録数		8k
5	スイッチングモード		ストア・アンド・フォワード
6	スイッチング容量		20 Gbps
7	CPU メモリー		128 Mbyte
8	フラッシュメモリー		16 Mbyte
9	パケットバッファー		512 Kbyte
10	ジャンボフレーム		最大 9216 byte
11	冷却方式		強制空冷（FAN あり、側面吸気、背面排気）
12	騒音特性 *3)		約 40 dB
13	入力電圧範囲		AC100～120 V +/-10 %（47～63Hz） AC200～240 V +/-10 %（47～63Hz）
14	瞬停特性(AC100V 時)		20ms 以上
15	最大消費電力(W) (AC100/200V)	PoE 無給電	22 以下/ 22 以下
		PoE フル給電	165 以下/ 165 以下
16	消費電力(W) (AC100/200V)*4)	PoE 無給電	19 以下/ 19 以下
		PoE フル給電	160 以下 / 160 以下
17	皮相電力(VA) (AC100/200V)	PoE 無給電	25 / 36
		PoE フル給電	168 / 172
18	最大入力電流(A)	PoE 無給電	0.5 / 0.4

No.	項目		概略仕様
	(AC100/200V)	PoE フル給電	1.8 / 1.2
19	消費電流(A)	PoE 無給電	0.5 以下 / 0.4 以下
	(AC100/200V)	PoE フル給電	1.6 以下 / 1.1 以下
20	突入電流(A) (AC100/200V) *3)		60 以下 / 120 以下
21	発熱量(kJ/h)	PoE 無給電	81 以下 / 81 以下
	(AC100/200V)	PoE フル給電	596 以下 / 596 以下
22	外形寸法(WDH)(mm) *5)		210.0×259.7×44.0
23	概算質量 *6)		1.9 kg 以下
24	PoE 給電機能		IEEE802.3at に準拠した給電機能(1～8 ポート) 給電タイプ：Alternative A Type 各ポートの最大給電値を設定可能(class0 の場合 15.4 W/port×8port、class 4 の場合 30 W/port×4port) 装置給電トータル値を設定可能(20 W～125 W) 最大給電値：125 W 給電トータル値を超える端末を接続した場合、優先度の低い端末の給電を停止する。

*1) 排他ポート(同時使用可能なポートは 2 ポート)

*2) 100M 固定設定は 100BASE-FX SFP 使用時のみ。

*3) 典型値であり性能を保証するものではありません。

*4) 全ポート 1,518byte ユニキャスト L2 フレーム、IFG12byte 通信における典型値、SFP ポート H-SX-SFP/R 搭載時。

*5) 突起部含まず。

*6) 本体のみの質量。コンソールケーブルや電源ケーブルなどは含まず。

2.3.11 ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2

以下に ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 の概略仕様を記載します。

表 2-13 ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 概略仕様

No.	項目		概略仕様
1	LAN インター フェース	ポート数	10/100/1000M ポート　：16 ポート 10/100/1000M ポート　:2 ポート *1) 1G(SFP)ポート　：2 ポート *1)
		通信モード	10/100/1000M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto-Negotiation, 固定設定(10/100/1000M、全二重/半二重) 1G(SFP)ポート　：1000BASE-X、100BASE-FX Auto-Negotiation, 固定設定(100/1000M、全二重) *2)
		コネクター形状	10/100/1000M ポート　：8 ピン RJ-45 1G(SFP)ポート　：SFP(mini-GBIC)
2	管理ポート インター フェース	コンソール インター フェース	コネクター形状：D-SUB9 ピン メス形状 接続：RS-232C(ストレート、DTE 仕様、勘合ネジ:インチネジ #4-40)
3	AC インレットコネクター仕様		IEC60320-1 スタンダード・C14
4	MAC アドレス登録数		8k
5	スイッチングモード		ストア・アンド・フォワード
6	スイッチング容量		36 Gbps
7	CPU メモリー		128 Mbyte
8	フラッシュメモリー		16 Mbyte
9	パケットバッファー		512 Kbyte
10	ジャンボフレーム		最大 9216 byte
11	冷却方式		強制空冷（FAN あり、側面吸気、背面排気）
12	騒音特性 *3)		約 47 dB
13	入力電圧範囲		AC100～120 V +/-10 %（47～63Hz） AC200～240 V +/-10 %（47～63Hz）
14	瞬停特性(AC100V 時)		20ms 以上
15	最大消費電力(W) (AC100/200V)	PoE 無給電	32 以下 / 32 以下
		PoE フル給電	300 以下 / 296 以下
16	消費電力(W) (AC100/200V)*4)	PoE 無給電	26 以下 / 27 以下
		PoE フル給電	295 以下 / 285 以下
17	皮相電力(VA) (AC100/200V)	PoE 無給電	34 / 53
		PoE フル給電	302 / 304
18	最大入力電流(A)	PoE 無給電	0.4 / 0.3

No.	項目		概略仕様
	(AC100/200V)	PoE フル給電	3.4 / 1.2
19	消費電流(A)	PoE 無給電	0.3 以下 / 0.3 以下
	(AC100/200V)	PoE フル給電	3.4 以下 / 1.2 以下
20	突入電流(A)(AC100/200V) *3)		30 以下 / 60 以下
21	発熱量(kJ/h)	PoE 無給電	116 以下 / 116 以下
	(AC100/200V)	PoE フル給電	1080 以下 / 1066 以下
22	外形寸法(WDH)(mm) *5)		210.0×325.0×44.0
23	概算質量 *6)		2.7kg 以下
24	PoE 給電機能		IEEE802.3at に準拠した給電機能(1～16 ポート) 給電タイプ：Alternative A Type 各ポートの最大給電値を設定可能(class0 の場合 15.4 W/port×16port、class 4 の場合 30 W/port×8port) 装置給電トータル値を設定可能(20 W～250 W) 最大給電値：250 W 給電トータル値を超える端末を接続した場合、優先度の低い端末の給電を停止する。

*1) 排他ポート(同時使用可能なポートは 2 ポート)

*2) 100M 固定設定は 100BASE-FX SFP 使用時のみ。

*3) 典型値であり性能を保証するものではありません。

*4) 全ポート 1,518byte ユニキャスト L2 フレーム、IFG12byte 通信における典型値、SFP ポート H-SX-SFP/R 搭載時。

*5) 突起部含まず。

*6) 本体のみの質量。コンソールケーブルや電源ケーブルなどは含まず。

2.3.12 ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2

以下に ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 の概略仕様を記載します。

表 2-14 ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 概略仕様

No.	項目		概略仕様
1	LAN インター フェース	ポート数	10/100/1000M ポート　：20 ポート 10/100/1000M ポート ：4 ポート *1) 1G(SFP)ポート　　：4 ポート *1)
		通信モード	10/100/1000M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto-Negotiation, 固定設定(10/100/1000M、全二重/半二重) 1G(SFP)ポート　　：1000BASE-X、100BASE-FX Auto-Negotiation, 固定設定(100/1000M、全二重) *2)
		コネクター形状	10/100/1000M ポート　：8 ピン RJ-45 1G(SFP)ポート　　：SFP(mini-GBIC)
2	管理ポート インター フェース	コンソール インター フェース	コネクター形状：D-SUB9 ピン メス形状 接続：RS-232C(ストレート、DTE 仕様、勘合ネジ:インチネジ #4-40)
3	AC インレットコネクター仕様		IEC60320-1 スタンダード・C14
4	MAC アドレス登録数		8k
5	スイッチングモード		ストア・アンド・フォワード
6	スイッチング容量		48 Gbps
7	CPU メモリー		128 Mbyte
8	フラッシュメモリー		16 Mbyte
9	パケットバッファー		512 Kbyte
10	ジャンボフレーム		最大 9216 byte
11	冷却方式		強制空冷（FAN あり、右側面吸気、左側面排気）
12	騒音特性 *3)		約 44 dB（FAN 低速回転時）、約 58 dB（FAN 高速回転時）
13	入力電圧範囲		AC100～120 V +/-10 %（47～63Hz） AC200～240 V +/-10 %（47～63Hz）
14	瞬停特性(AC100V 時)		20ms 以上
15	最大消費電力(W) (AC100/200V)	PoE 無給電時	48 以下 / 48 以下
		PoE フル給電	487 以下 / 480 以下
16	消費電力(W) (AC100/200V)*4)	PoE 無給電時	40 以下 / 40 以下
		PoE フル給電	478 以下 / 459 以下
17	皮相電力(VA) (AC100/200V)	PoE 無給電時	65 / 110
		PoE フル給電	490 / 490
18	最大入力電流(A)	PoE 無給電時	0.8 / 0.8

No.	項目		概略仕様
	(AC100/200V)	PoE フル給電	5.7 / 2.9
19	消費電流(A)	PoE 無給電時	0.7 以下 / 0.5 以下
	(AC100/200V)	PoE フル給電	5.6 以下 / 2.9 以下
20	突入電流(A) (AC100/200V) *3)		45 以下
21	発熱量(kJ/h)	PoE 無給電時	174 以下 / 174 以下
	(AC100/200V)	PoE フル給電	1755 以下 / 1730 以下
22	外形寸法(WDH)(mm) *5)		441.0×280.0×44.0
23	概算質量 *6)		4.5 kg 以下
24	PoE 給電機能		IEEE802.3at に準拠した給電機能(1～24 ポート) 給電タイプ：Alternative A Type 各ポートの最大給電値を設定可能(class0 の場合 15.4 W/port×24port、class 4 の場合 30 W/port×12port) 装置給電トータル値を設定可能(20 W～375 W) 最大給電値：375 W 給電トータル値を超える端末を接続した場合、優先度の低い端末の給電を停止する。

*1) 排他ポート(同時使用可能なポートは 4 ポート)

*2) 100M 固定設定は 100BASE-FX SFP 使用時のみ。

*3) 典型値であり性能を保証するものではありません。

*4) 全ポート 1,518byte ユニキャスト L2 フレーム、IFG12byte 通信における典型値、SFP ポート H-SX-SFP/R 搭載時。

*5) 突起部含まず。

*6) 本体のみの質量。コンソールケーブルや電源ケーブルなどは含まず。

2.3.13 ApresiaLightGM152GT

以下に ApresiaLightGM152GT の概略仕様を記載します。

表 2-15 ApresiaLightGM152GT 概略仕様

No.	項目		概略仕様
1	LAN インター フェース	ポート数	10/100/1000M ポート　：48 ポート 1G(SFP)ポート　　：4 ポート
		通信モード	10/100/1000M ポート　：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T Auto-Negotiation, 固定設定(10/100/1000M、全二重/半二重) 1G(SFP)ポート　　：1000BASE-X、100BASE-FX Auto-Negotiation, 固定設定(100/1000M、全二重) *1)
		コネクター形状	10/100/1000M ポート　：8 ピン RJ-45 1G(SFP)ポート　　：SFP(mini-GBIC)
2	管理ポート インター フェース	コンソール インター フェース	コネクター形状：D-SUB9 ピン メス形状 接続：RS-232C(ストレート、DTE 仕様、勘合ネジ:インチネジ #4-40)
3	AC インレットコネクター仕様		IEC60320-1 スタンダード・C14
4	MAC アドレス登録数		16k
5	スイッチングモード		ストア・アンド・フォワード
6	スイッチング容量		104 Gbps
7	CPU メモリー		128 Mbyte
8	フラッシュメモリー		16 Mbyte
9	パケットバッファー		3 Mbyte
10	ジャンボフレーム		最大 12,288 byte
11	冷却方式		強制空冷 (FAN あり、前面吸気、背面排気)
12	騒音特性 *2)		約 41 dB (FAN 低速回転時)、約 47 dB (FAN 高速回転時)
13	入力電圧範囲		AC100～120V +/-10% (47～63Hz) AC200～240V +/-10% (47～63Hz)
14	瞬停特性(AC100V 時)		20ms 以上
15	皮相電力(VA) (AC100/200V)		148 / 137
16	発熱量(kJ/h) (AC100/200V)		310 以下 / 210 以下
17	最大入力電流(A) (AC100/200V)		1.5 / 0.7
18	消費電流(A) (AC100/200V)		1.3 以下 / 0.6 以下
19	突入電流(A) (AC100/200V) *2)		60 以下
20	最大消費電力(W) (AC100/200V)		86 以下 / 58 以下
21	消費電力(典型値) *3)		65 以下 / 64 以下
22	外形寸法(WDH)(mm) *4)		436.0×290.0×44.0

No.	項目	概略仕様
23	概算質量 *5)	4.1 kg 以下

*1) 100M 固定設定は 100BASE-FX SFP 使用時のみ。

*2) 典型値であり性能を保証するものではありません。

*3) 全ポート 1,518byte ユニキャスト L2 フレーム、IFG12byte 通信における典型値、SFP ポート H-SX-SFP/R 搭載時。

*4) 突起部含まず。

*5) 本体のみの質量。コンソールケーブルや電源ケーブルなどは含まず。

2.3.14 補足事項

予約済マルチキャストパケット(01-80-C2-00-00-00 ～ 01-80-C2-00-00-2F)の処理において、以下の宛先 MAC アドレスは破棄されます。

＜ApresiaLightFM シリーズ＞

01-80-C2-00-00-01, 01-80-C2-00-00-02 および 01-80-C2-00-00-04 ～ 01-80-C2-00-00-10

＜ApresiaLightGM シリーズ、ApresiaLightGM152GT＞

01-80-C2-00-00-01, 01-80-C2-00-00-02 および 01-80-C2-00-00-04 ～ 01-80-C2-00-00-0F

2.4 各部の名称と機能

2.4.1 ApresiaLightFM108GT-SS

2.4.1.1 フロントパネル

以下に ApresiaLightFM108GT-SS のフロントパネルと各部の名称を記載します。

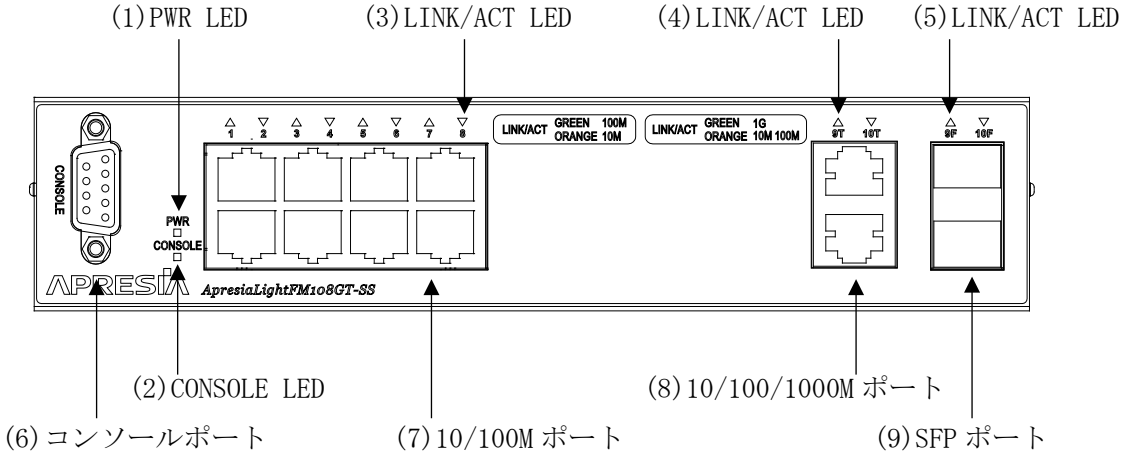


図 2-1 ApresiaLightFM108GT-SS のフロントパネル

表 2-16 ApresiaLightFM108GT-SS フロントパネル各部の名称および機能

No.	名称	ステータス	説明
(1)	PWR LED	緑点灯	電源が供給されている状態
		消灯	電源が供給されていない状態 もしくは、電源異常
(2)	CONSOLE LED	緑点灯	コンソールでアクセスしている状態
		緑点滅	起動時のセルフテストを実行中、セルフテストでエラー検出、自装置または接続先の Loop 検知
		消灯	コンソールでアクセスしていない状態
(3)	10/100M ポート LINK/ACT LED	緑点灯	100M bit/s でリンク確立
		緑点滅	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(4)	10/100/1000M ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10/100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10/100M bit/s でリンク確立し、かつデー

No.	名称	ステータス	説明
			タの送受信中
		消灯	リンクなし
(5)	1G(SFP)ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯 *1)	100M bit/s でリンク確立
		橙点滅 *1)	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(6)	コンソールポート	-	RS-232C(EIA-232-D)の通信機能を持つ端末を接続し、パラメーター設定を行います。
(7)	10/100M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX の通信機能を持つ装置を接続してください。
(8)	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(9)	1G(SFP)ポート	-	対応した SFP を装着してください。 (2.5 項参照)

*1) 100BASE-FX SFP 使用時

自装置または接続先の Loop を検知したことによる CONSOLE LED の点滅は、Ver.1.07.00 以降でサポートしています。

2.4.1.2 リアパネル

以下に ApresiaLightFM108GT-SS のリアパネルと各部の名称を記載します。

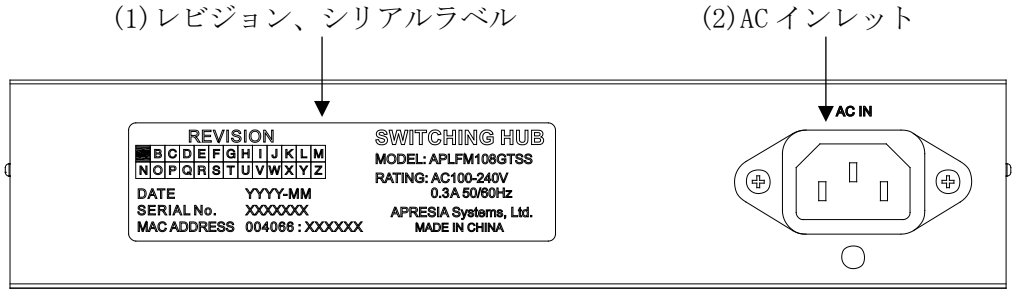


図 2-2 ApresiaLightFM108GT-SS のリアパネル

表 2-17 ApresiaLightFM108GT-SS のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	レビジョン、シリアルラベル	スイッチングハブのレビジョン、シリアル番号、MAC アドレス等を示すラベルです。注)旧社名表示の場合があります。
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクターです。 本装置には電源スイッチはありません。 電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。必ず、添付されている電源コードをご使用ください。

2.4.1.3 トップパネル

以下に ApresiaLightFM108GT-SS のトップパネルと各部の名称を記載します。

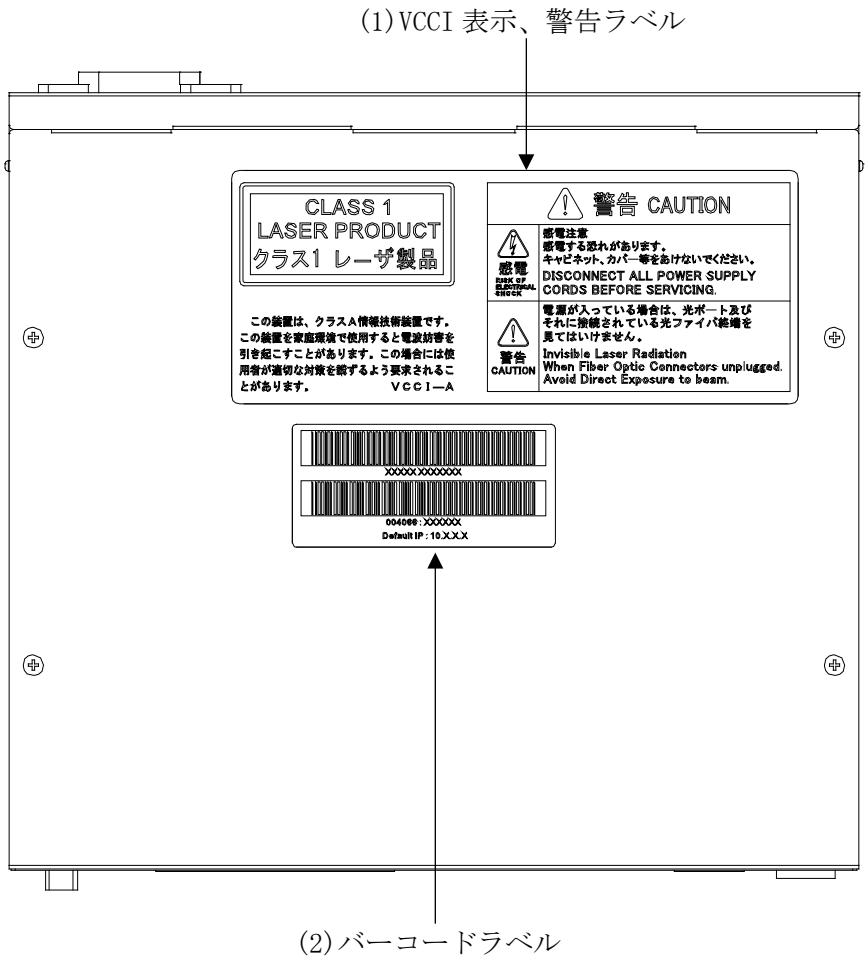


図 2-3 ApresiaLightFM108GT-SS のトップパネル

表 2-18 ApresiaLightFM108GT-SS のトップパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	VCCI 表示、警告ラベル	VCCI 適合性に関する表示と警告表示です。
(2)	バーコードラベル	シリアル番号及び MAC アドレスをバーコードで示すラベルです。 注)初期 IP アドレス表示がある場合があります。

2.4.1.4 サイドパネル

以下に ApresiaLightFM108GT-SS のサイドパネルと各部の名称を記載します。

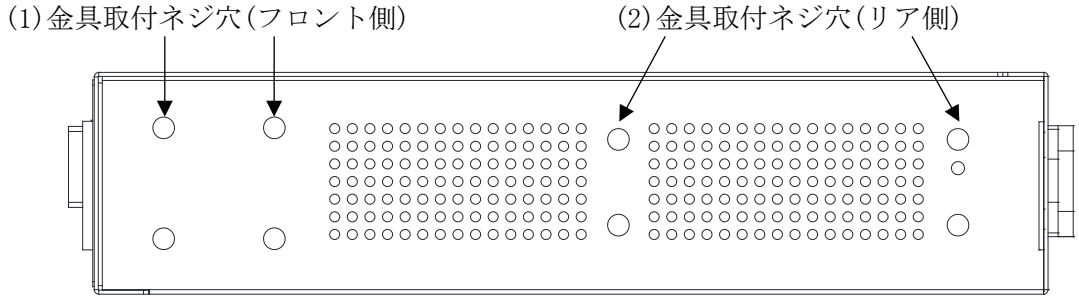


図 2-4 ApresiaLightFM108GT-SS のサイドパネル

表 2-19 ApresiaLightFM108GT-SS のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	金具取付ネジ穴(フロント側)	専用ラックマウント金具、専用ラックマウント金具(2 台連結用)、壁面取付金具、縦置き KIT(小)を取り付けるためのネジ穴です。
(2)	金具取付ネジ穴(リア側)	専用ラックマウント金具(2 台連結用)を取り付けるためのネジ穴です。

2.4.2 ApresiaLightFM116GT-SS

2.4.2.1 フロントパネル

以下に ApresiaLightFM116GT-SS のフロントパネルと各部の名称を記載します。

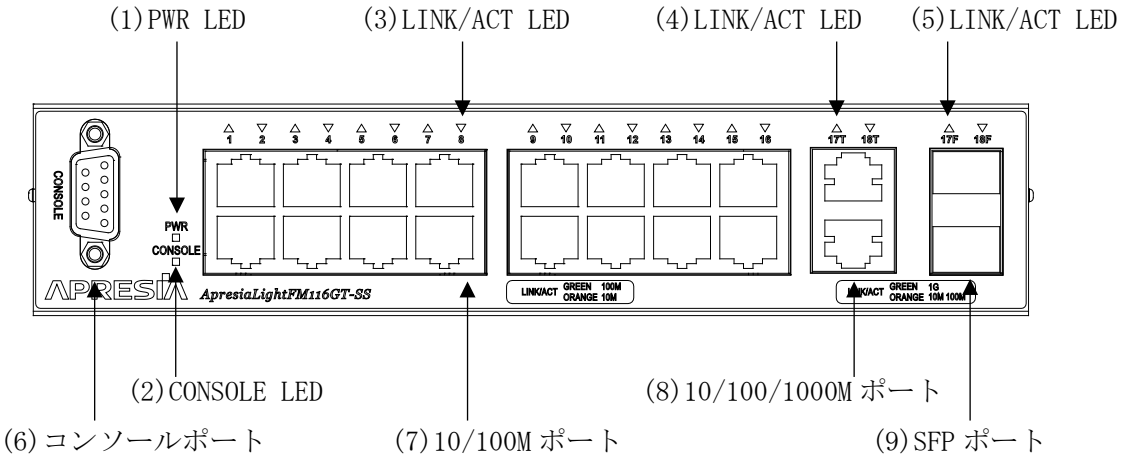


図 2-5 ApresiaLightFM116GT-SS のフロントパネル

表 2-20 ApresiaLightFM116GT-SS フロントパネル各部の名称および機能

No.	名称	ステータス	説明
(1)	PWR LED	緑点灯	電源が供給されている状態
		消灯	電源が供給されていない状態 もしくは、電源異常
(2)	CONSOLE LED	緑点灯	コンソールでアクセスしている状態
		緑点滅	起動時のセルフテストを実行中、セルフテストでエラー検出、自装置または接続先の Loop 検知
		消灯	コンソールでアクセスしていない状態
(3)	10/100M ポート LINK/ACT LED	緑点灯	100M bit/s でリンク確立
		緑点滅	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(4)	10/100/1000M ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10/100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10/100M bit/s でリンク確立し、かつデー

No.	名称	ステータス	説明
			タの送受信中
		消灯	リンクなし
(5)	1G(SFP)ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯 *1)	100M bit/s でリンク確立
		橙点滅 *1)	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(6)	コンソールポート	-	RS-232C(EIA-232-D)の通信機能を持つ端末を接続し、パラメーター設定を行います
(7)	10/100M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX の通信機能を持つ装置を接続してください。
(8)	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE=T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(9)	1G(SFP)ポート	-	対応した SFP を装着してください。 (2.5 項参照)

*1) 100BASE-FX SFP 使用時

自装置または接続先の Loop を検知したことによる CONSOLE LED の点滅は、Ver.1.07.00 以降でサポートしています。

2.4.2.2 リアパネル

以下に ApresiaLightFM116GT-SS のリアパネルと各部の名称を記載します。

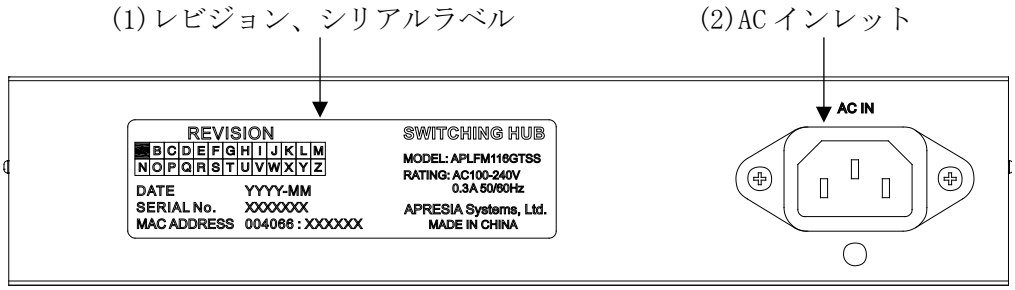


図 2-6 ApresiaLightFM116GT-SS のリアパネル

表 2-21 ApresiaLightFM116GT-SS のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	レビジョン、シリアルラベル	スイッチングハブのレビジョン、シリアル、MAC アドレス等を示すラベルです。注)旧社名表示の場合があります。
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクターです。 本装置には電源スイッチはありません。 電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。 必ず、添付されている電源コードをご使用ください。

2.4.2.3 トップパネル

以下に ApresiaLightFM116GT-SS のトップパネルと各部の名称を記載します。

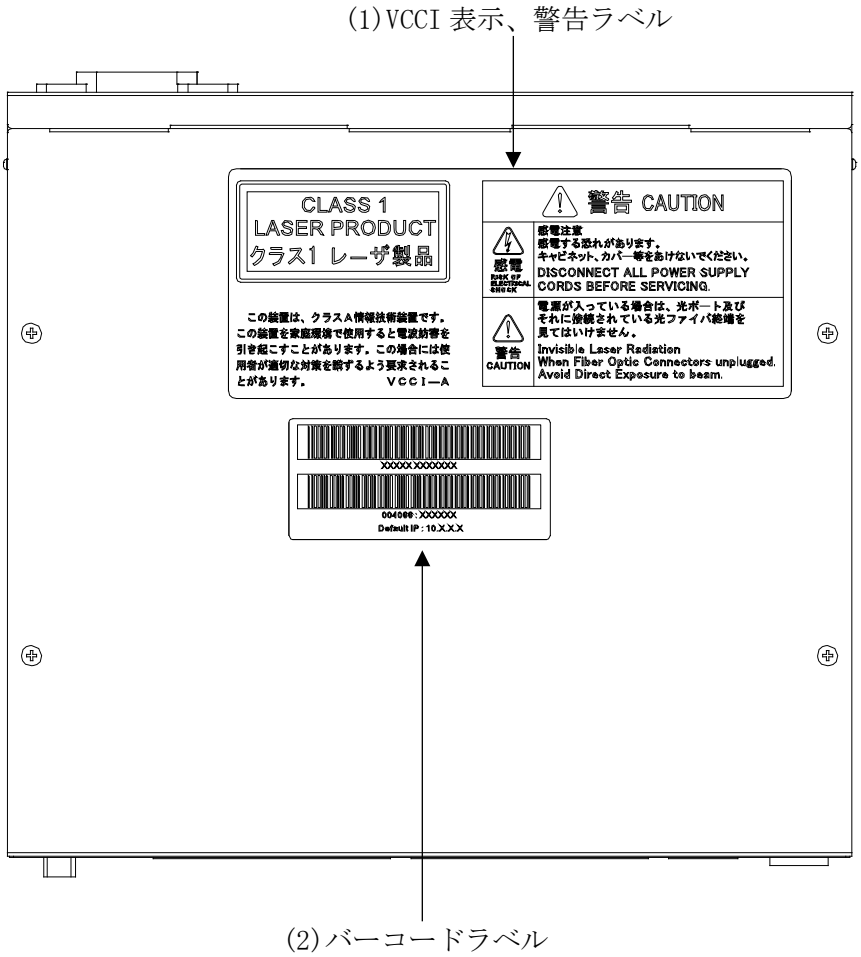


図 2-7 ApresiaLightFM116GT-SS のトップパネル

表 2-22 ApresiaLightFM116GT-SS のトップパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	VCCI 表示、警告ラベル	VCCI 適合性に関する表示と警告表示です。
(2)	バーコードラベル	シリアル番号及び MAC アドレスをバーコードで示すラベルです。 注)初期 IP アドレス表示がある場合があります。

2.4.2.4 サイドパネル

以下に ApresiaLightFM116GT-SS のサイドパネルと各部の名称を記載します。

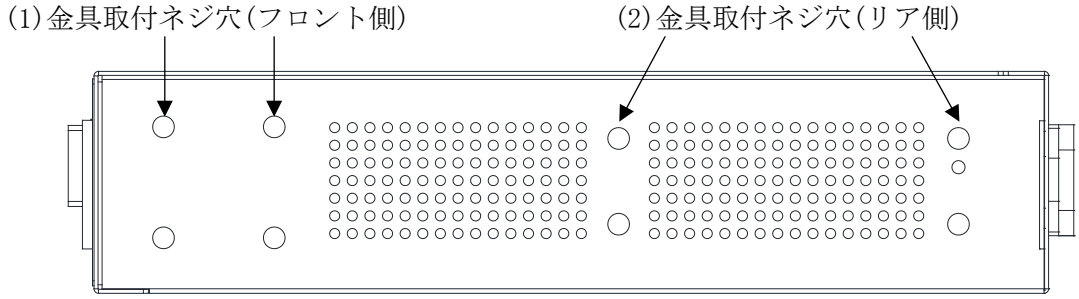


図 2-8 ApresiaLightFM116GT-SS のサイドパネル

表 2-23 ApresiaLightFM116GT-SS のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	金具取付ネジ穴(フロント側)	専用ラックマウント金具、専用ラックマウント金具(2 台連結用)、壁面取付金具、縦置き KIT(小)を取り付けるためのネジ穴です。
(2)	金具取付ネジ穴(リア側)	専用ラックマウント金具(2 台連結用)を取り付けるためのネジ穴です。

2.4.3 ApresiaLightFM124GT-SS

2.4.3.1 フロントパネル

以下に ApresiaLightFM124GT-SS のフロントパネルと各部の名称を記載します。

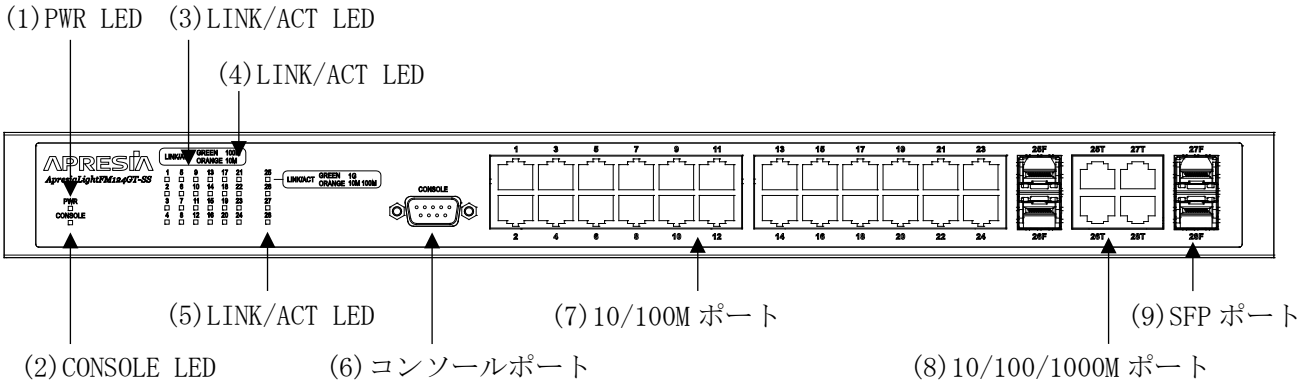


図 2-9 ApresiaLightFM124GT-SS のフロントパネル

表 2-24 ApresiaLightFM124GT-SS フロントパネル各部の名称および機能

No.	名称	ステータス	説明
(1)	PWR LED	緑点灯	電源が供給されている状態
		消灯	電源が供給されていない状態 もしくは、電源異常
(2)	CONSOLE LED	緑点灯	コンソールでアクセスしている状態
		緑点滅	起動時のセルフテストを実行中、セルフテストでエラー検出、自装置または接続先の Loop 検知
		消灯	コンソールでアクセスしていない状態
(3)	10/100M ポート LINK/ACT LED	緑点灯	100M bit/s でリンク確立
		緑点滅	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(4)	10/100/1000M ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10/100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10/100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし

No.	名称	ステータス	説明
(5)	1G(SFP)ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯 *1)	100M bit/s でリンク確立
		橙点滅 *1)	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(6)	コンソールポート	-	RS-232C(EIA-232-D)の通信機能を持つ端末を接続し、パラメーター設定を行います。
(7)	10/100M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX の通信機能を持つ装置を接続してください。
(8)	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE=T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(9)	1G(SFP)ポート	-	対応した SFP を装着してください。 (2.5 項参照)

*1) 100BASE-FX SFP 使用時

自装置または接続先の Loop を検知したことによる CONSOLE LED の点滅は、Ver.1.07.00 以降でサポートしています。

2.4.3.2 リアパネル

以下に ApresiaLightFM124GT-SS のリアパネルと各部の名称を記載します。

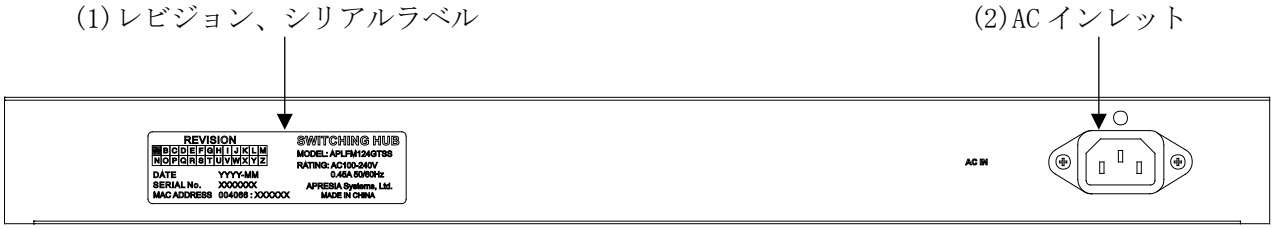


図 2-10 ApresiaLightFM124GT-SS のリアパネル

表 2-25 ApresiaLightFM124GT-SS のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	レビジョン、シリアルラベル	スイッチングハブのレビジョン、シリアル、MAC アドレス等を示すラベルです。注)旧社名表示の場合があります。
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクターです。 本装置には電源スイッチはありません。 電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。 必ず、添付されている電源コードをご使用ください。

2.4.3.3 トップパネル

以下に ApresiaLightFM124GT-SS のトップパネルと各部の名称を記載します。

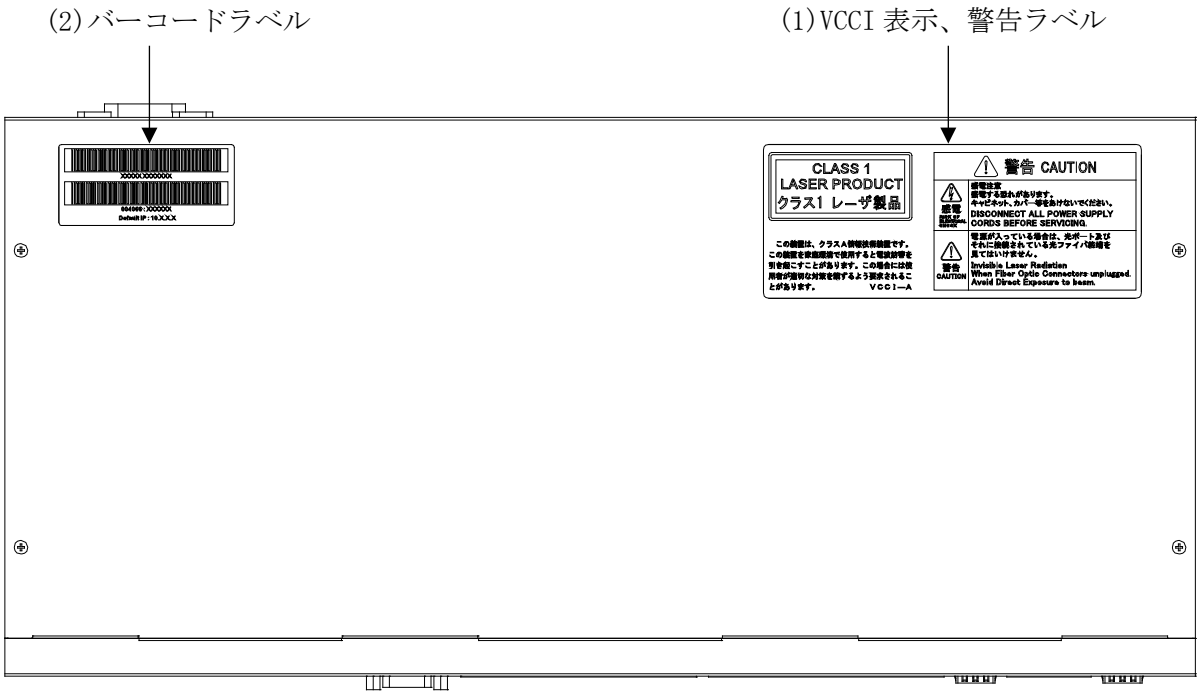


図 2-11 ApresiaLightFM124GT-SS のトップパネル

表 2-26 ApresiaLightFM124GT-SS のトップパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	VCCI 表示、警告ラベル	VCCI 適合性に関する表示と警告表示です。
(2)	バーコードラベル	シリアル番号及び MAC アドレスをバーコードで示すラベルです。 注)初期 IP アドレス表示がある場合があります。

2.4.3.4 サイドパネル

以下に ApresiaLightFM124GT-SS のサイドパネルと各部の名称を記載します。

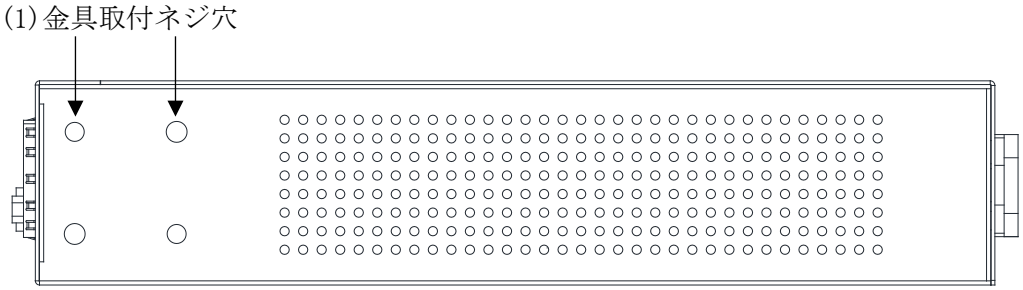


図 2-12 ApresiaLightFM124GT-SS のサイドパネル

表 2-27 ApresiaLightFM124GT-SS のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	金具取付ネジ穴	ラックマウント金具、壁面取付金具、縦置き KIT(大)を取り付けるためのネジ穴です。

2.4.4 ApresiaLightFM104GT-PoE

2.4.4.1 フロントパネル

以下に ApresiaLightFM104GT-PoE のフロントパネルと各部の名称を記載します。

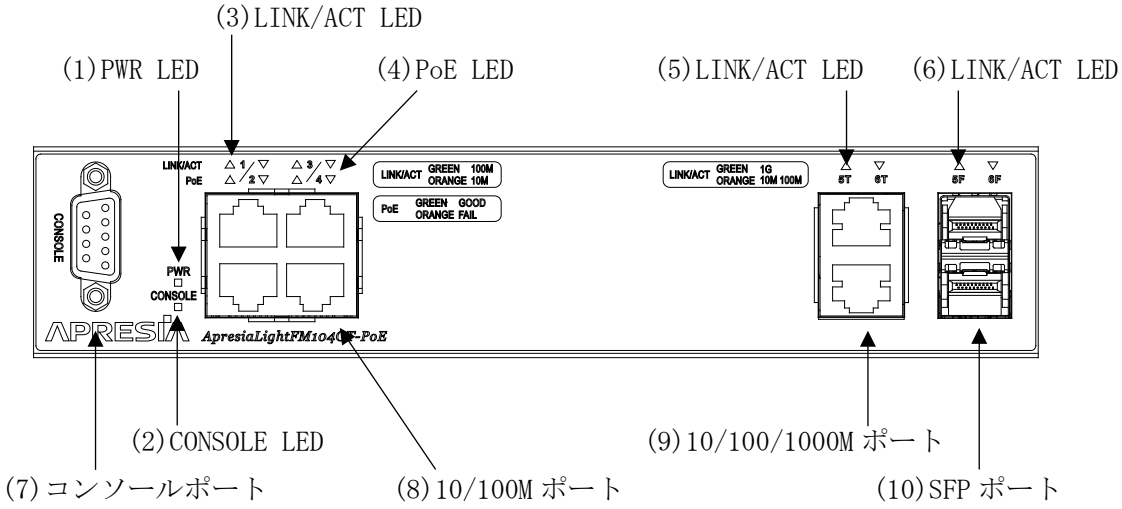


図 2-13 ApresiaLightFM104GT-PoE のフロントパネル

表 2-28 ApresiaLightFM104GT-PoE フロントパネル各部の名称および機能

No.	名称	ステータス	説明
(1)	PWR LED	緑点灯	電源が供給されている状態
		消灯	電源が供給されていない状態 もしくは、電源異常
(2)	CONSOLE LED	緑点灯	コンソールでアクセスしている状態
		緑点滅	起動時のセルフテストを実行中、セルフテストでエラー検出、自装置または接続先の Loop 検知
		消灯	コンソールでアクセスしていない状態
(3)	10/100M ポート LINK/ACT LED *1)	緑点灯	100M bit/s でリンク確立
		緑点滅	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(4)	PoE LED *1)	緑点灯	受電装置 PD が接続され正常に給電中
		橙点灯	受電装置 PD が接続されているが、給電に異常がある状態
		消灯	給電が停止されている状態
(5)	10/100/1000M ポート	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立

No.	名称	ステータス	説明
	LINK/ACT LED	緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10/100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10/100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(6)	1G(SFP)ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯 *2)	100M bit/s でリンク確立
		橙点滅 *2)	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(7)	コンソールポート	-	RS-232C(EIA-232-D)の通信機能を持つ端末を接続し、パラメーター設定を行います。
(8)	10/100M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX の通信機能を持つ装置を接続してください。
(9)	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(10)	1G(SFP)ポート	-	対応した SFP を装着してください。 (2.5 項参照)

*1) 装置から PD を外したときに、LINK/ACT LED および PoE LED が消灯するまで時間がかかる場合があります。また、装置に PD を接続したときに、LINK/ACT LED および PoE LED が点灯するまで少し時間がかかる場合があります。

*2) 100BASE-FX SFP 使用時

2.4.4.2 リアパネル

以下に ApresiaLightFM104GT-PoE のリアパネルと各部の名称を記載します。

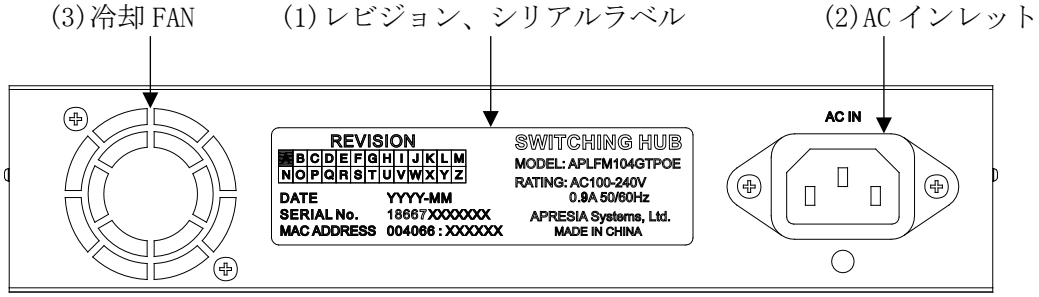


図 2-14 ApresiaLightFM104GT-PoE のリアパネル

表 2-29 ApresiaLightFM104GT-PoE のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	レビジョン、シリアルラベル	スイッチングハブのレビジョン、シリアル、MAC アドレス等を示すラベルです。注)旧社名表示の場合があります。
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクターです。 本装置には電源スイッチはありません。 電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。 必ず、添付されている電源コードをご使用ください。
(3)	冷却 FAN	冷却用の FAN です。

2.4.4.3 トップパネル

以下に ApresiaLightFM104GT-PoE のトップパネルと各部の名称を記載します。

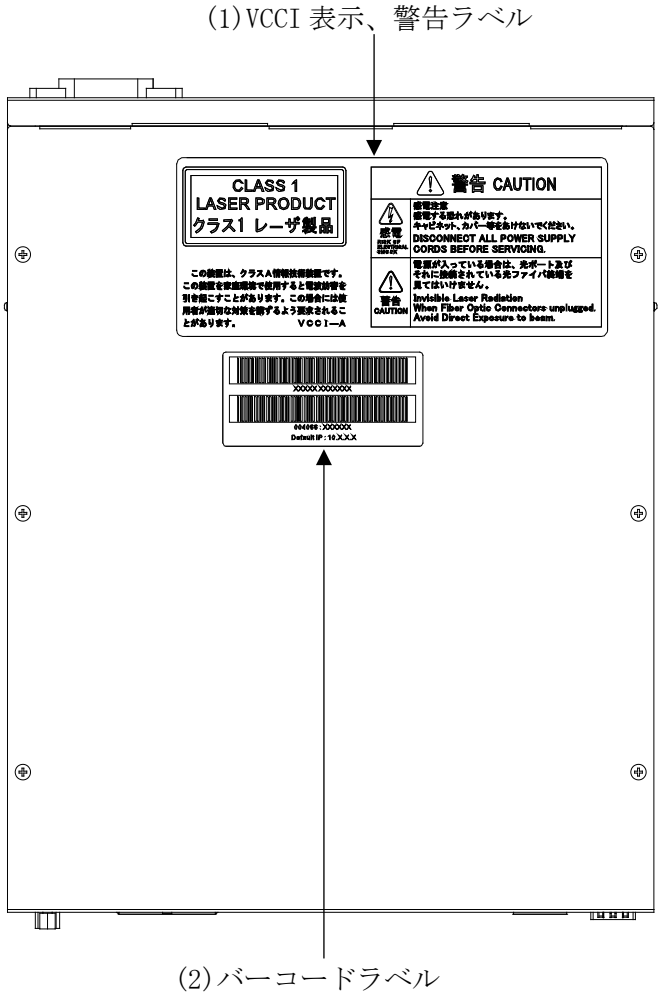


図 2-15 ApresiaLightFM104GT-PoE のトップパネル

表 2-30 ApresiaLightFM104GT-PoE のトップパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	VCCI 表示、警告ラベル	VCCI 適合性に関する表示と警告表示です。
(2)	バーコードラベル	シリアル番号及び MAC アドレスをバーコードで示すラベルです。 注)初期 IP アドレス表示がある場合があります。

2.4.4.4 サイドパネル

以下に ApresiaLightFM104GT-PoE のサイドパネルと各部の名称を記載します。

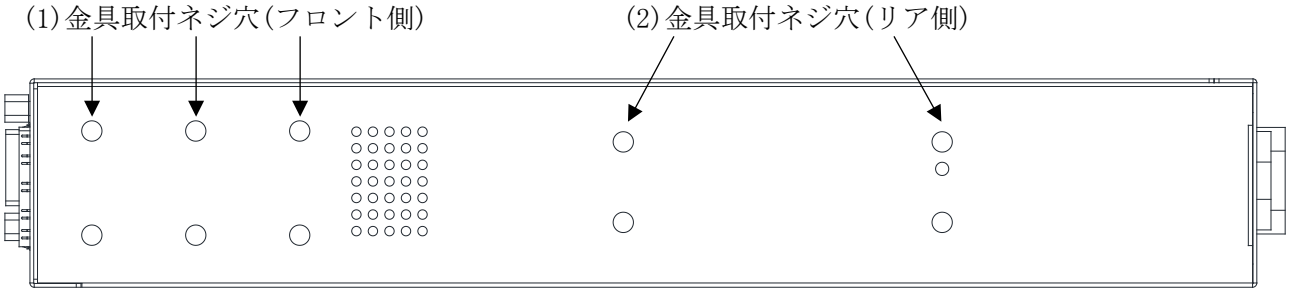


図 2-16 ApresiaLightFM104GT-PoE のサイドパネル

表 2-31 ApresiaLightFM104GT-PoE のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	金具取付ネジ穴(フロント側)	専用ラックマウント金具、専用ラックマウント金具(2 台連結用)、壁面取付金具、縦置き KIT(大)を取り付けるためのネジ穴です。
(2)	金具取付ネジ穴(リア側)	専用ラックマウント金具(2 台連結用)を取り付けるためのネジ穴です。

2.4.5 ApresiaLightFM108GT-PoE

2.4.5.1 フロントパネル

以下に ApresiaLightFM108GT-PoE のフロントパネルと各部の名称を記載します。

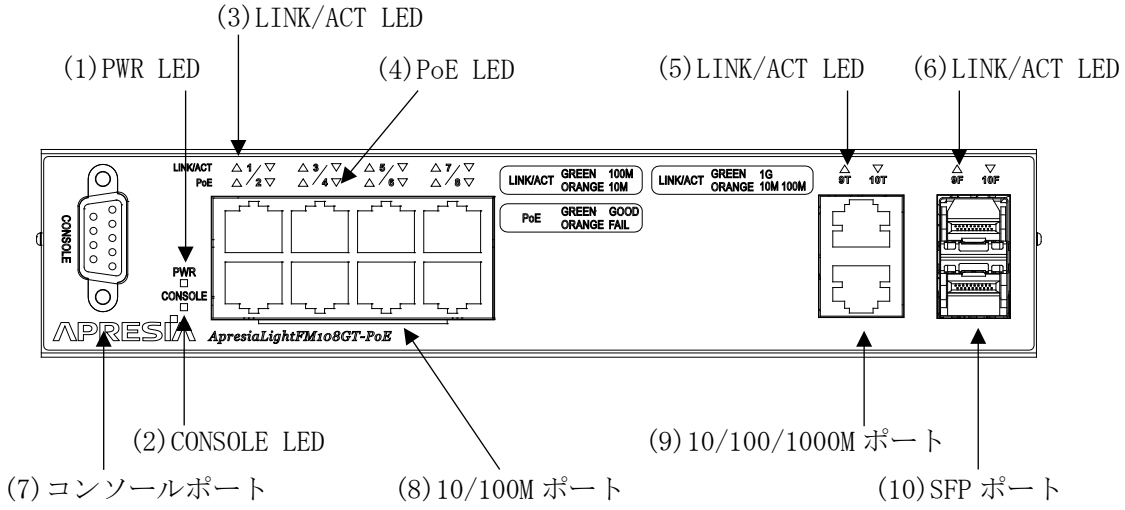


図 2-17 ApresiaLightFM108GT-PoE のフロントパネル

表 2-32 ApresiaLightFM108GT-PoE フロントパネル各部の名称および機能

No.	名称	ステータス	説明
(1)	PWR LED	緑点灯	電源が供給されている状態
		消灯	電源が供給されていない状態 もしくは、電源異常
(2)	CONSOLE LED	緑点灯	コンソールでアクセスしている状態
		緑点滅	起動時のセルフテストを実行中、セルフテストでエラー検出、自装置または接続先の Loop 検知
		消灯	コンソールでアクセスしていない状態
(3)	10/100M ポート LINK/ACT LED *1)	緑点灯	100M bit/s でリンク確立
		緑点滅	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(4)	PoE LED *1)	緑点灯	受電装置 PD が接続され正常に給電中
		橙点灯	受電装置 PD が接続されているが、給電に異常がある状態
		消灯	給電が停止されている状態
(5)	10/100/1000M ポート	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立

No.	名称	ステータス	説明
	LINK/ACT LED	緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10/100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10/100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(6)	1G(SFP)ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯 *2)	100M bit/s でリンク確立
		橙点滅 *2)	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(7)	コンソールポート	-	RS-232C(EIA-232-D)の通信機能を持つ端末を接続し、パラメーター設定を行います。
(8)	10/100M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX の通信機能を持つ装置を接続してください。
(9)	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(10)	1G(SFP)ポート	-	対応した SFP を装着してください。 (2.5 項参照)

*1) 装置から PD を外したときに、LINK/ACT LED および PoE LED が消灯するまで時間がかかる場合があります。また、装置に PD を接続したときに、LINK/ACT LED および PoE LED が点灯するまで少し時間がかかる場合があります。

*2) 100BASE-FX SFP 使用時

自装置または接続先の Loop を検知したことによる CONSOLE LED の点滅は、Ver.1.07.00 以降でサポートしています。

2.4.5.2 リアパネル

以下に ApresiaLightFM108GT-PoE のリアパネルと各部の名称を記載します。

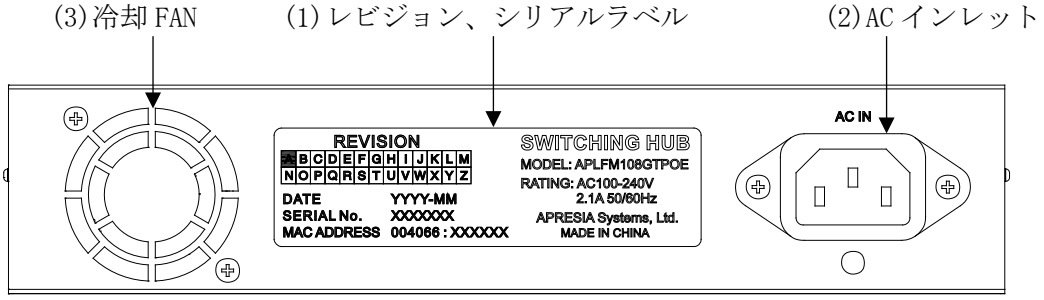


図 2-18 ApresiaLightFM108GT-PoE のリアパネル

表 2-33 ApresiaLightFM108GT-PoE のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	レビジョン、シリアルラベル	スイッチングハブのレビジョン、シリアル、MAC アドレス等を示すラベルです。注)旧社名表示の場合があります。
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクターです。 本装置には電源スイッチはありません。 電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。 必ず、添付されている電源コードをご使用ください。
(3)	冷却 FAN	冷却用の FAN です。

2.4.5.3 トップパネル

以下に ApresiaLightFM108GT-PoE のトップパネルと各部の名称を記載します。

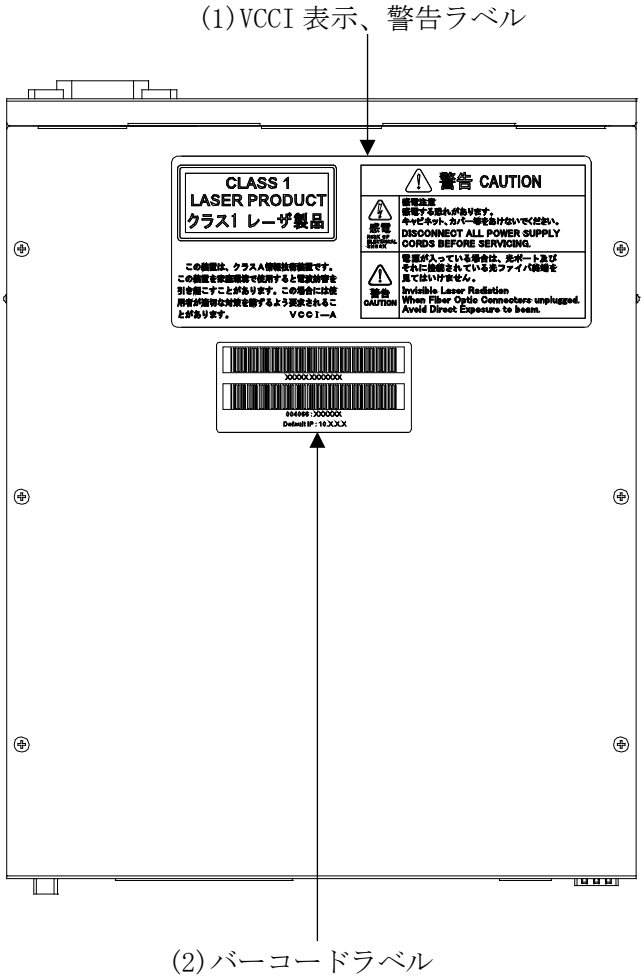


図 2-19 ApresiaLightFM108GT-PoE のトップパネル

表 2-34 ApresiaLightFM108GT-PoE のトップパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	VCCI 表示、警告ラベル	VCCI 適合性に関する表示と警告表示です。
(2)	バーコードラベル	シリアル番号及び MAC アドレスをバーコードで示すラベルです。 注)初期 IP アドレス表示がある場合があります。

2.4.5.4 サイドパネル

以下に ApresiaLightFM108GT-PoE のサイドパネルと各部の名称を記載します。

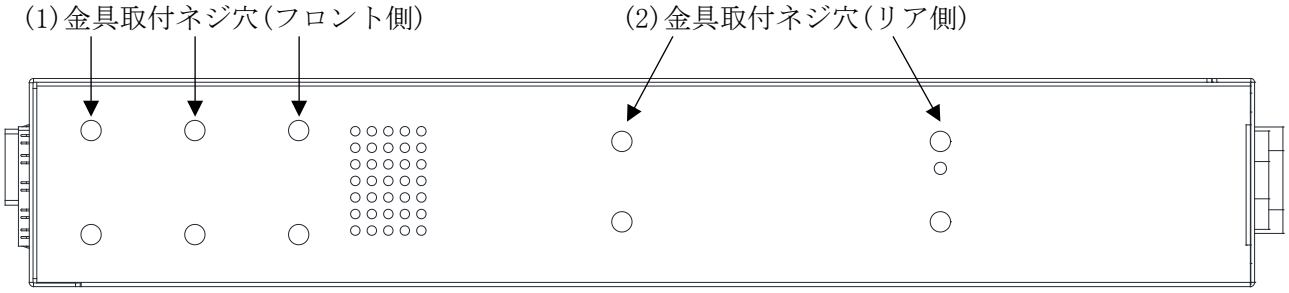


図 2-20 ApresiaLightFM108GT-PoE のサイドパネル

表 2-35 ApresiaLightFM108GT-PoE のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	金具取付ネジ穴(フロント側)	専用ラックマウント金具、専用ラックマウント金具(2 台連結用)、壁面取付金具、縦置き KIT(大)を取り付けるためのネジ穴です。
(2)	金具取付ネジ穴(リア側)	専用ラックマウント金具(2 台連結用)を取り付けるためのネジ穴です。

2.4.6 ApresiaLightFM116GT-PoE

2.4.6.1 フロントパネル

以下に ApresiaLightFM116GT-PoE のフロントパネルと各部の名称を記載します。

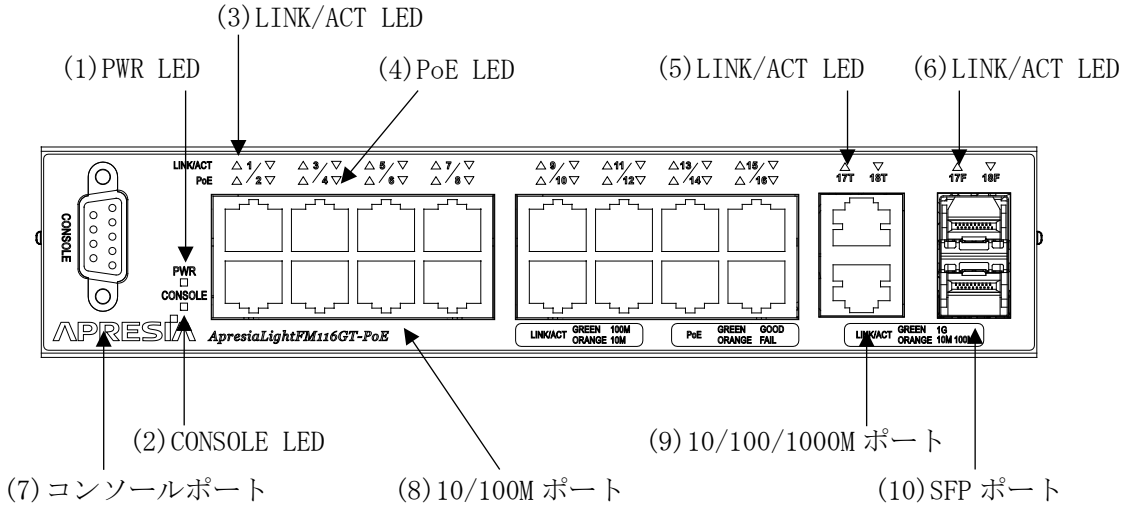


図 2-21 ApresiaLightFM116GT-PoE のフロントパネル

表 2-36 ApresiaLightFM116GT-PoE フロントパネル各部の名称および機能

No.	名称	ステータス	説明
(1)	PWR LED	緑点灯	電源が供給されている状態
		消灯	電源が供給されていない状態 もしくは、電源異常
(2)	CONSOLE LED	緑点灯	コンソールでアクセスしている状態
		緑点滅	起動時のセルフテストを実行中、セルフテストでエラー検出、自装置または接続先の Loop 検知
		消灯	コンソールでアクセスしていない状態
(3)	10/100M ポート LINK/ACT LED *1)	緑点灯	100M bit/s でリンク確立
		緑点滅	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(4)	PoE LED *1)	緑点灯	受電装置 PD が接続され正常に給電中
		橙点灯	受電装置 PD が接続されているが、給電に異常がある状態
		消灯	給電が停止されている状態
(5)	10/100/1000M ポート	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立

No.	名称	ステータス	説明
	LINK/ACT LED	緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10/100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10/100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(6)	1G(SFP)ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯 *2)	100M bit/s でリンク確立
		橙点滅 *2)	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(7)	コンソールポート	-	RS-232C(EIA-232-D)の通信機能を持つ端末を接続し、パラメーター設定を行います。
(8)	10/100M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX の通信機能を持つ装置を接続してください。
(9)	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(10)	1G(SFP)ポート	-	対応した SFP を装着してください。 (2.5 項参照)

*1) 装置から PD を外したときに、LINK/ACT LED および PoE LED が消灯するまで時間がかかる場合があります。また、装置に PD を接続したときに、LINK/ACT LED および PoE LED が点灯するまで少し時間がかかる場合があります。

*2) 100BASE-FX SFP 使用時

自装置または接続先の Loop を検知したことによる CONSOLE LED の点滅は、Ver.1.07.00 以降でサポートしています。

2.4.6.2 リアパネル

以下に ApresiaLightFM116GT-PoE のリアパネルと各部の名称を記載します。

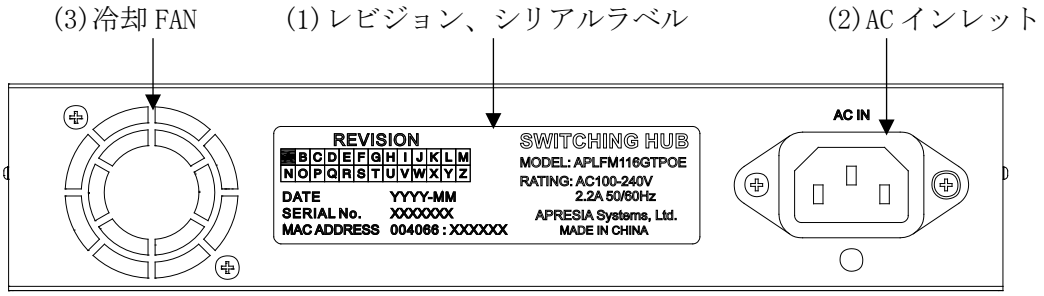


図 2-22 ApresiaLightFM116GT-PoE のリアパネル

表 2-37 ApresiaLightFM116GT-PoE のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	レビジョン、シリアルラベル	スイッチングハブのレビジョン、シリアル、MAC アドレス等を示すラベルです。注)旧社名表示の場合があります。
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクターです。 本装置には電源スイッチはありません。 電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。 必ず、添付されている電源コードをご使用ください。
(3)	冷却 FAN	冷却用の FAN です。

2.4.6.3 トップパネル

以下に ApresiaLightFM116GT-PoE のトップパネルと各部の名称を記載します。

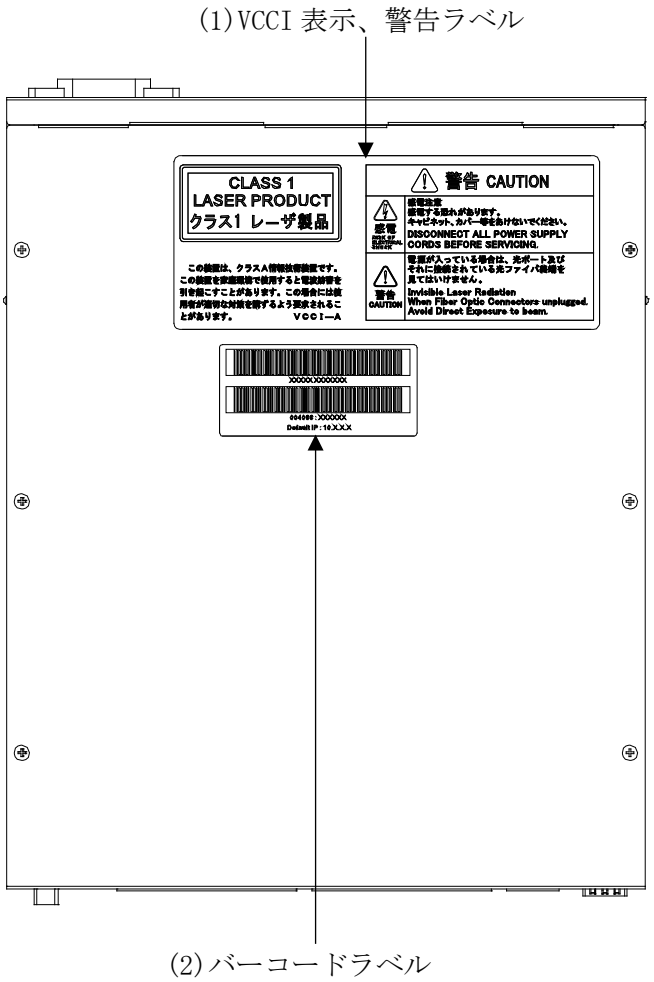


図 2-23 ApresiaLightFM116GT-PoE のトップパネル

表 2-38 ApresiaLightFM116GT-PoE のトップパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	VCCI 表示、警告ラベル	VCCI 適合性に関する表示と警告表示です。
(2)	バーコードラベル	シリアル番号及び MAC アドレスをバーコードで示すラベルです。 注)初期 IP アドレス表示がある場合があります。

2.4.6.4 サイドパネル

以下に ApresiaLightFM116GT-PoE のサイドパネルと各部の名称を記載します。

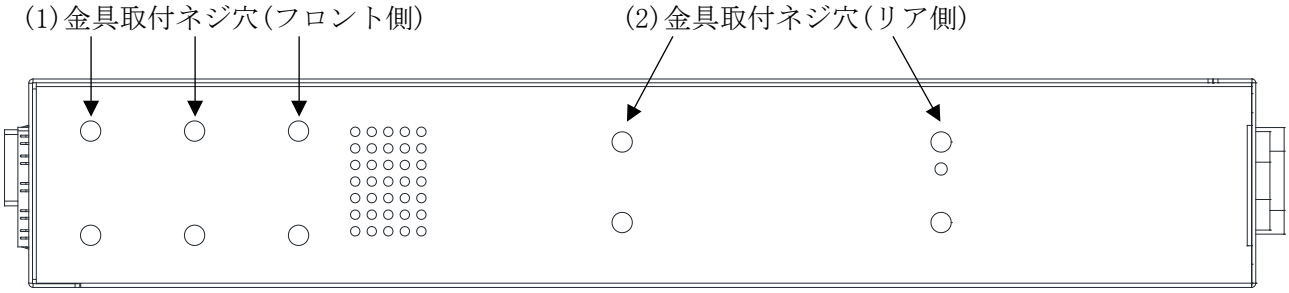


図 2-24 ApresiaLightFM116GT-PoE のサイドパネル

表 2-39 ApresiaLightFM116GT-PoE のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	金具取付ネジ穴(フロント側)	専用ラックマウント金具、専用ラックマウント金具(2 台連結用)、壁面取付金具、縦置き KIT(大)を取り付けるためのネジ穴です。
(2)	金具取付ネジ穴(リア側)	専用ラックマウント金具(2 台連結用)を取り付けるためのネジ穴です。

2.4.7 ApresiaLightGM110GT-SS

2.4.7.1 フロントパネル

以下に ApresiaLightGM110GT-SS のフロントパネルと各部の名称を記載します。

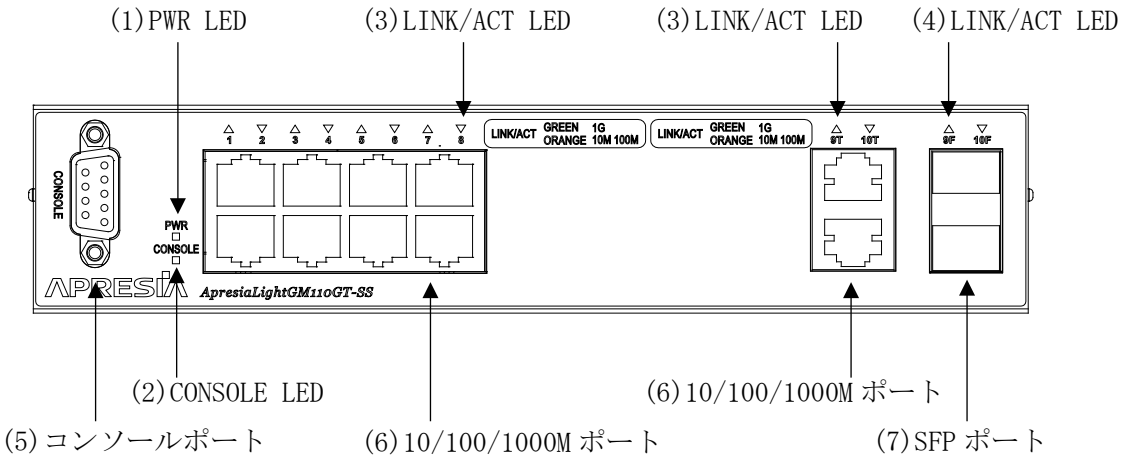


図 2-25 ApresiaLightGM110GT-SS のフロントパネル

表 2-40 ApresiaLightGM110GT-SS フロントパネル各部の名称および機能

No.	名称	ステータス	説明
(1)	PWR LED	緑点灯	電源が供給されている状態
		消灯	電源が供給されていない状態 もしくは、電源異常
(2)	CONSOLE LED	緑点灯	コンソールでアクセスしている状態
		緑点滅	起動時のセルフテストを実行中、セルフテストでエラー検出、自装置または接続先の Loop 検知
		消灯	コンソールでアクセスしていない状態
(3)	10/100/1000M ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10M 又は 100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M 又は 100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(4)	1G(SFP)ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯 *1)	100M bit/s でリンク確立
		橙点滅 *1)	100M bit/s でリンク確立し、かつデータ

No.	名称	ステータス	説明
			の送受信中
		消灯	リンクなし
(5)	コンソールポート	-	RS-232C(EIA-232-D)の通信機能を持つ端末を接続し、パラメーター設定を行います。
(6)	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(7)	1G(SFP)ポート	-	対応した SFP を装着してください。 (2.5 項参照)

*1) 100BASE-FX SFP 使用時

自装置または接続先の Loop を検知したことによる CONSOLE LED の点滅は、Ver.1.07.00 以降でサポートしています。

2.4.7.2 リアパネル

以下に ApresiaLightGM110GT-SS のリアパネルと各部の名称を記載します。

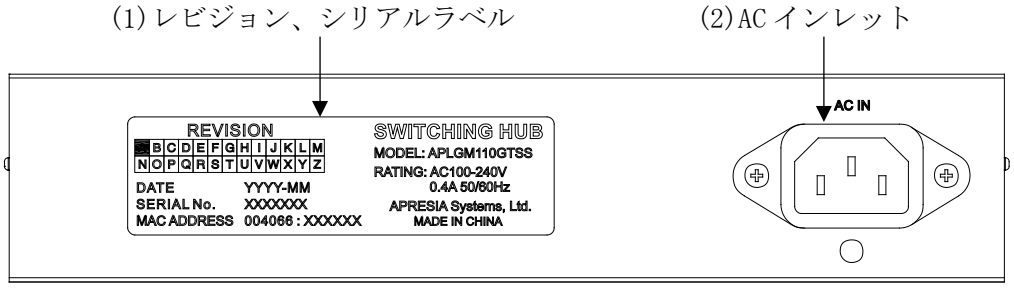


図 2-26 ApresiaLightGM110GT-SS のリアパネル

表 2-41 ApresiaLightGM110GT-SS のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	レビジョン、シリアルラベル	スイッチングハブのレビジョン、シリアル、MAC アドレス等を示すラベルです。注)旧社名表示の場合があります。
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクターです。 本装置には電源スイッチはありません。 電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。 必ず、添付されている電源コードをご使用ください。

2.4.7.3 トップパネル

以下に ApresiaLightGM110GT-SS のトップパネルと各部の名称を記載します。

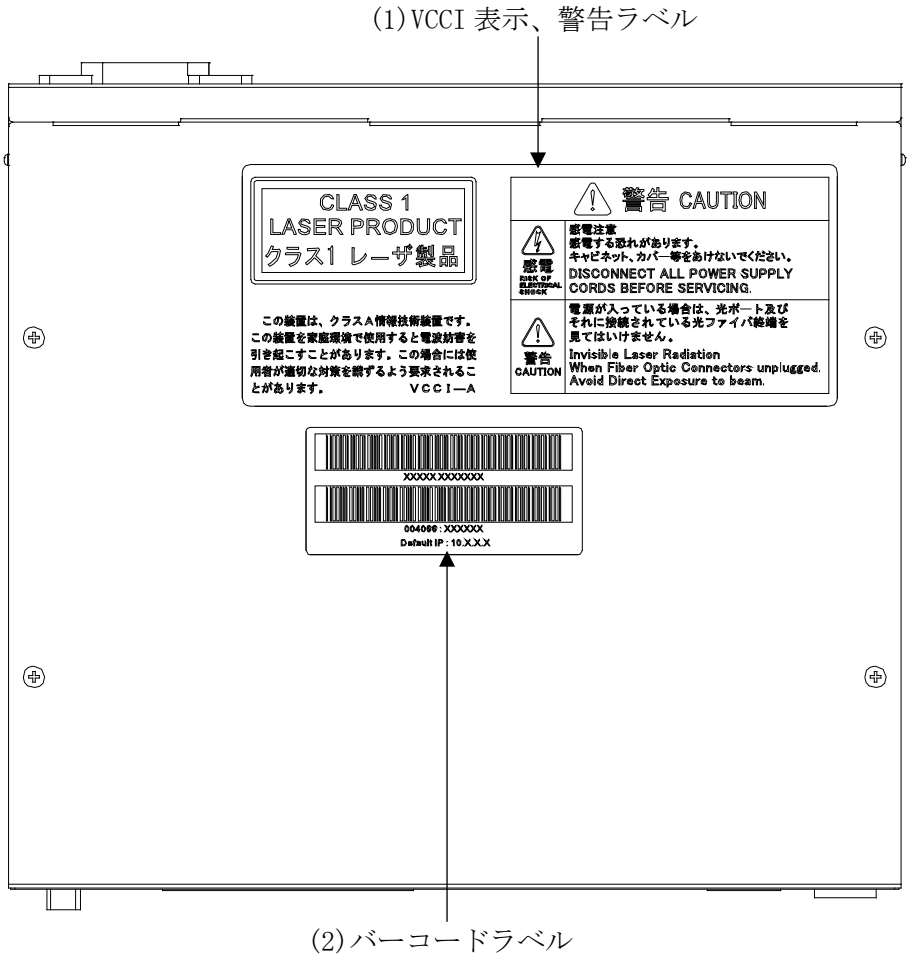


図 2-27 ApresiaLightGM110GT-SS のトップパネル

表 2-42 ApresiaLightGM110GT-SS のトップパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	VCCI 表示、警告ラベル	VCCI 適合性に関する表示と警告表示です。
(2)	バーコードラベル	シリアル番号及び MAC アドレスをバーコードで示すラベルです。 注)初期 IP アドレス表示がある場合があります。

2.4.7.4 サイドパネル

以下に ApresiaLightGM110GT-SS のサイドパネルと各部の名称を記載します。

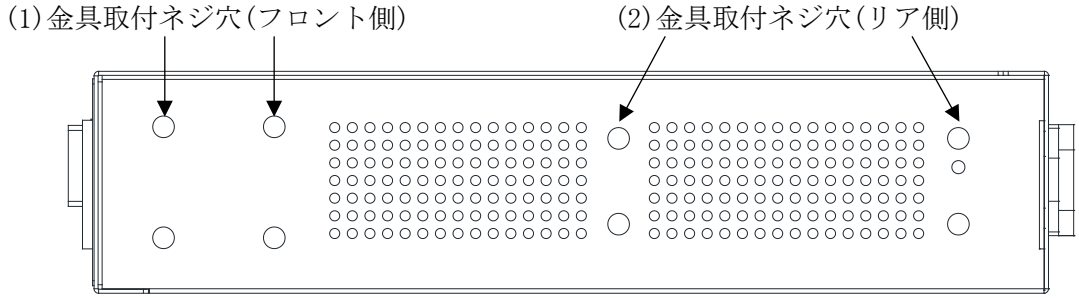


図 2-28 ApresiaLightGM110GT-SS のサイドパネル

表 2-43 ApresiaLightGM110GT-SS のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	金具取付ネジ穴(フロント側)	専用ラックマウント金具、専用ラックマウント金具(2 台連結用)、壁面取付金具、縦置き KIT(小)を取り付けるためのネジ穴です。
(2)	金具取付ネジ穴(リア側)	専用ラックマウント金具(2 台連結用)を取り付けるためのネジ穴です。

2.4.8 ApresiaLightGM118GT-SS

2.4.8.1 フロントパネル

以下に ApresiaLightGM118GT-SS のフロントパネルと各部の名称を記載します。

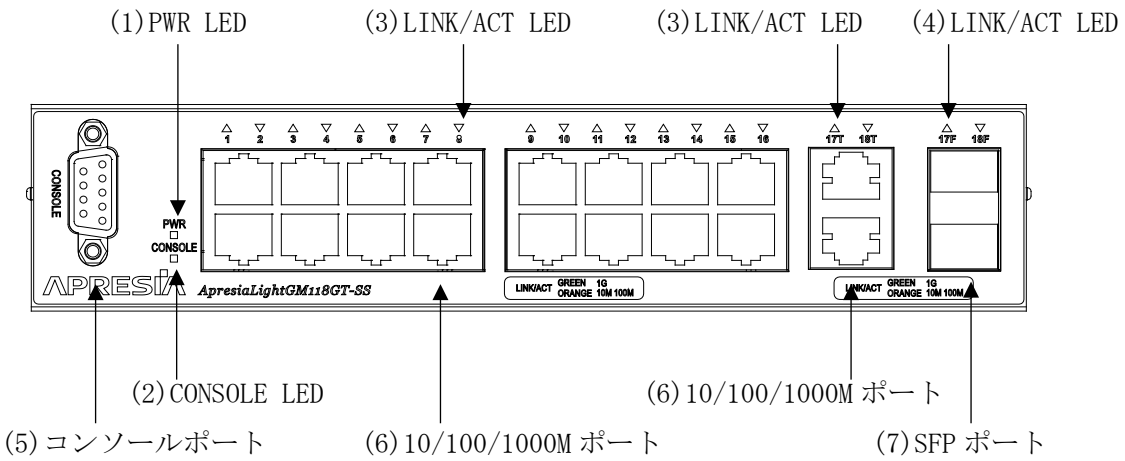


図 2-29 ApresiaLightGM118GT-SS のフロントパネル

表 2-44 ApresiaLightGM118GT-SS フロントパネル各部の名称および機能

No.	名称	ステータス	説明
(1)	PWR LED	緑点灯	電源が供給されている状態
		消灯	電源が供給されていない状態 もしくは、電源異常
(2)	CONSOLE LED	緑点灯	コンソールでアクセスしている状態
		緑点滅	起動時のセルフテストを実行中、セルフテストでエラー検出、自装置または接続先の Loop 検知
		消灯	コンソールでアクセスしていない状態
(3)	10/100/1000M ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10M 又は 100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M 又は 100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(4)	1G(SFP)ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯 *1)	100M bit/s でリンク確立
		橙点滅 *1)	100M bit/s でリンク確立し、かつデータ

No.	名称	ステータス	説明
			の送受信中
		消灯	リンクなし
(5)	コンソールポート	-	RS-232C(EIA-232-D)の通信機能を持つ端末を接続し、パラメーター設定を行います。
(6)	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(7)	1G(SFP)ポート	-	対応した SFP を装着してください。 (2.5 項参照)

*1) 100BASE-FX SFP 使用時

自装置または接続先の Loop を検知したことによる CONSOLE LED の点滅は、Ver.1.07.00 以降でサポートしています。

2.4.8.2 リアパネル

以下に ApresiaLightGM118GT-SS のリアパネルと各部の名称を記載します。

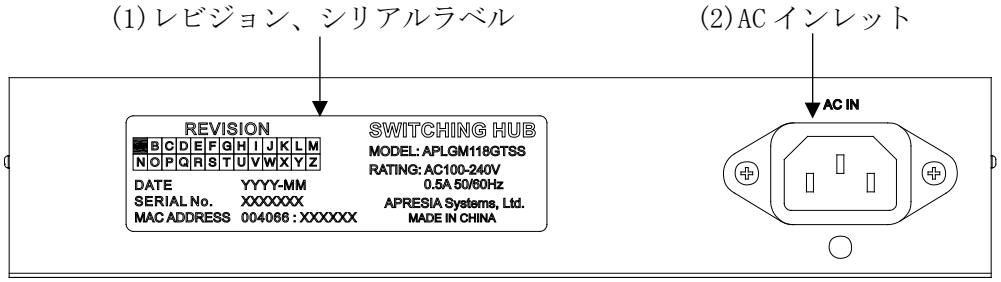


図 2-30 ApresiaLightGM118GT-SS のリアパネル

表 2-45 ApresiaLightGM118GT-SS のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	レビジョン、シリアルラベル	スイッチングハブのレビジョン、シリアル、MAC アドレス等を示すラベルです。注)旧社名表示の場合があります。
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクターです。 本装置には電源スイッチはありません。 電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。 必ず、添付されている電源コードをご使用ください。

2.4.8.3 トップパネル

以下に ApresiaLightGM118GT-SS のトップパネルと各部の名称を記載します。

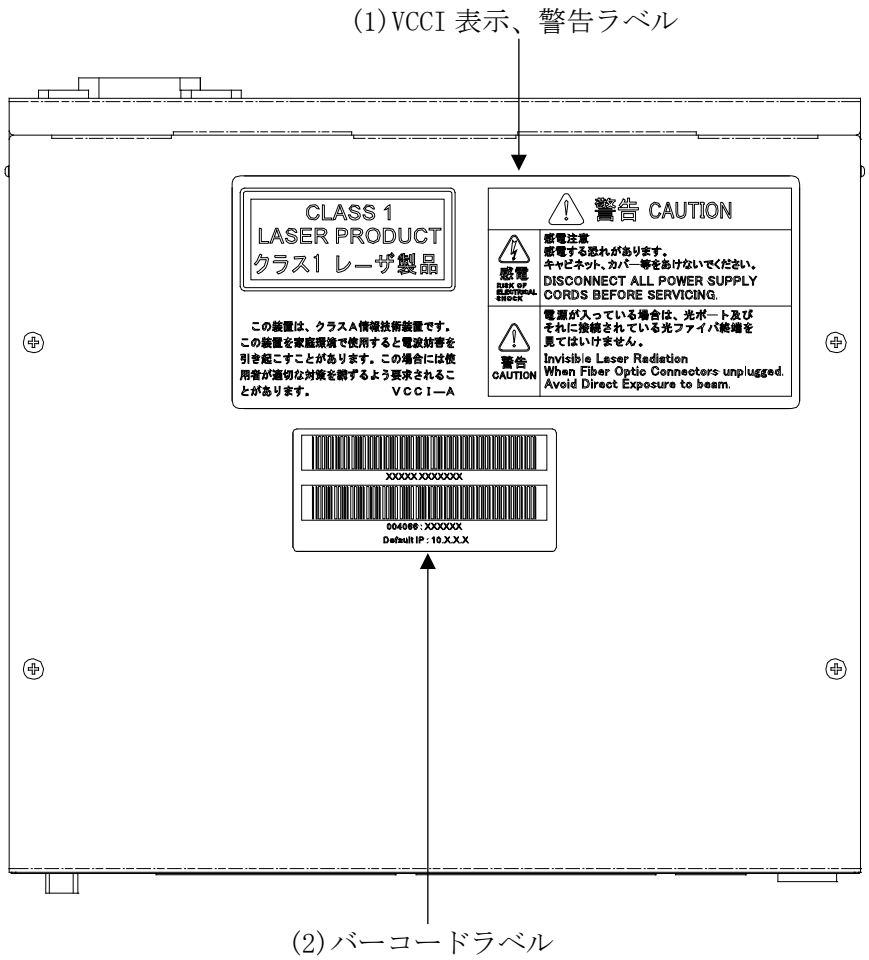


図 2-31 ApresiaLightGM118GT-SS のトップパネル

表 2-46 ApresiaLightGM118GT-SS のトップパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	VCCI 表示、警告ラベル	VCCI 適合性に関する表示と警告表示です。
(2)	バーコードラベル	シリアル番号及び MAC アドレスをバーコードで示すラベルです。 注)初期 IP アドレス表示がある場合があります。

2.4.8.4 サイドパネル

以下に ApresiaLightGM118GT-SS のサイドパネルと各部の名称を記載します。

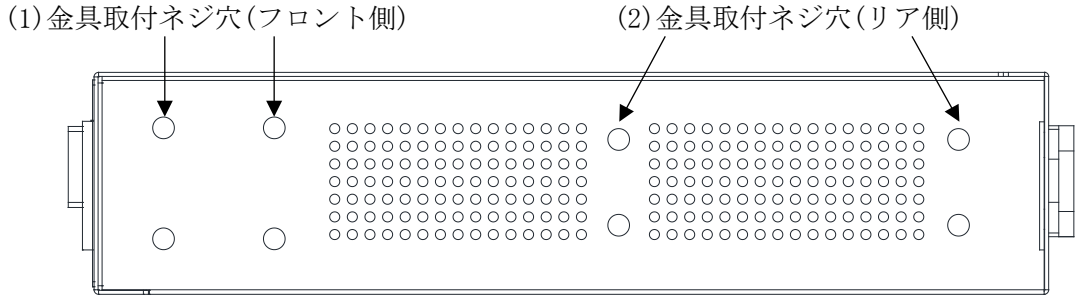


図 2-32 ApresiaLightGM118GT-SS のサイドパネル

表 2-47 ApresiaLightGM118GT-SS のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	金具取付ネジ穴(フロント側)	専用ラックマウント金具、専用ラックマウント金具(2 台連結用)、壁面取付金具、縦置き KIT(小)を取り付けるためのネジ穴です。
(2)	金具取付ネジ穴(リア側)	専用ラックマウント金具(2 台連結用)を取り付けるためのネジ穴です。

2.4.9 ApresiaLightGM124GT-SS

2.4.9.1 フロントパネル

以下に ApresiaLightGM124GT-SS のフロントパネルと各部の名称を記載します。

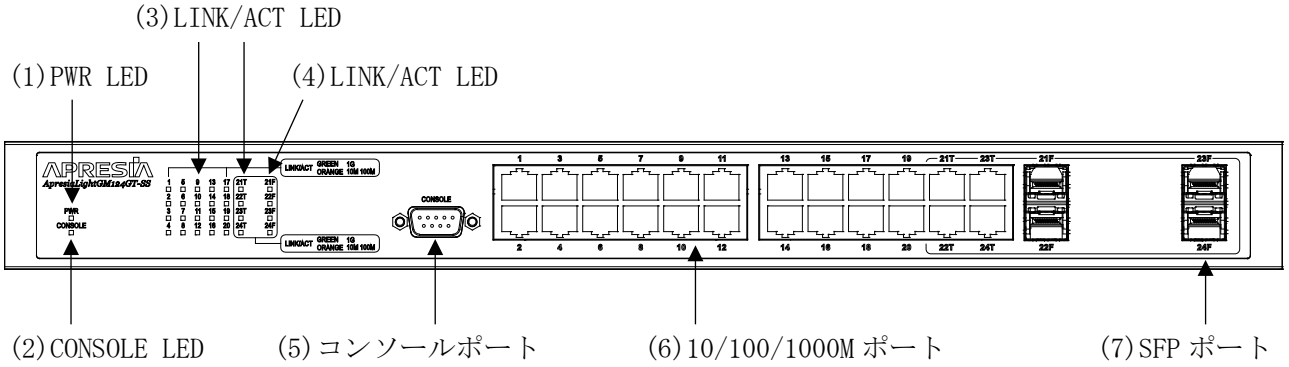


図 2-33 ApresiaLightGM124GT-SS のフロントパネル

表 2-48 ApresiaLightGM124GT-SS フロントパネル各部の名称および機能

No.	名称	ステータス	説明
(1)	PWR LED	緑点灯	電源が供給されている状態
		消灯	電源が供給されていない状態 もしくは、電源異常
(2)	CONSOLE LED	緑点灯	コンソールでアクセスしている状態
		緑点滅	起動時のセルフテストを実行中、セルフテストでエラー検出、自装置または接続先の Loop 検知
		消灯	コンソールでアクセスしていない状態
(3)	10/100/1000M ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10M 又は 100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M 又は 100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(4)	1G(SFP)ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯 *1)	100M bit/s でリンク確立
		橙点滅 *1)	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(5)	コンソールポート	-	RS-232C(EIA-232-D)の通信機能を持つ端

No.	名称	ステータス	説明
			末を接続し、パラメーター設定を行います。
(6)	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(7)	1G(SFP)ポート	-	対応した SFP を装着してください。 (2.5 項参照)

*1) 100BASE-FX SFP 使用時

自装置または接続先の Loop を検知したことによる CONSOLE LED の点滅は、Ver.1.07.00 以降でサポートしています。

2.4.9.2 リアパネル

以下に ApresiaLightGM124GT-SS のリアパネルと各部の名称を記載します。

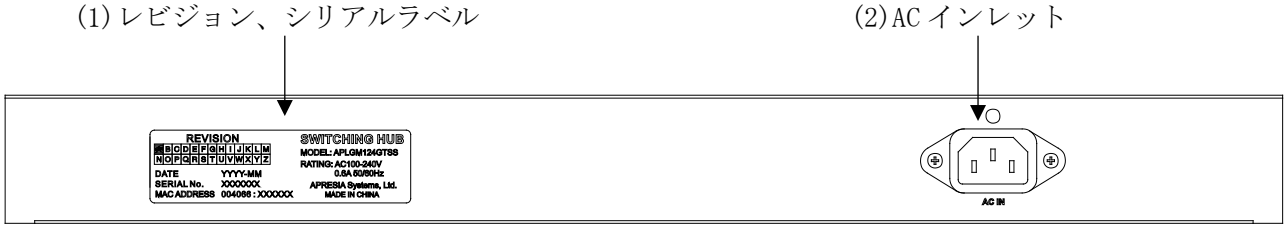


図 2-34 ApresiaLightGM124GT-SS のリアパネル

表 2-49 ApresiaLightGM124GT-SS のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	レビジョン、シリアルラベル	スイッチングハブのレビジョン、シリアル、MAC アドレス等を示すラベルです。注)旧社名表示の場合があります。
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクターです。 本装置には電源スイッチはありません。 電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。 必ず、添付されている電源コードをご使用ください。

2.4.9.3 トップパネル

以下に ApresiaLightGM124GT-SS のトップパネルと各部の名称を記載します。

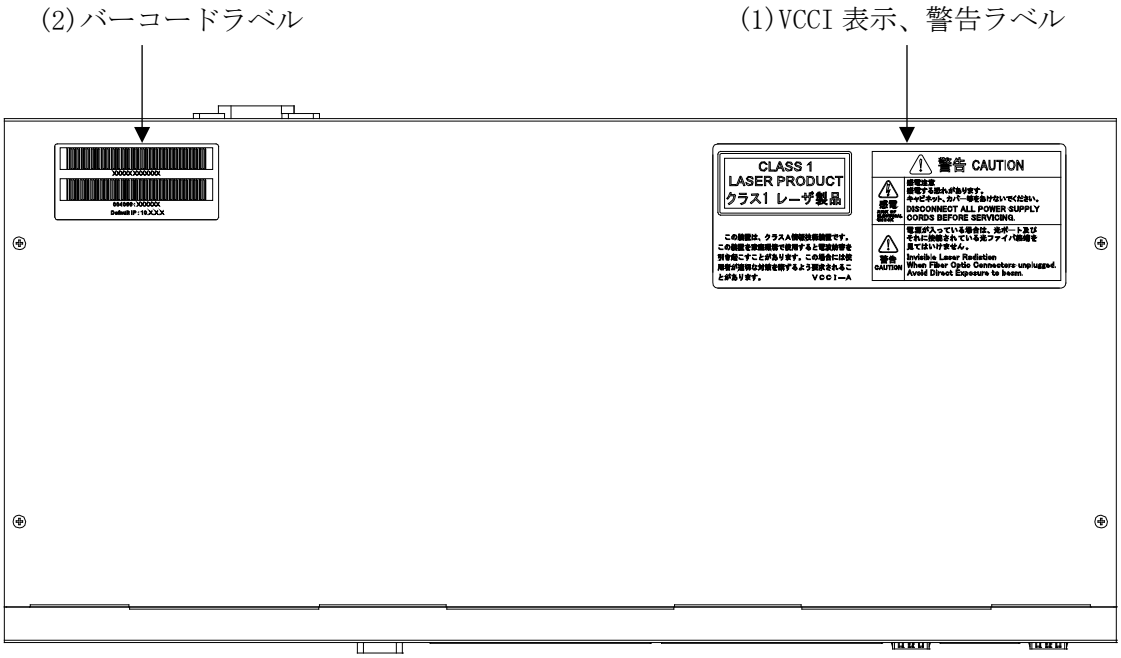


図 2-35 ApresiaLightGM124GT-SS のトップパネル

表 2-50 ApresiaLightGM124GT-SS のトップパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	VCCI 表示、警告ラベル	VCCI 適合性に関する表示と警告表示です。
(2)	バーコードラベル	シリアル番号及び MAC アドレスをバーコードで示すラベルです。 注)初期 IP アドレス表示がある場合があります。

2.4.9.4 サイドパネル

以下に ApresiaLightGM124GT-SS のサイドパネルと各部の名称を記載します。

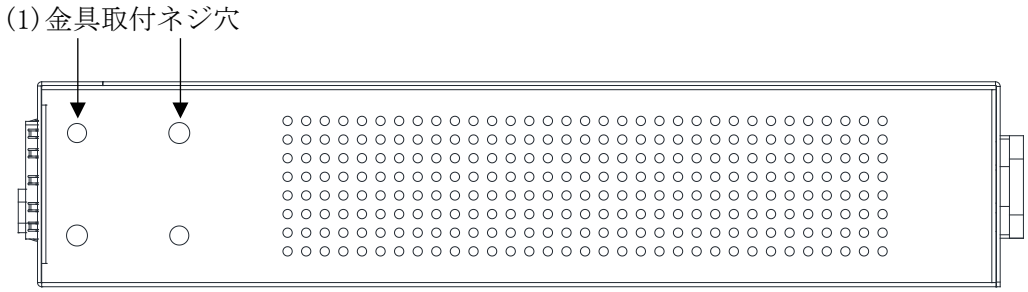


図 2-36 ApresiaLightGM124GT-SS のサイドパネル

表 2-51 ApresiaLightGM124GT-SS のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	金具取付ネジ穴	ラックマウント金具、壁面取付金具、縦置き KIT(大)を取り付けるためのネジ穴です。

2.4.10 ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2

2.4.10.1 フロントパネル

以下に ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 のフロントパネルと各部の名称を記載します。

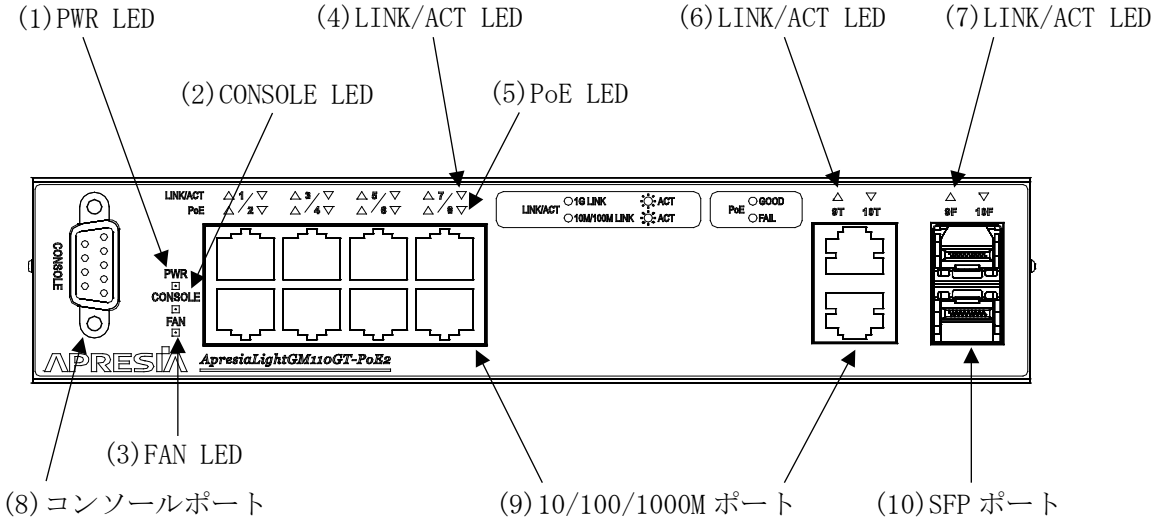


図 2-37 ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 のフロントパネル

表 2-52 ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 フロントパネル各部の名称および機能

No.	名称	ステータス	説明
(1)	PWR LED	緑点灯	電源が供給されている状態
		消灯	電源が供給されていない状態 もしくは、電源異常
(2)	CONSOLE LED	緑点灯	コンソールでアクセスしている状態
		緑点滅	起動時のセルフテストを実行中、セルフテストでエラー検出、自装置または接続先の Loop 検知
		消灯	コンソールでアクセスしていない状態
(3)	FAN LED	緑点灯	FAN が正常に回転している状態
		赤点滅	FAN の回転が低下した状態
		赤点灯	FAN の回転が停止した状態
(4)	10/100/1000M ポート LINK/ACT LED *1)	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10M 又は 100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M 又は 100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(5)	PoE LED *1)	緑点灯	受電装置 PD が接続され正常に給電中
		橙点灯	受電装置 PD が接続されているが、給電に

No.	名称	ステータス	説明
			異常がある状態
		消灯	給電が停止されている状態
(6)	10/100/1000M ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10M 又は 100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M 又は 100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(7)	1G(SFP)ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯 *2)	100M bit/s でリンク確立
		橙点滅 *2)	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(8)	コンソールポート	-	RS-232C(EIA-232-D)の通信機能を持つ端末を接続し、パラメーター設定を行います。
(9)	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(10)	1G(SFP)ポート	-	対応した SFP を装着してください。 (2.5 項参照)

*1) 装置から PD を外したときに、LINK/ACT LED および PoE LED が消灯するまで時間がかかる場合があります。また、装置に PD を接続したときに、LINK/ACT LED および PoE LED が点灯するまで少し時間がかかる場合があります。

*2) 100BASE-FX SFP 使用時

2.4.10.2 リアパネル

以下に ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 のリアパネルと各部の名称を記載します。

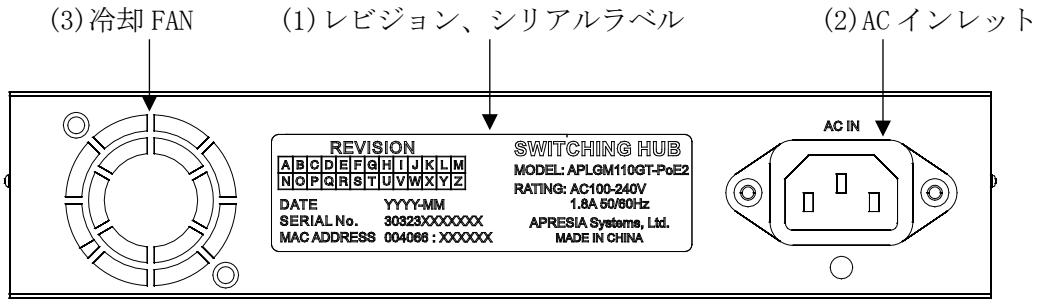


図 2-38 ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 のリアパネル

表 2-53 ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	レビジョン、シリアルラベル	スイッチングハブのレビジョン、シリアル、MAC アドレス等を示すラベルです。注)旧社名表示の場合があります。
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクターです。 本装置には電源スイッチはありません。 電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。 必ず、添付されている電源コードをご使用ください。
(3)	冷却 FAN	冷却用の FAN です。

2.4.10.3 トップパネル

以下に ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 のトップパネルと各部の名称を記載します。

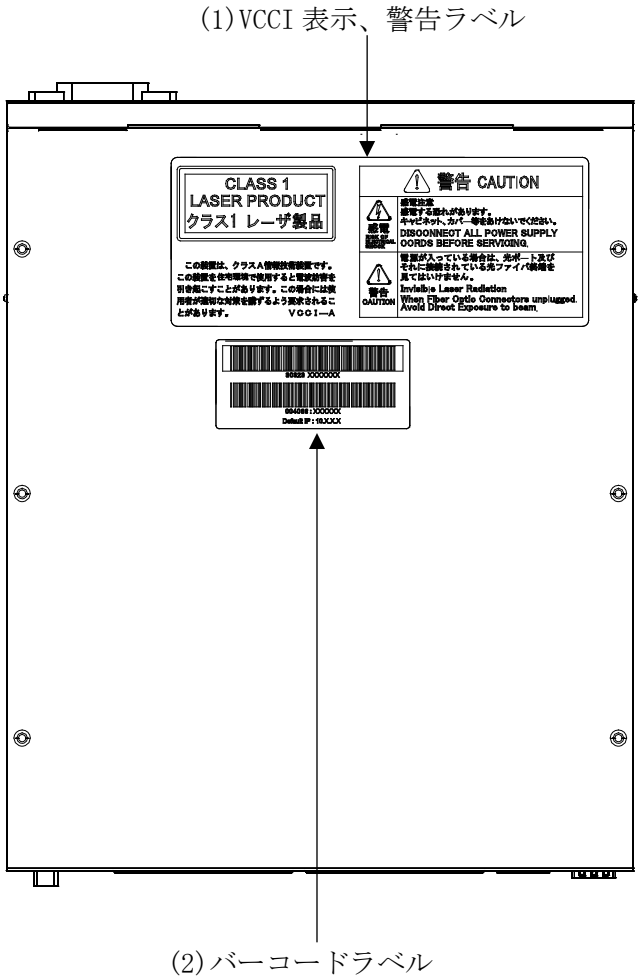


図 2-39 ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 のトップパネル

表 2-54 ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 のトップパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	VCCI 表示、警告ラベル	VCCI 適合性に関する表示と警告表示です。
(2)	バーコードラベル	シリアル番号及び MAC アドレスをバーコードで示すラベルです。 注)初期 IP アドレス表示がある場合があります。

2.4.10.4 サイドパネル

以下に ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 のサイドパネルと各部の名称を記載します。

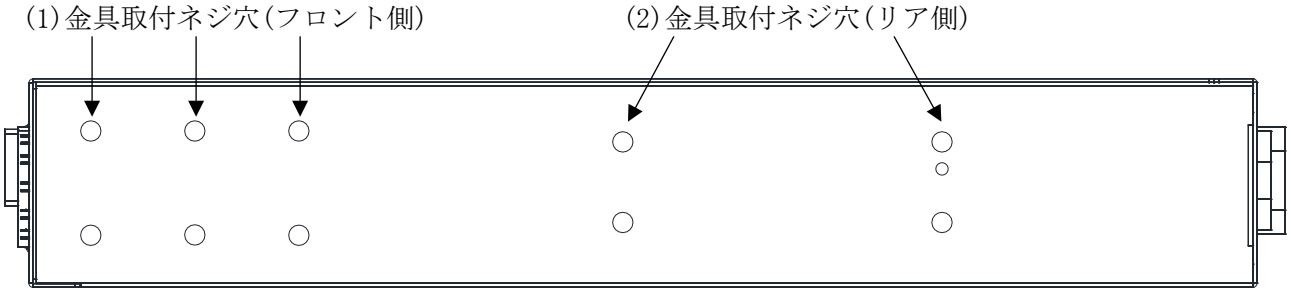


図 2-40 ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 のサイドパネル

表 2-55 ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	金具取付ネジ穴(フロント側)	専用ラックマウント金具、専用ラックマウント金具(2 台連結用)、壁面取付金具、縦置き KIT(大)を取り付けるためのネジ穴です。
(2)	金具取付ネジ穴(リア側)	専用ラックマウント金具(2 台連結用)を取り付けるためのネジ穴です。

2.4.11 ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2

2.4.11.1 フロントパネル

以下に ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 のフロントパネルと各部の名称を記載します。

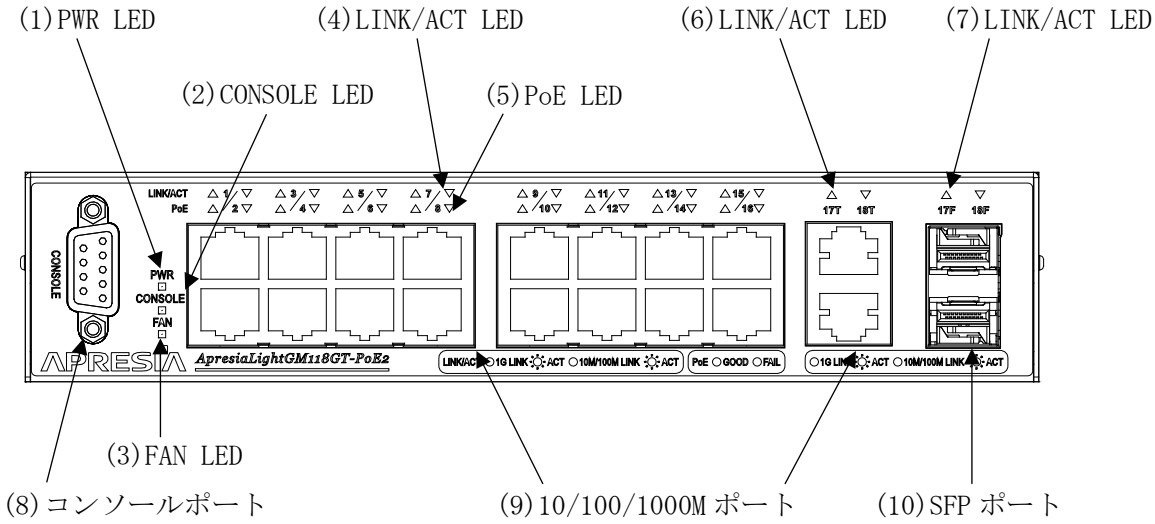


図 2-41 ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 のフロントパネル

表 2-56 ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 フロントパネル各部の名称および機能

No.	名称	ステータス	説明
(1)	PWR LED	緑点灯	電源が供給されている状態
		消灯	電源が供給されていない状態 もしくは、電源異常
(2)	CONSOLE LED	緑点灯	コンソールでアクセスしている状態
		緑点滅	起動時のセルフテストを実行中、セルフテストでエラー検出、自装置または接続先の Loop 検知
		消灯	コンソールでアクセスしていない状態
(3)	FAN LED	緑点灯	FAN が正常に回転している状態
		赤点滅	FAN の回転が低下した状態
		赤点灯	FAN の回転が停止した状態
(4)	10/100/1000M ポート LINK/ACT LED *1)	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10M 又は 100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M 又は 100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(5)	PoE LED *1)	緑点灯	受電装置 PD が接続され正常に給電中

No.	名称	ステータス	説明
		橙点灯	受電装置 PD が接続されているが、給電に異常がある状態
		消灯	給電が停止されている状態
(6)	10/100/1000M ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10M 又は 100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M 又は 100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(7)	1G(SFP)ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯 *2)	100M bit/s でリンク確立
		橙点滅 *2)	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(8)	コンソールポート	-	RS-232C(EIA-232-D)の通信機能を持つ端末を接続し、パラメーター設定を行います。
(9)	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(10)	1G(SFP)ポート	-	対応した SFP を装着してください。 (2.5 項参照)

*1) 装置から PD を外したときに、LINK/ACT LED および PoE LED が消灯するまで時間がかかる場合があります。また、装置に PD を接続したときに、LINK/ACT LED および PoE LED が点灯するまで少し時間がかかる場合があります。

*2) 100BASE-FX SFP 使用時

2.4.11.2 リアパネル

以下に ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 のリアパネルと各部の名称を記載します。

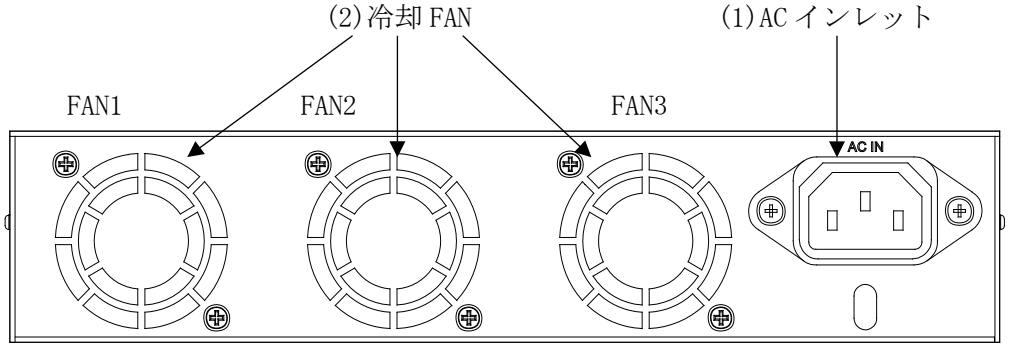


図 2-42 ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 のリアパネル

表 2-57 ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクターです。 本装置には電源スイッチはありません。 電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。 必ず、添付されている電源コードをご使用ください。
(2)	冷却 FAN	冷却用の FAN です。show environment コマンドで表示される FAN の番号と場所は図 2-42 をご参照ください。

2.4.11.3 トップパネル

以下に ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 のトップパネルと各部の名称を記載します。

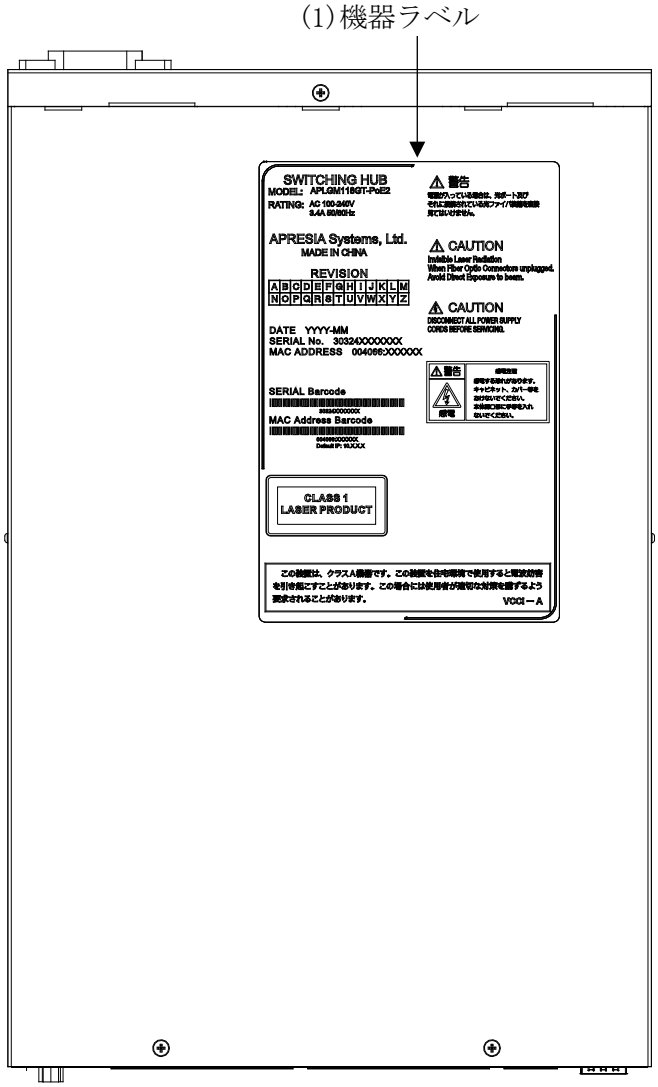


図 2-43 ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 のトップパネル

表 2-58 ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 のトップパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	機器ラベル	以下を示すラベルです。 ・型名 ・電源定格 ・レビジョン ・シリアル番号 ・MAC アドレス ・初期 IP アドレス ・VCCI 適合性 ・警告事項

2.4.11.4 サイドパネル

以下に ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 のサイドパネルと各部の名称を記載します。

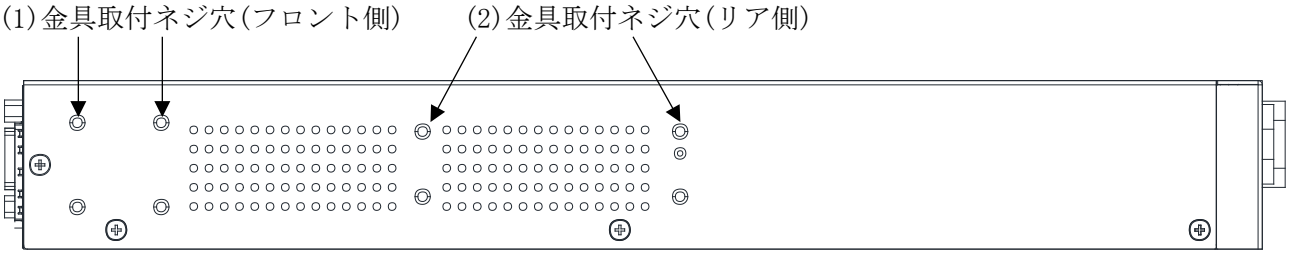


図 2-44 ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 のサイドパネル

表 2-59 ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	金具取付ネジ穴(フロント側)	専用ラックマウント金具、専用ラックマウント金具(2 台連結用)、壁面取付金具、縦置き KIT(大)を取り付けるためのネジ穴です。
(2)	金具取付ネジ穴(リア側)	専用ラックマウント金具(2 台連結用)を取り付けるためのネジ穴です。

2.4.12 ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2

2.4.12.1 フロントパネル

以下に ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 のフロントパネルと各部の名称を記載します。

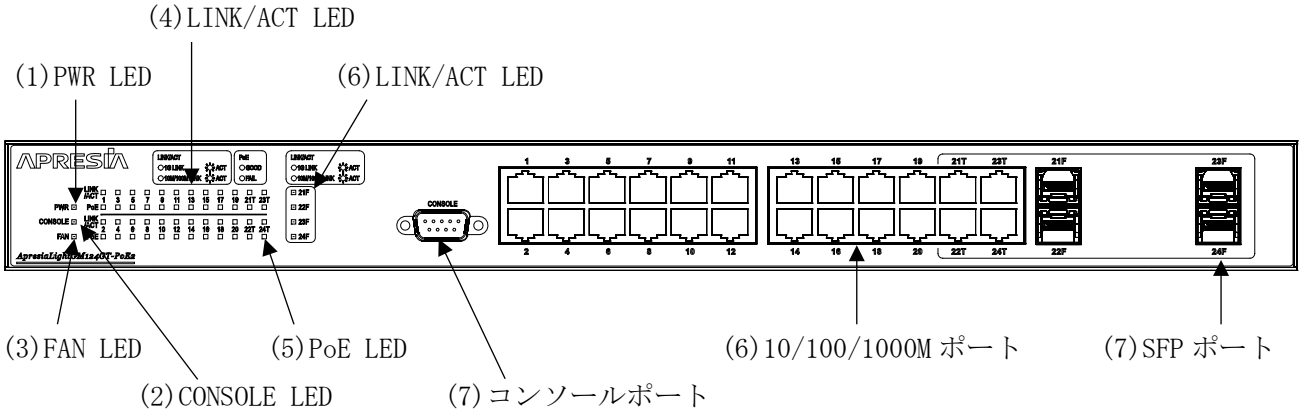


図 2-45 ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 のフロントパネル

表 2-60 ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 フロントパネル各部の名称および機能

No.	名称	ステータス	説明
(1)	PWR LED	緑点灯	電源が供給されている状態
		消灯	電源が供給されていない状態 もしくは、電源異常
(2)	CONSOLE LED	緑点灯	コンソールでアクセスしている状態
		緑点滅	起動時のセルフテストを実行中、セルフテストでエラー検出、自装置または接続先の Loop 検知
		消灯	コンソールでアクセスしていない状態
(3)	FAN LED	緑点灯	FAN が正常に回転している状態
		赤点滅	FAN の回転が低下した状態
		赤点灯	FAN の回転が停止した状態
(4)	10/100/1000M ポート LINK/ACT LED *1)	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯	10M 又は 100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M 又は 100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(5)	PoE LED *1)	緑点灯	受電装置 PD が接続され正常に給電中
		橙点灯	受電装置 PD が接続されているが、給電に異常がある状態
		消灯	給電が停止されている状態

No.	名称	ステータス	説明
(6)	1G(SFP)ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯 *2)	100M bit/s でリンク確立
		橙点滅 *2)	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(7)	コンソールポート	-	RS-232C(EIA-232-D)の通信機能を持つ端末を接続し、パラメーター設定を行います。
(8)	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(9)	1G(SFP)ポート	-	対応した SFP を装着してください。 (2.5 項参照)

*1) 装置から PD を外したときに、LINK/ACT LED および PoE LED が消灯するまで時間がかかる場合があります。また、装置に PD を接続したときに、LINK/ACT LED および PoE LED が点灯するまで少し時間がかかる場合があります。

*2) 100BASE-FX SFP 使用時

2.4.12.2 リアパネル

以下に ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 のリアパネルと各部の名称を記載します。

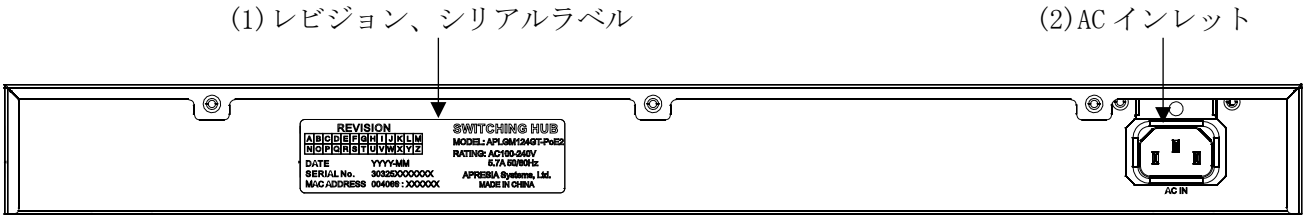


図 2-46 ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 のリアパネル

表 2-61 ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	レビジョン、シリアルラベル	スイッチングハブのレビジョン、シリアル、MAC アドレス等を示すラベルです。注)旧社名表示の場合があります。
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクターです。 本装置には電源スイッチはありません。 電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。 必ず、添付されている電源コードをご使用ください。

2.4.12.3 トップパネル

以下に ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 のトップパネルと各部の名称を記載します。

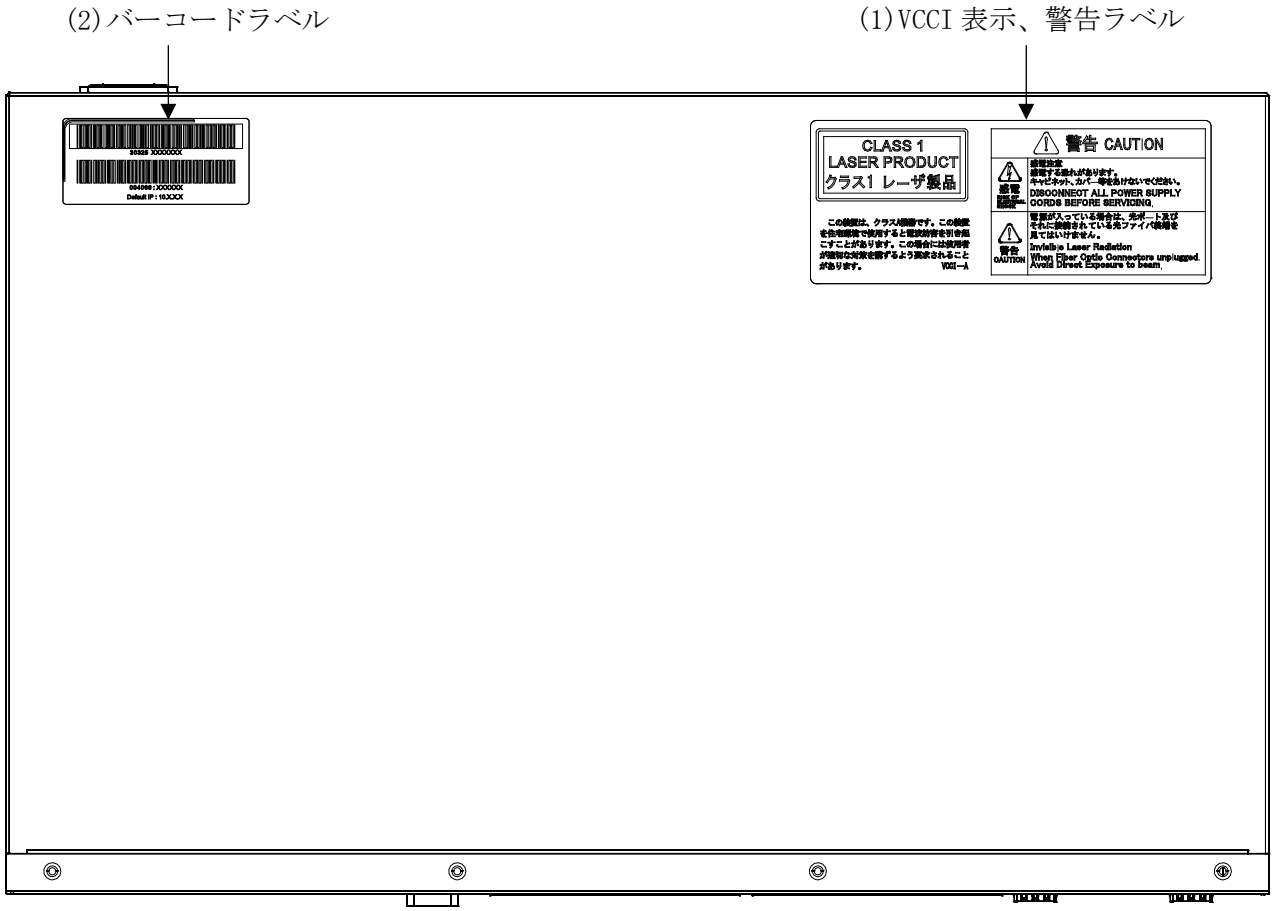


図 2-47 ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 のトップパネル

表 2-62 ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 のトップパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	VCCI 表示、警告ラベル	VCCI 適合性に関する表示と警告表示です。
(2)	バーコードラベル	シリアル番号及び MAC アドレスをバーコードで示すラベルです。 注)初期 IP アドレス表示がある場合があります。

2.4.12.4 サイドパネル

以下に ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 のサイドパネルと各部の名称を記載します。

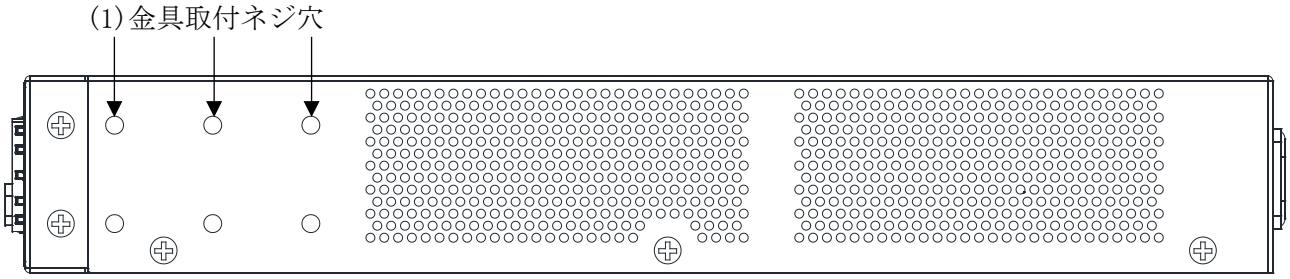


図 2-48 ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 のサイドパネル

表 2-63 ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	金具取付ネジ穴	ラックマウント金具、壁面取付金具を取り付けるためのネジ穴です。

2.4.13 ApresiaLightGM152GT

2.4.13.1 フロントパネル

以下に ApresiaLightGM152GT のフロントパネルと各部の名称を記載します。

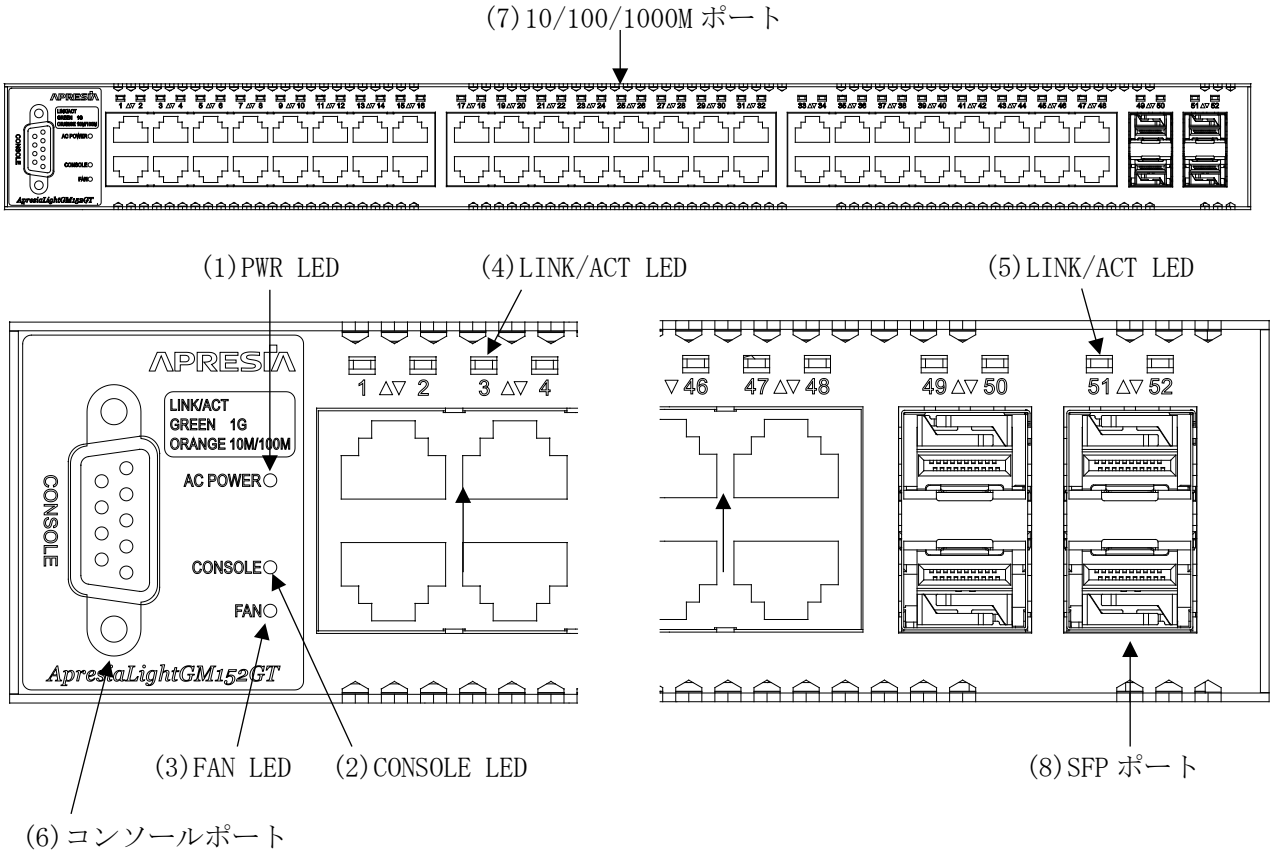


図 2-49 ApresiaLightGM152GT のフロントパネル

表 2-64 ApresiaLightGM152GT フロントパネル各部の名称および機能

No.	名称	ステータス	説明
(1)	PWR LED	緑点灯	電源が供給されている状態
		消灯	電源が供給されていない状態 もしくは、電源異常
(2)	CONSOLE LED	緑点灯	コンソールでアクセスしている状態
		緑点滅	起動時のセルフテストを実行中、セルフテストでエラー検出、自装置または接続先の Loop 検知
		消灯	コンソールでアクセスしていない状態
(3)	FAN LED	緑点灯	FAN が正常に回転している状態
		赤点滅	FAN の回転が低下した状態
		赤点灯	FAN の回転が停止した状態
(4)	10/100/1000M ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中

No.	名称	ステータス	説明
		橙点灯	10M 又は 100M bit/s でリンク確立
		橙点滅	10M 又は 100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(5)	1G(SFP)ポート LINK/ACT LED	緑点灯	1000M bit/s でリンク確立
		緑点滅	1000M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		橙点灯 *1)	100M bit/s でリンク確立
		橙点滅 *1)	100M bit/s でリンク確立し、かつデータの送受信中
		消灯	リンクなし
(6)	コンソールポート	-	RS-232C(EIA-232-D)の通信機能を持つ端末を接続し、パラメーター設定を行います。
(7)	10/100/1000M ポート	-	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の通信機能を持つ装置を接続してください。
(8)	1G(SFP)ポート	-	対応した SFP を装着してください。 (2.5 項参照)

*1) 100BASE-FX SFP 使用時

本体正面の通気孔などでケガをしないよう十分気を付けてください。

2.4.13.2 リアパネル

以下に ApresiaLightGM152GT のリアパネルと各部の名称を記載します。

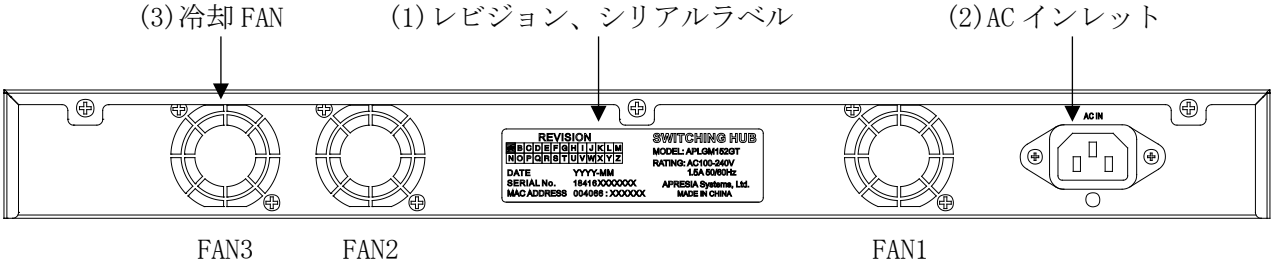


図 2-50 ApresiaLightGM152GT のリアパネル

表 2-65 ApresiaLightGM152GT のリアパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	レビジョン、シリアルラベル	スイッチングハブのレビジョン、シリアル、MAC アドレス等を示すラベルです。注)旧社名表示の場合があります。
(2)	AC インレット	電源コードを接続するためのコネクターです。 本装置には電源スイッチはありません。 電源コードを接続し AC 電源を供給することで装置の電源が入ります。 必ず、添付されている電源コードをご使用ください。
(3)	冷却 FAN	冷却用の FAN です。 show environment コマンドで表示される FAN の番号と場所は図 2-39 をご参照ください。

2.4.13.3 トップパネル

以下に ApresiaLightGM152GT のトップパネルと各部の名称を記載します。

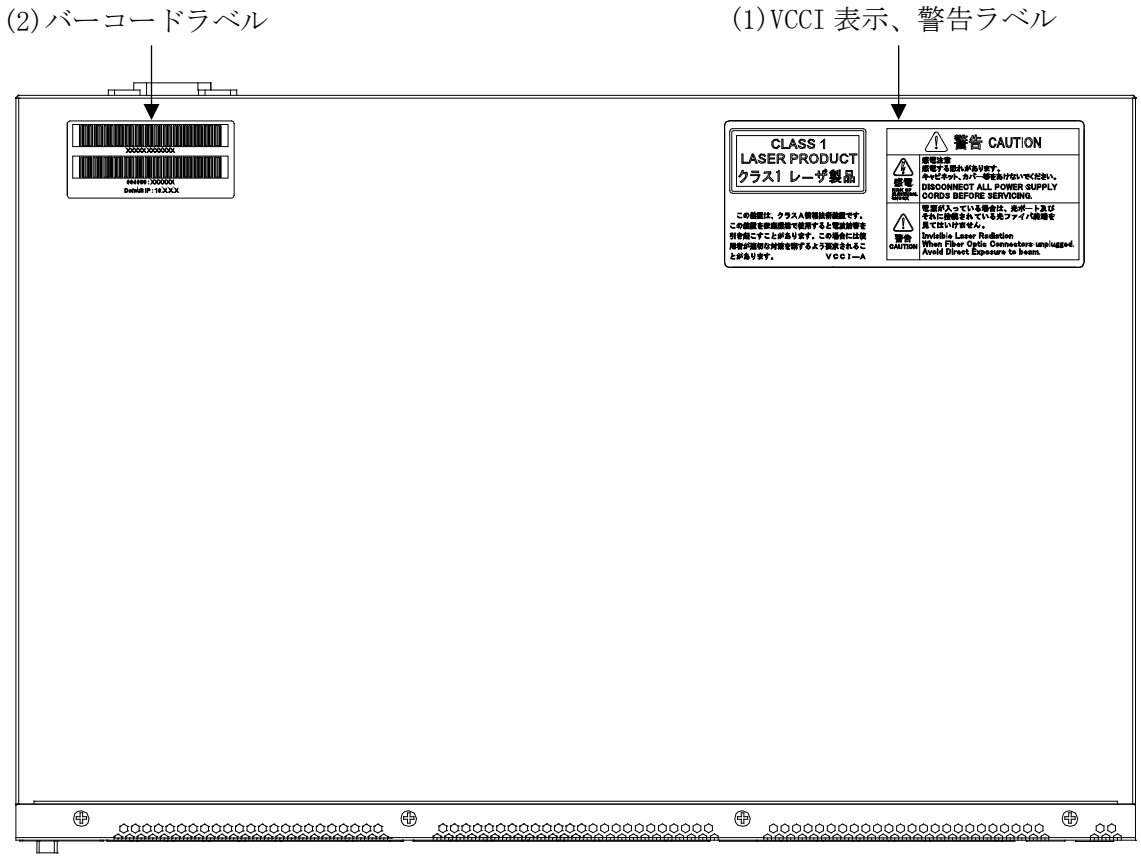


図 2-51 ApresiaLightGM152GT のトップパネル

表 2-66 ApresiaLightGM152GT のトップパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	VCCI 表示、警告ラベル	VCCI 適合性に関する表示と警告表示です。
(2)	バーコードラベル	シリアル番号及び MAC アドレスをバーコードで示すラベルです。 注)初期 IP アドレス表示がある場合があります。

2.4.13.4 サイドパネル

以下に ApresiaLightGM152GT のサイドパネルと各部の名称を記載します。

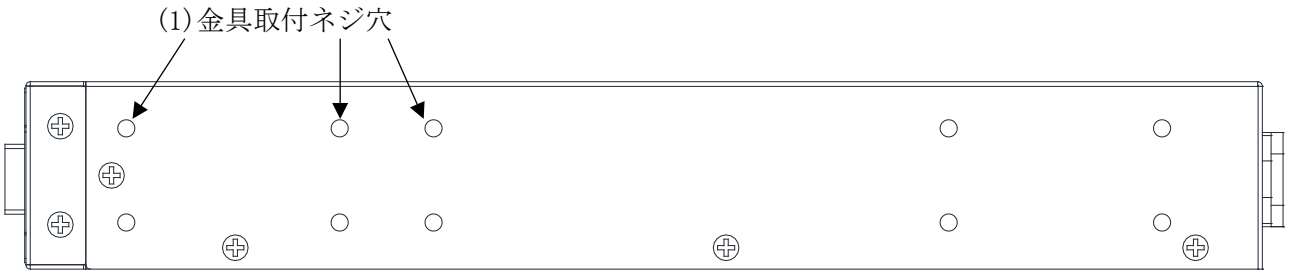


図 2-52 ApresiaLightGM152GT のサイドパネル

表 2-67 ApresiaLightGM152GT のサイドパネル各部の名称および機能

No.	名称	機能
(1)	金具取付ネジ穴	ラックマウント金具、壁面取付金具を取り付けるためのネジ穴です。

2.5 対応トランシーバー

以下に各ポートに対応するトランシーバーを記載します。使用するトランシーバーは、それぞれ対応するポートをご確認の上、指定されたポートに装着してご使用ください。誤ったポートでの使用は、動作不良及び装置故障、トランシーバー故障の原因となります。

100BASE-FX SFP(H-FX-SFP-B)を使用する際は以下の注意点をお守りください。

- **段積み設置はしないでください。**
- **ラック設置時は隣接する上下の機器と1U以上(44㎜以上)離して設置してください。**
- **誤ってPoE対応機種(ApresiaLightFM104/108/116GT-PoE、ApresiaLightGM110/118GT-PoE/PoE2およびApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2)に装着した場合、熱によりSFPの寿命が著しく短くなる可能性があります。**

2.5.1 ApresiaLightFM104GT-PoE

以下に ApresiaLightFM104GT-PoE のトランシーバー対応表を記載します。

表 2-68 ApresiaLightFM104GT-PoE のトランシーバー対応表

ポート	対応トランシーバー名称	対応トランシーバー型式	対応ポート番号	備考
1G(SFP)ポート	100BASE-FX SFP	H-FX-SFP-A	5F-6F	Auto-Negotiation と 100M/Full のみサポート
	1000BASE-SX SFP	H-SX-SFP/R		
	1000BASE-LX SFP	H-LX-SFP/R		

2.5.2 ApresiaLightFM108GT-SS/PoE

以下に ApresiaLightFM108GT-SS/PoE のトランシーバー対応表を記載します。

表 2-69 ApresiaLightFM108GT-SS/PoE のトランシーバー対応表

ポート	対応トランシーバー名称	対応トランシーバー型式	対応ポート番号	備考
1G(SFP)ポート	100BASE-FX SFP	H-FX-SFP-A	9F-10F	Auto-Negotiation と 100M/Full のみサポート
		H-FX-SFP-B *1)		
	1000BASE-SX SFP	H-SX-SFP/R		
	1000BASE-LX SFP	H-LX-SFP/R		

*1) ApresiaLightFM108GT-PoE は未サポート。

2.5.3 ApresiaLightFM116GT-SS/PoE

以下に ApresiaLightFM116GT-SS/PoE のトランシーバー対応表を記載します。

表 2-70 ApresiaLightFM116GT-SS/PoE のトランシーバー対応表

ポート	対応トランシーバー名称	対応トランシーバー型式	対応ポート番号	備考
1G(SFP)ポート	100BASE-FX SFP	H-FX-SFP-A	17F-18F	Auto-Negotiation と 100M/Full のみサポート
		H-FX-SFP-B *1)		
	1000BASE-SX SFP	H-SX-SFP/R		
	1000BASE-LX SFP	H-LX-SFP/R		

*1) ApresiaLightFM116GT-PoE は未サポート。

2.5.4 ApresiaLightFM124GT-SS

以下に ApresiaLightFM124GT-SS のトランシーバー対応表を記載します。

表 2-71 ApresiaLightFM124GT-SS のトランシーバー対応表

ポート	対応トランシーバー名称	対応トランシーバー型式	対応ポート番号	備考
1G(SFP)ポート	100BASE-FX SFP	H-FX-SFP-A	25F-28F	Auto-Negotiation と 100M/Full のみサポート
		H-FX-SFP-B		
	1000BASE-SX SFP	H-SX-SFP/R		
	1000BASE-LX SFP	H-LX-SFP/R		

2.5.5 ApresiaLightGM110GT-SS/PoE/PoE2

以下に ApresiaLightGM110GT-SS/PoE/PoE2 のトランシーバー対応表を記載します。

表 2-72 ApresiaLightGM110GT-SS/PoE/PoE2 のトランシーバー対応表

ポート	対応トランシーバー名称	対応トランシーバー型式	対応ポート番号	備考
1G(SFP)ポート	100BASE-FX SFP	H-FX-SFP-A	9F-10F	Auto-Negotiation と 100M/Full のみサポート
		H-FX-SFP-B *1)		
	1000BASE-SX SFP	H-SX-SFP/R		
	1000BASE-LX SFP	H-LX-SFP/R		
	1000BASE-BX10 SFP	H-BX10-SFP/I-D		*2)
		H-BX10-SFP/I-U		
	1000BASE-BX20 SFP	H-BX20-SFP/I-D		*2)
		H-BX20-SFP/I-U		

*1) ApresiaLightGM110GT-PoE/PoE2 は未サポート。

*2) ファームウェアバージョン GM1.14.00 以降で対応。

2.5.6 ApresiaLightGM118GT-SS/PoE/PoE2

以下に ApresiaLightGM118GT-SS/PoE/PoE2 のトランシーバー対応表を記載します。

表 2-73 ApresiaLightGM118GT-SS/PoE/PoE2 のトランシーバー対応表

ポート	対応トランシーバー名称	対応トランシーバー型式	対応ポート番号	備考
1G(SFP)ポート	100BASE-FX SFP	H-FX-SFP-A	17F-18F	Auto-Negotiation と 100M/Full のみサポート
		H-FX-SFP-B *1)		
	1000BASE-SX SFP	H-SX-SFP/R		
	1000BASE-LX SFP	H-LX-SFP/R		
	1000BASE-BX10 SFP	H-BX10-SFP/I-D		*2)
		H-BX10-SFP/I-U		
	1000BASE-BX20 SFP	H-BX20-SFP/I-D		*2)
		H-BX20-SFP/I-U		

*1) ApresiaLightGM118GT-PoE/PoE2 は未サポート。

*2) ファームウェアバージョン GM1.14.00 以降で対応。

2.5.7 ApresiaLightGM124GT-SS/PoE/PoE2

以下に ApresiaLightGM124GT-SS/PoE/PoE2 のトランシーバー対応表を記載します。

表 2-74 ApresiaLightGM124GT-SS/PoE/PoE2 のトランシーバー対応表

ポート	対応トランシーバー名称	対応トランシーバー型式	対応ポート番号	備考
1G(SFP)ポート	100BASE-FX SFP	H-FX-SFP-A	21F-24F	Auto-Negotiation と 100M/Full のみサポート
		H-FX-SFP-B *1)		
	1000BASE-SX SFP	H-SX-SFP/R		
	1000BASE-LX SFP	H-LX-SFP/R		
	1000BASE-BX10 SFP	H-BX10-SFP/I-D		*2)
		H-BX10-SFP/I-U		
	1000BASE-BX20 SFP	H-BX20-SFP/I-D		*2)
		H-BX20-SFP/I-U		

*1) ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 は未サポート。

*2) ファームウェアバージョン GM1.14.00 以降で対応。

2.5.8 ApresiaLightGM152GT

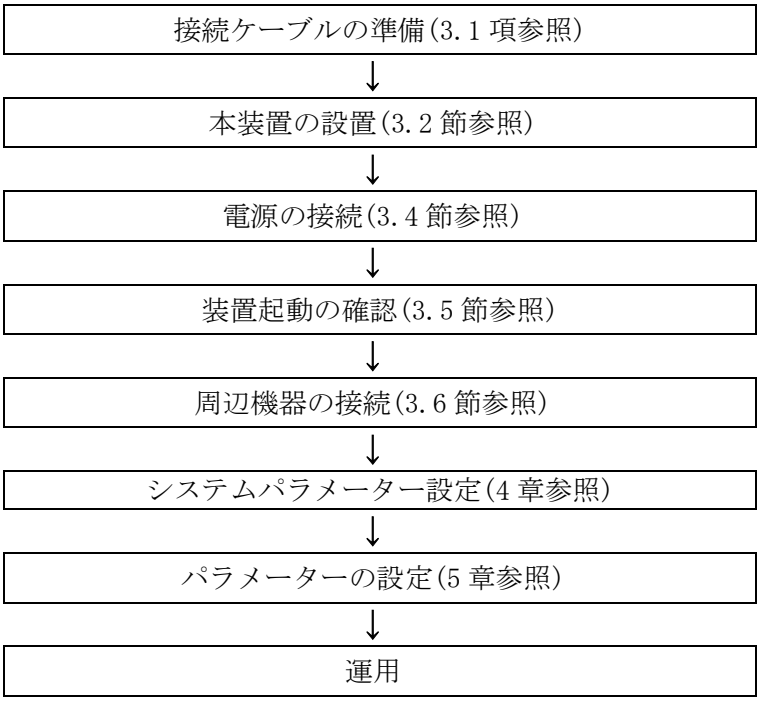
以下にApresiaLightGM152GTのトランシーバー対応表を記載します。

表 2-75 ApresiaLightGM152GTのトランシーバー対応表

ポート	対応トランシーバー名称	対応トランシーバー型式	対応ポート番号	備考
1G(SFP)ポート	100BASE-FX SFP	H-FX-SFP-A	49-52	Auto-Negotiationと100M/Fullのみサポート
		H-FX-SFP-B		
	1000BASE-SX SFP	H-SX-SFP/R		
	1000BASE-LX SFP	H-LX-SFP/R		

3. 設置および接続

以下に手順の例を記載します。状況に応じて、設置・接続を行ってください。



3.1 接続ケーブルの準備

3.1.1 接続に必要なケーブル

本装置の接続を行うには、構成品以外に以下のケーブルが必要になります。

表 3-1 接続に必要なケーブル

接続箇所	ケーブルの種類	コネクター	備考
10/100M ポート	ツイストペアケーブル(カテゴリ 5 以上)	RJ-45	
10/100/1000M ポート	ツイストペアケーブル(カテゴリ 5e 以上)	RJ-45	
SFP ポート	シングルモードファイバー マルチモードファイバー	LC	

10/100M ポート、10/100/1000M ポートにて auto-negotiation 機能及び auto-mdi-x 機能が ON の場合、クロス結線、及びストレート結線の両方のツイストペアケーブルをご使用いただけます。 OFF の場合、接続相手がスイッチングハブの場合はクロスケーブルを、接続相手がパソコンなどのデータ端末の場合はストレートケーブルをご使用ください。

3.1.2 コンソールポートの詳細

コンソールポートのピン仕様を以下に記載します。構成品の専用コンソールケーブルを必ずご使用ください。

表 3-2 コンソールポートのピン仕様

ピン No.	信号名	信号の内容	備考
1	-	-	-
2	SD	送信データ	出力
3	RD	受信データ	入力
4	-	-	-
5	SG	回路アース	-
6	-	-	-
7	-	-	-
8	-	-	-
9	-	-	-

3.1.3 パラメーター設定端末が D-SUB9 ピンの場合

本装置とパラメーター設定端末を接続する場合、標準添付されている専用コンソールケーブルをご使用ください。

RS-232C ケーブルのピン配置を以下に記載します。

表 3-3 RS-232C ケーブル接続結線例（D-SUB9 ピン-9 ピンの場合）

本装置側コネクター 9 ピン D-SUB(オス)	接続	パラメーター設定用端末 コネクター 9 ピン D-SUB
ピン番号		ピン番号
1	━━━━━━━━━━	1
2	━━━━━━━━━━	2
3	━━━━━━━━━━	3
4	━━━━━━━━━━	4
5	━━━━━━━━━━	5
6	━━━━━━━━━━	6
7	━━━━━━━━━━	7
8	━━━━━━━━━━	8
9	━━━━━━━━━━	9

3.2 本装置の設置

本装置を設置の際は、「3.2.1 設置条件」に従ってください。

3.2.1 設置条件

本装置の機能を損なうことなく、長くご愛用いただくためには適正な環境と取り扱いが必要です。安全に関するご注意に記載されている場所に設置することは、装置の寿命を縮めたり、故障の原因となりますので避けてください。

本装置を設置する時には操作性、安全性を十分考慮し、特に装置内部の冷却のための通風を阻害しないようにしてください。

(1) 本装置の横に物を置かないでください。冷却のための通風を阻害し、故障の原因となります。
(2) 本装置の上に花瓶や飲物等を置かないでください。
(3) 本装置を設置する場合は換気のための適切な空間（本装置背面、側面の通風孔を塞がないよう十分なスペース(目安として約 100 mm 以上)）を空けてください。
(4) 本装置を据え置きする場合は、標準添付されている筐体ゴム足を本装置の 4 隅の底に取り付けてご使用ください。筐体ゴム足を使わずに複数台の重ね置きをしないでください。
(5) 本装置を直接、床などに縦置きで使用しないでください。冷却のための通風を阻害し、故障の原因となります。縦置きする場合は、別売りの縦置き KIT とネジを使用して設置してください。
(6) 本装置をラックマウントする場合は、熱を発する装置を本装置の上下に設置しないでください(目安として約 10 mm 以上を空けてください)。冷却を阻害し、故障の原因となります。

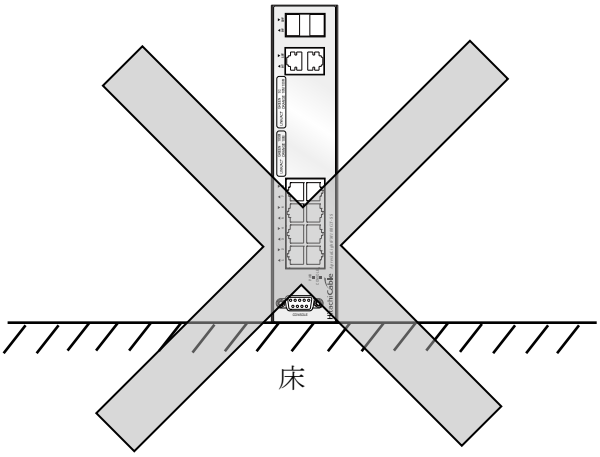


図 3-1 悪い設置例

⚠ 注意

以下の場合は段積み設置はしないでください。段積み設置をすると装置温度が高くなり、火傷や機器破損の原因になる場合があります。また、ラック設置時は隣接する上下の機器と 1U 以上(44mm 以上)離して設置してください。

- **ApresiaLightFM104/108/116GT-PoE および ApresiaLightGM152GT 使用時(ApresiaLightGM110/118/124GT-PoE/PoE2 使用時は制限なし)**
- **100BASE-FX SFP(H-FX-SFP-B)使用時**

3.2.2 ラックへの取り付け方法

本装置は、19 インチラックサイズ(EIA 規格ワイドピッチ)に取り付けることができます。ラックに取り付ける場合、標準添付品又は別売り品のラックマウント金具をご使用ください。

本装置を設置する場合はフロント側 60mm、リア側 100mm、奥行き(内寸)420mm 以上のスペースが必要になります。

⚠ 注意

本装置を取り付け・取り外しする際は、本装置及びラックマウント金具が落下しないように十分気をつけてください。

⚠ 注意

本装置を取り付け・取り外しする際は、ラックのレール、ケージナット等でケガをしないように周りに十分気をつけてください。

⚠ 注意

ラックに取り付けする際、トルクドライバー等を使用して付属のラックマウント金具のネジを締付けトルク推奨値(M3:0.69N･m、M5:2.45N･m)で締めるようにしてください。締付けトルク推奨値で締めない場合、設置した後に本体が傾斜したり、落下の危険があります。締付けトルクを守れない場合は予め傾斜防止の棚板などを準備して設置するようにしてください。また、必ず指定された本数のネジで取り付けてください。ネジの本数が不足していると、設置した後に本体が傾斜したり、落下の危険があります。

3.2.2.1 標準添付ラックマウント金具

標準添付ラックマウント金具の取り付け方法を以下に記載します。

(※ApresiaLightFM124GT-SS、ApresiaLightGM124GT-SS/PoE/PoE2、ApresiaLightGM152GT のみ、標準添付になります。)

締付けトルク推奨値

本体取付用ネジ(M3):
0.69N･m (7.0kgf･cm)

ラック取付用ネジ(M5):
2.45N･m (25.0kgf･cm)

【構成品】

- ラックマウント金具　× 2 個
- 本体取付用ネジ(M3×6　ISO 並目)　× 8 個
- ラック取付用ネジ(M5×12　ISO 並目)　× 4 個

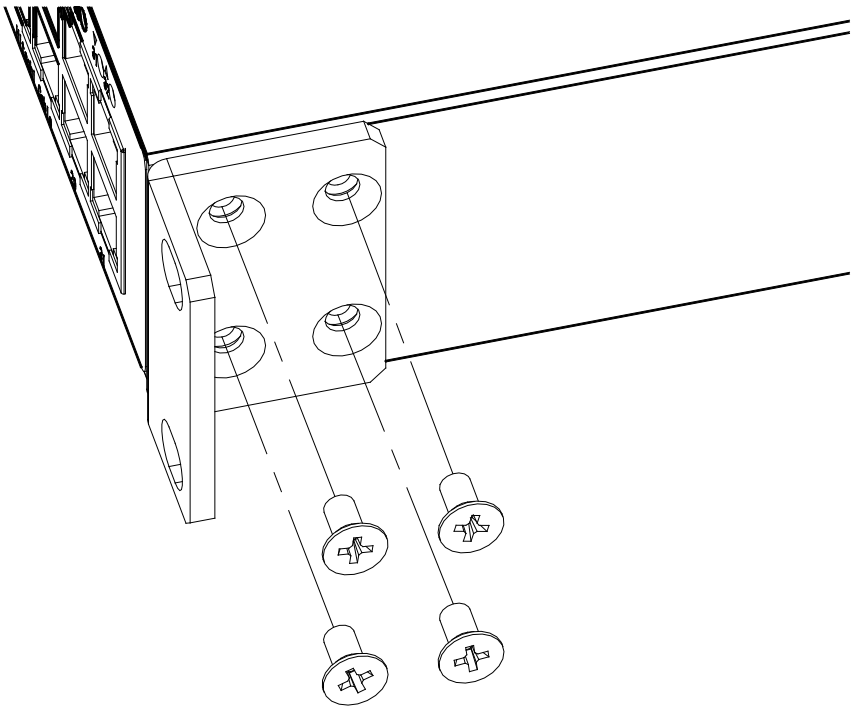


図 3-2 標準添付ラックマウント金具の取り付け方法

⚠ ApresiaLightFM124GT-SS、ApresiaLightGM124GT-SS/PoE/PoE2、ApresiaLightGM152GT をラックに取り付けする際は、標準添付されているラックマウント金具を使用してください。落下によるケガや機器破損の原因になる場合があります。

3.2.2.2 専用ラックマウント金具(AL-16-8-RM)

専用ラックマウント金具(AL-16-8-RM)の取り付け方法を以下に記載します。

締付けトルク推奨値

本体取付用ネジ(M3)：
0.69N･m (7.0kgf･cm)

ラック取付用ネジ(M5)：
2.45N･m (25.0kgf･cm)

【構成品】

- ラックマウント金具　× 2 個
- 本体取付用ネジ(M3×6　ISO 並目)　× 8 個
- ラック取付用ネジ(M5×12　ISO 並目)　× 4 個

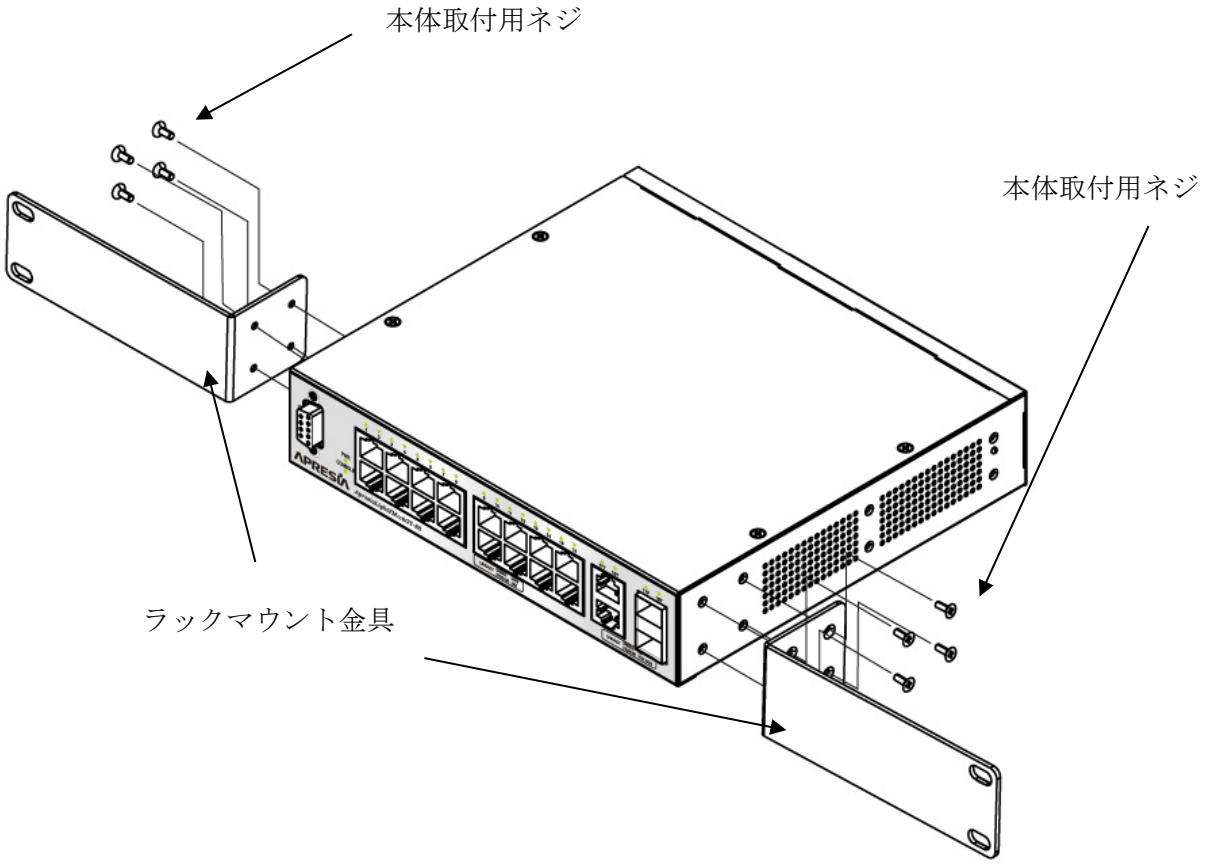


図 3-3 専用ラックマウント金具(AL-16-8-RM)の取り付け方法

3.2.2.3 専用ラックマウント金具(2 台連結用)(AL-16-8-2P-RM)

専用ラックマウント金具(AL-16-8-2P-RM)(別売り)の取り付け方法を以下に記載します。

締付けトルク推奨値

本体取付用ネジ(M3)：
0.69N･m (7.0kgf･cm)

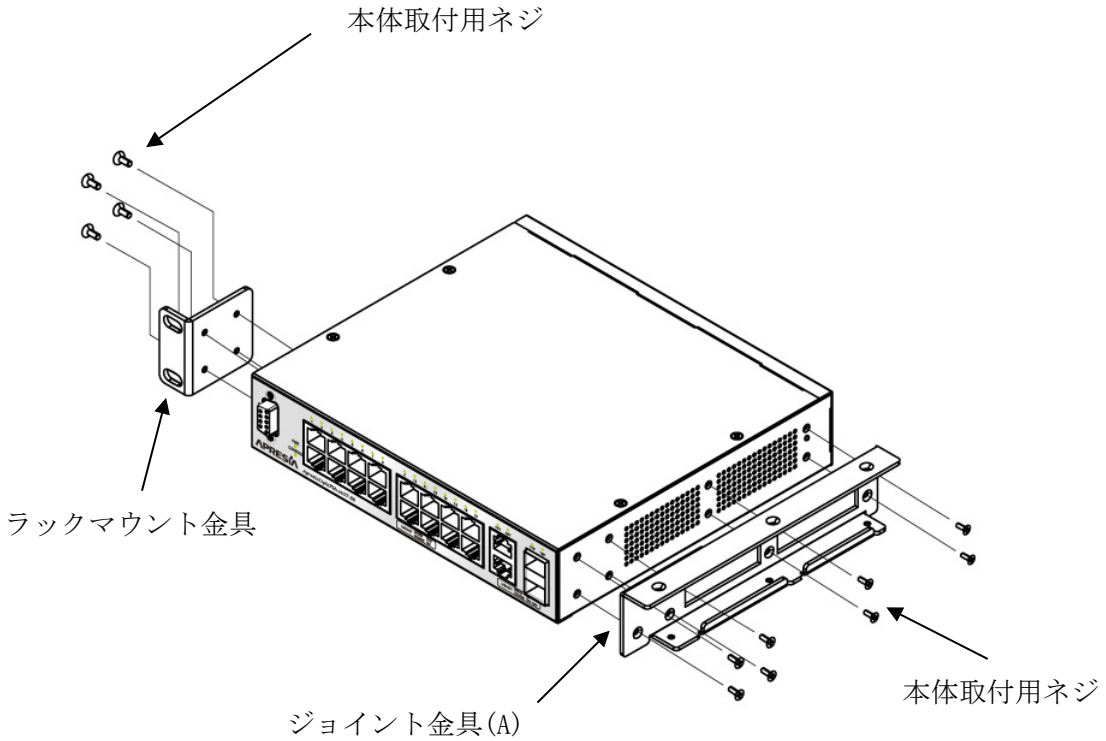
ラック取付用ネジ(M5)：
2.45N･m (25.0kgf･cm)

【構成品】

- ラックマウント金具　×　2 個
- ジョイント金具(A)　×　1 個
- ジョイント金具(B)　×　1 個
- 本体取付用ネジ(M3×6　ISO 並目)　× 30 個
- ラック取付用ネジ(M5×12　ISO 並目)　×　4 個

【手順 1】

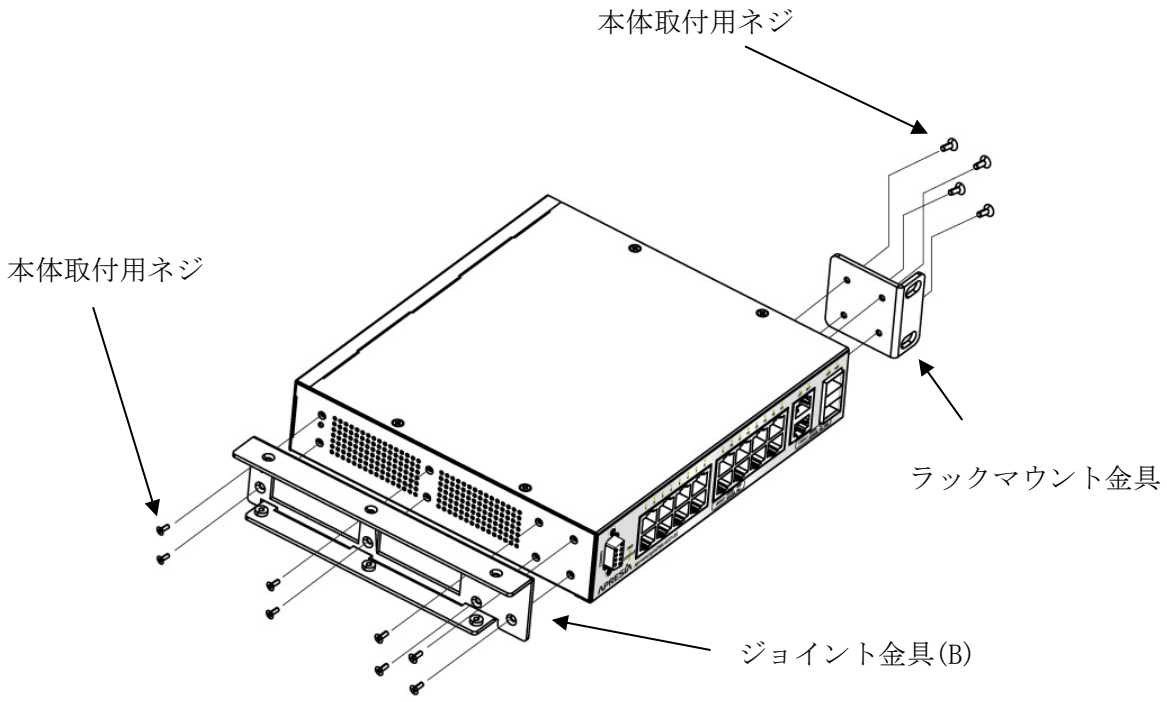
① 製品の右側面に、ジョイント金具(A)を本体取付用ネジで締め付けます。(8 ヶ所)
② ②製品の左側面に、ラックマウント金具を本体取付用ネジで締め付けます。(4 ヶ所)



【手順 2】

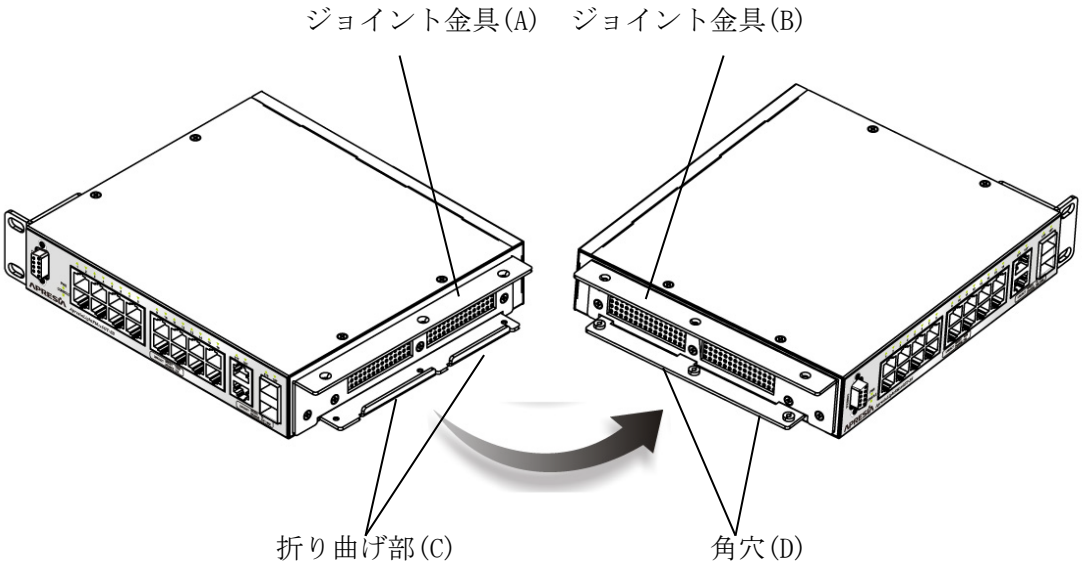
①製品の左側面に、ジョイント金具(B)を本体取付用ネジで締め付けます。(8 ヶ所)

②製品の右側面に、ラックマウント金具を本体取付用ネジで締め付けます。(4 ヶ所)



【手順 3】

ジョイント金具(B)がジョイント金具(A)の上になるように両製品を合わせ、
ジョイント金具(A)折り曲げ部(C)をジョイント金具(B)角穴(D)の中に差込み、
両製品を合体させます。



【手順 4】

ジョイント金具(A)、ジョイント金具(B)の上下を本体取付用ネジで締めます。(6 ヶ所)

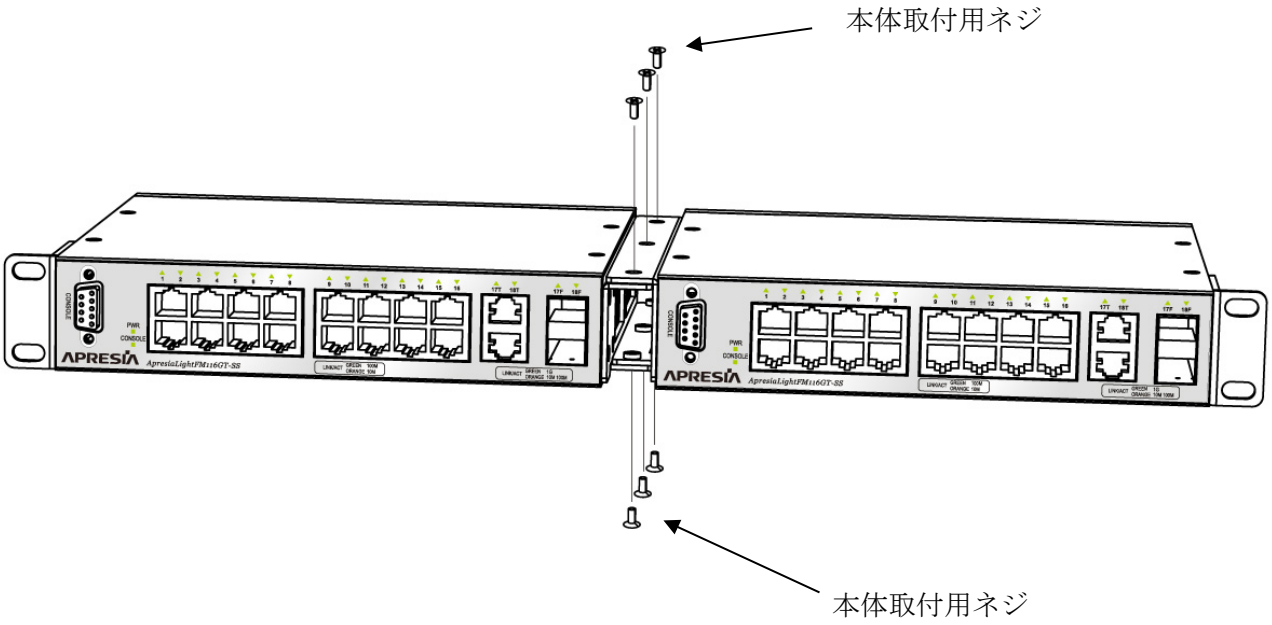


図 3-4 専用ラックマウント金具(2 台連結用)(AL-16-8-2P-RM)の取り付け方法

⚠ **同一型式の連結に使用してください。異なる型式の連結はサポートの対象外となります。**

3.2.2.4 ラックマウント金具(2 台連結用)(AL-2P-RM01)

ラックマウント金具(AL-2P-RM01)(別売り)の取り付け方法を以下に記載します。

締付けトルク推奨値

本体取付用ネジ(M3)：
0.69N･m (7.0kgf･cm)

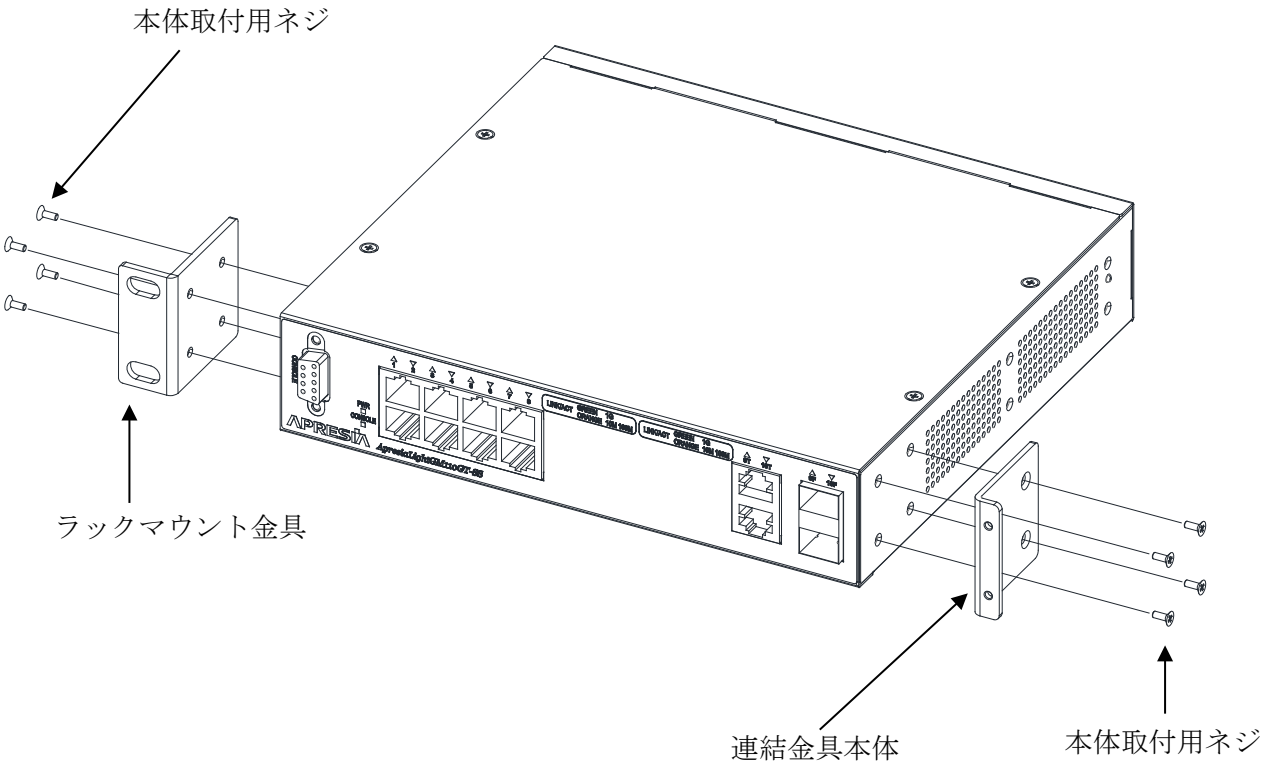
ラック取付用ネジ(M5)：
2.45N･m (25.0kgf･cm)

【構成品】

- ラックマウント金具　×　2 個
- 連結金具本体　×　2 個
- 連結金具フロント部　×　1 個
- 本体取付用ネジ(M3×6　ISO 並目)　× 20 個
- ラック取付用ネジ(M5×12　ISO 並目)　×　4 個

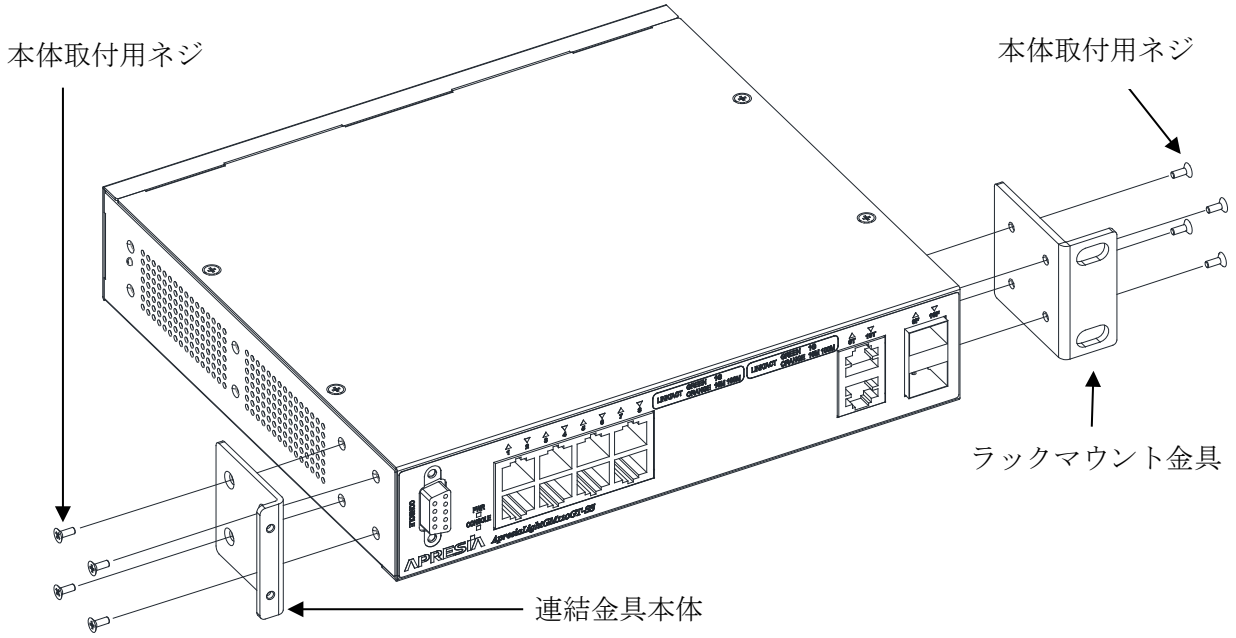
【手順 1】

下図のように、ラックマウント金具と連結金具本体を本体取付用ネジで締め付けます。(8 ヶ所)



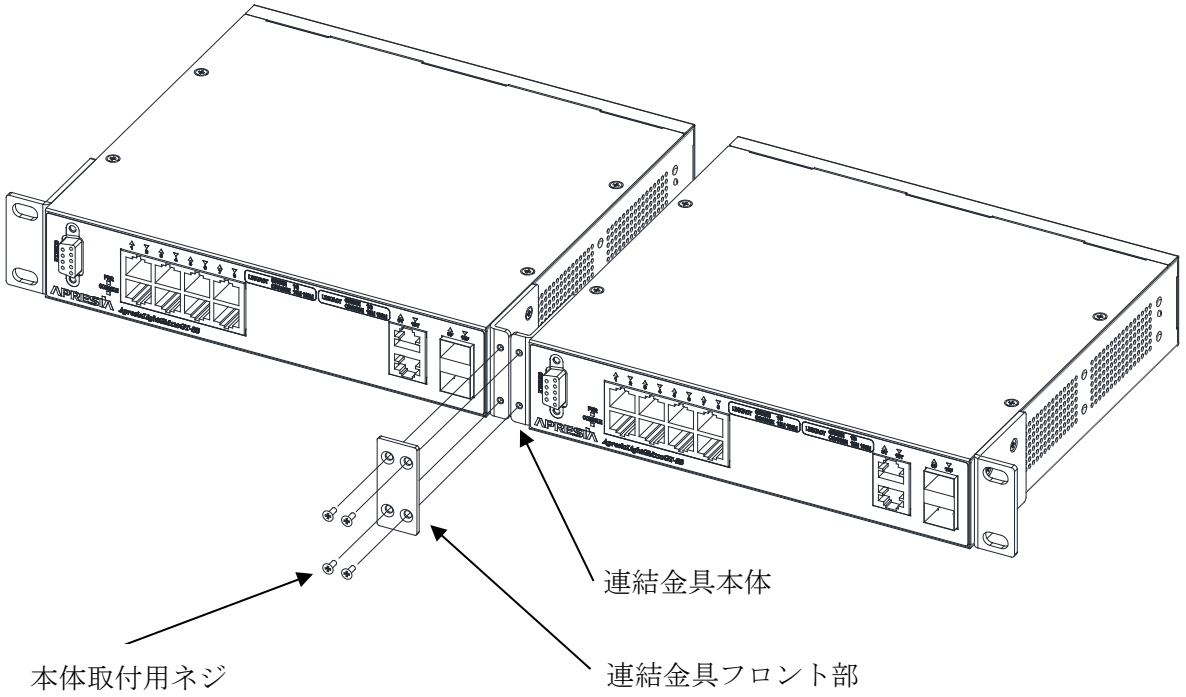
【手順 2】

手順 1 と取り付け金具が左右反対となるように、ラックマウント金具と連結金具本体を本体取付用ネジで締め付けます。(8 ヶ所)



【手順 3】

2 台の製品に取り付けた連結金具本体同士が隣り合うように製品を合わせ、連結金具フロント部と本体取付ネジで締め付けます。(4 ヶ所)



【手順 4】

2 台の製品が完全に固定されていることを確認し、19 インチラックにラック取付用ネジで締めます。(4 ヶ所)

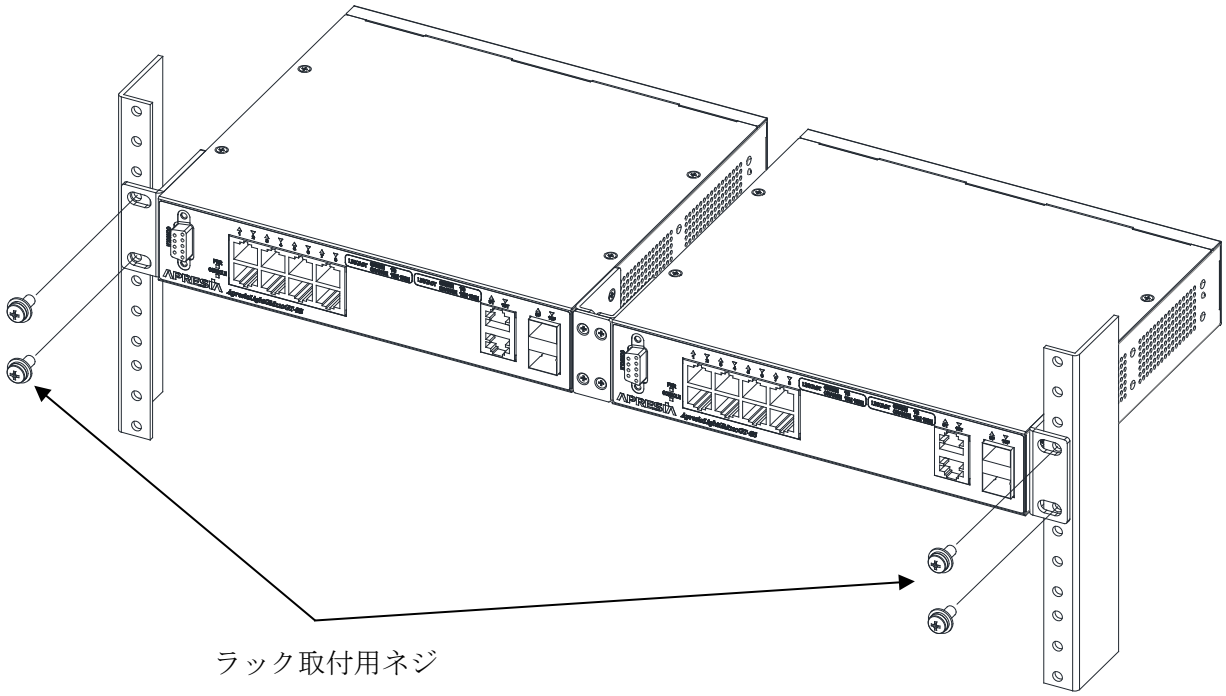


図 3-5 ラックマウント金具(2 台連結用)(AL-2P-RM01)の取り付け方法

⚠ **PoE 対応機種(ApresiaLightFM104/108/116GT-PoE、ApresiaLightGM110/118GT-PoE/PoE2)の連結は耐荷重の制限によりサポートの対象外となります。**

⚠ **2 台連結をする際は、平らな机(台)に機器を並べ、歪みのない状態で金具の取付けを行ってください。歪んだままの固定は思わぬ応力が発生し、変形や破損の原因となる恐れがあります。**

⚠ **19 インチラックへの取り付けおよび取り外しは、落下等の事態を配慮し 2 名以上での実施をお願いします。**

⚠ **2 台連結を解除し機器を交換する際は、速やかに交換作業を行ってください。本装置を 19 インチラックにラックマウント金具１個だけで固定したまま放置すると、変形、破損、落下の恐れがあります。**

3.2.3 壁面への取り付け方法

壁面への取り付け方法を以下に記載します。必ず、壁面取付金具(AL-WM)(別売り)を使用してください。

締付けトルク推奨値

本体取付用ネジ(M3)：
0.69N･m (7.0kgf･cm)

【構成品】
- 壁面取付金具　× 2 個
- 本体取付用ネジ(M3×6　ISO 並目)　× 8 個

【手順】
①製品の両側面に、壁面取付金具を図に従って取り付けます。
②製品の右側面に、壁面取付金具を本体取付用ネジで締め付けます。(4 ヶ所)
③製品の左側面に、壁面取付金具を本体取付用ネジで締め付けます。(4 ヶ所)

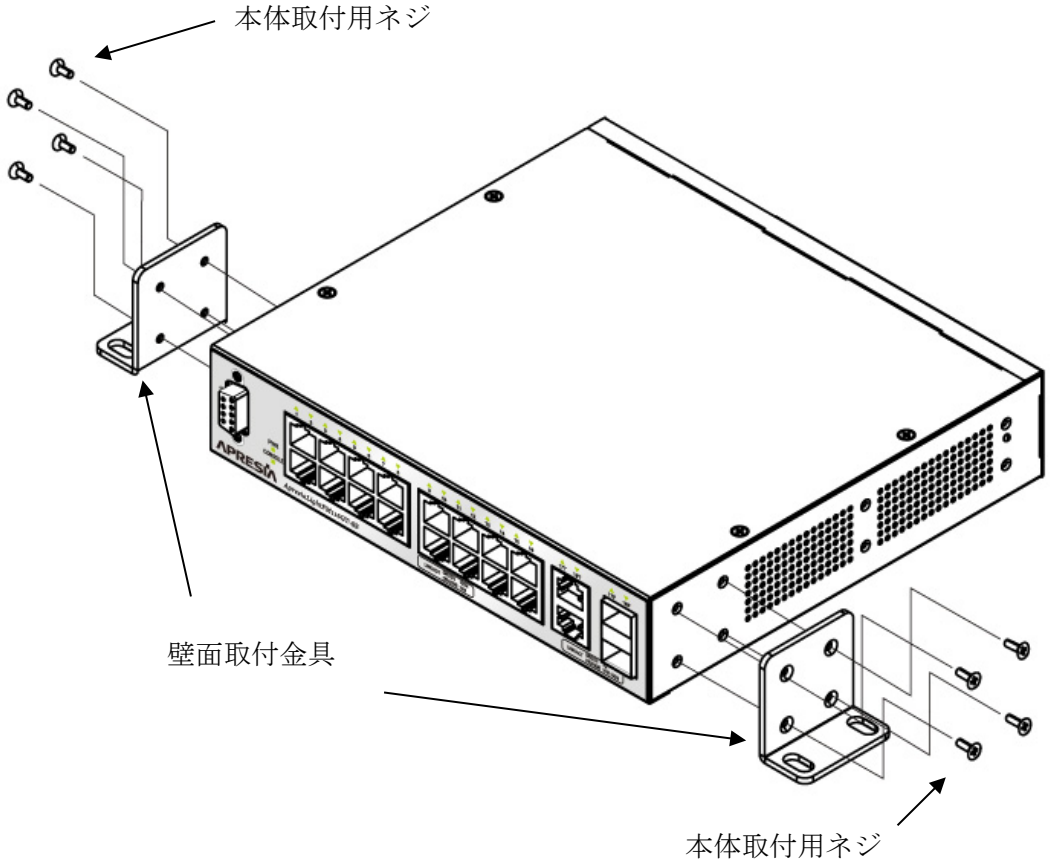


図 3-6 壁面取付金具(AL-WM)の取り付け方法

⚠ 壁面取付金具をご利用の際は、工事業者に取り付け工事を依頼してください。
また、落下する恐れのある場所には取り付けないようにしてください。

⚠ ポートが上向きとなる設置はしないでください。本装置の故障の原因となります。

3.2.4 縦置き KIT の取り付け方法

机の上や棚に縦置きで設置する場合、縦置き KIT(AL-TOKT-A01 または AL-TOKT-B02)(別売り)を本装置の左側面または右側面に、本体取付用ネジで取り付けます。取り付け方法を以下に記載します。

この設置の際に、本装置とその周りの環境との間に換気のための 100 mm 以上の空間を確保してください。

締付けトルク推奨値

本体取付用ネジ(M3):
0.69N･m (7.0kgf･cm)

【構成品】

- 縦置き KIT (大)、または、縦置き KIT (小) × 1 個
- 本体取付用ネジ(M3×6 ISO 並目) × 4 個

【手順】

縦置き KIT を本装置の左側面または右側面に、本体取付用ネジで取り付けます。
(図は、ApresiaLightGM110GT-SS の右側面に、縦置き KIT(小)を取り付ける場合の例になります。)

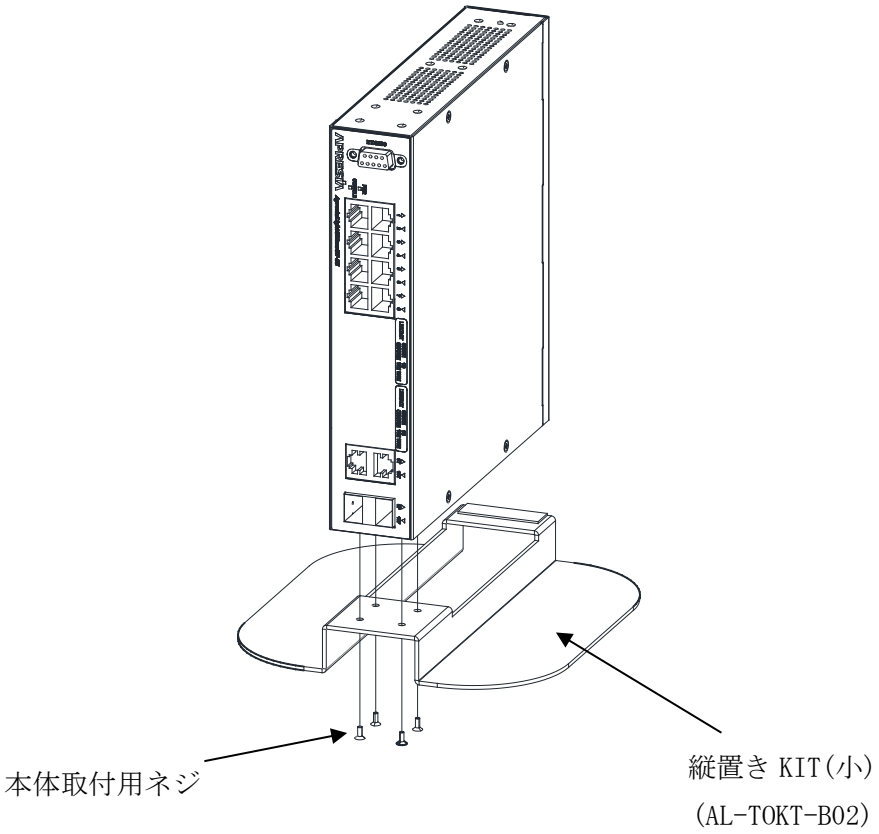


図 3-7 縦置き KIT(小)(AL-TOKT-B02)の取り付け方法

縦置き KIT は、不安定な場所には設置しないでください。

3.2.5 AC 電源コードストッパーの取り付け方法

AC 電源コードストッパー(AL-ACPWCD-SP)(別売り)の取り付け方法を以下に記載します。

【構成品】

・AC 電源コードストッパー　　× 1 個

【手順】

①AC 電源コードストッパーを AC インレット下部の穴に差し込んでください。
　ApresiaLightGM124GT-PoE/PoE2 は AC インレット上部に穴があります。
　(AC 電源コードストッパーの輪部が電源ケーブル側になるように差し込みます)
②電源ケーブルを AC インレットに押し込んでください。
③AC 電源コードストッパーのロックを外して輪を緩めます。
　その輪を電源ケーブルの根元までスライドし、輪を縮めてロックを掛けます。
④AC 電源コードストッパーから電源ケーブルを外す時は、ストッパーを解除しながら
　輪部をスライドさせます。

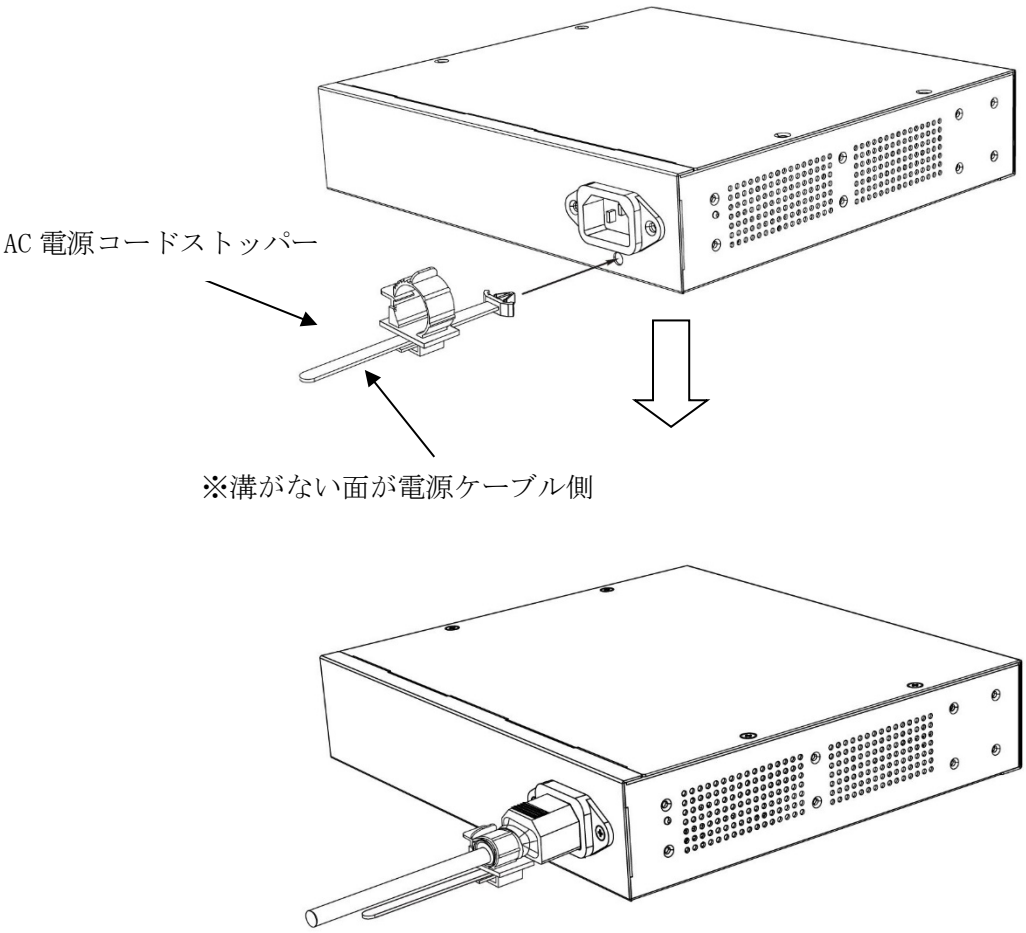


図 3-8 AC 電源コードストッパー(AL-ACPWCD-SP)の取り付け方法

3.2.6 マグネットの取り付け方法

マグネットで設置する場合、必ずマグネット(AL-MG-B04)(別売り)を使用してください。マグネットは本装置の4隅の底に取り付けます。
この設置の際に、本装置とその周りの環境との間に換気のための100 mm以上の空間を確保してください。

【構成品】

- マグネット　× 4個
- マグネットフット　× 4個
- 本体取付専用ネジ(M3×5　ISO並目)　× 4個

【手順】

① 製品底面、円印のあるネジ部にマグネットを本体取付専用ネジで締め付けます。(4ヶ所)
② 本体取付専用ネジの締め付けトルクの推奨は0.69N・m(7kgf・cm)です。
③ マグネット上にマグネットフット(滑り止め)を貼り付けます。(4ケ所)
④ マグネットフットは剥離紙を剥がしてから貼り付けます。

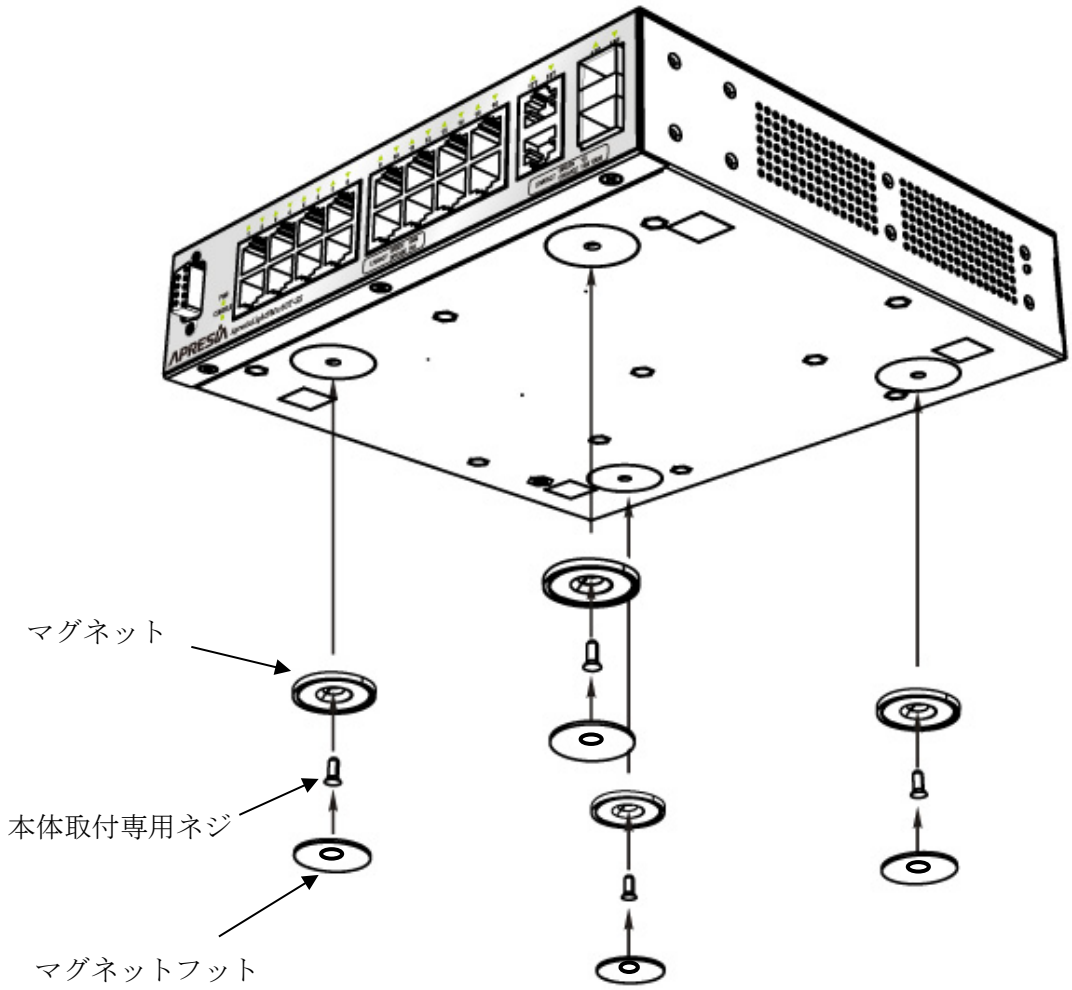


図 3-9 マグネット(AL-MG-B04)の取り付け方法

⚠ マグネット付属のネジはそのマグネット専用のネジです。他のネジを使ったり、他のマグネットのネジとして使ったりできません。マグネットを固定する際は、必ずそのマグネットに添付のネジをご使用ください。

⚠ 本体底面のネジ穴はマグネット取り付け専用のネジ穴です。その他の用途に使用しないでください。機器の破損の原因になる恐れがあります。

⚠ マグネット取り付けの際は、マグネットの強磁性により指や手などを挟み込む恐れがありますので、取り付けの際は十分ご注意ください。

⚠ マグネットの取り付けおよび機器の設置は、ケーブルなどの重みにより機器が落下しないように確実に行ってください。ケガや機器の破損の原因になる恐れがあります。

⚠ マグネットを使用して機器を高所に取り付けないでください。落下によるケガや機器破損の原因になる恐れがあります。

⚠ ポートが上向きとなる設置はしないでください。本装置の故障の原因となります。

⚠ 振動や衝撃の多い場所、および不安定な場所には設置しないでください。落下によるケガや機器破損の原因になる場合があります。

⚠ 本装置を設置、移設、撤去する際は、落下、転倒に十分ご注意ください。ケガや機器の破損の原因になる恐れがあります。

🚫 マグネットで本装置を取り付けた状態で、本装置をずらさないでください。被着面の塗装などに傷がつく場合があります。

🚫 マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により記録内容が消去される場合があります。

🚫 マグネットをパソコンやディスプレイなどの磁気の影響を受けやすい電子機器に近づけないでください。磁気の影響により故障などの原因になる場合があります。

❗ 設置面の状態によっては、マグネットの充分な強度を得られない場合があります。

3.2.7 筐体ゴム足の取り付け方法

標準添付筐体ゴム足(標準添付品)の取り付け方法を以下に記載します。

【構成品】

・ 筐体ゴム足　　× 4個

【手順】

①製品底面、四角印のあるネジ部にゴム足を貼り付けます。(4ヶ所)

②筐体ゴムは剥離紙を剥がしてから貼り付けます。

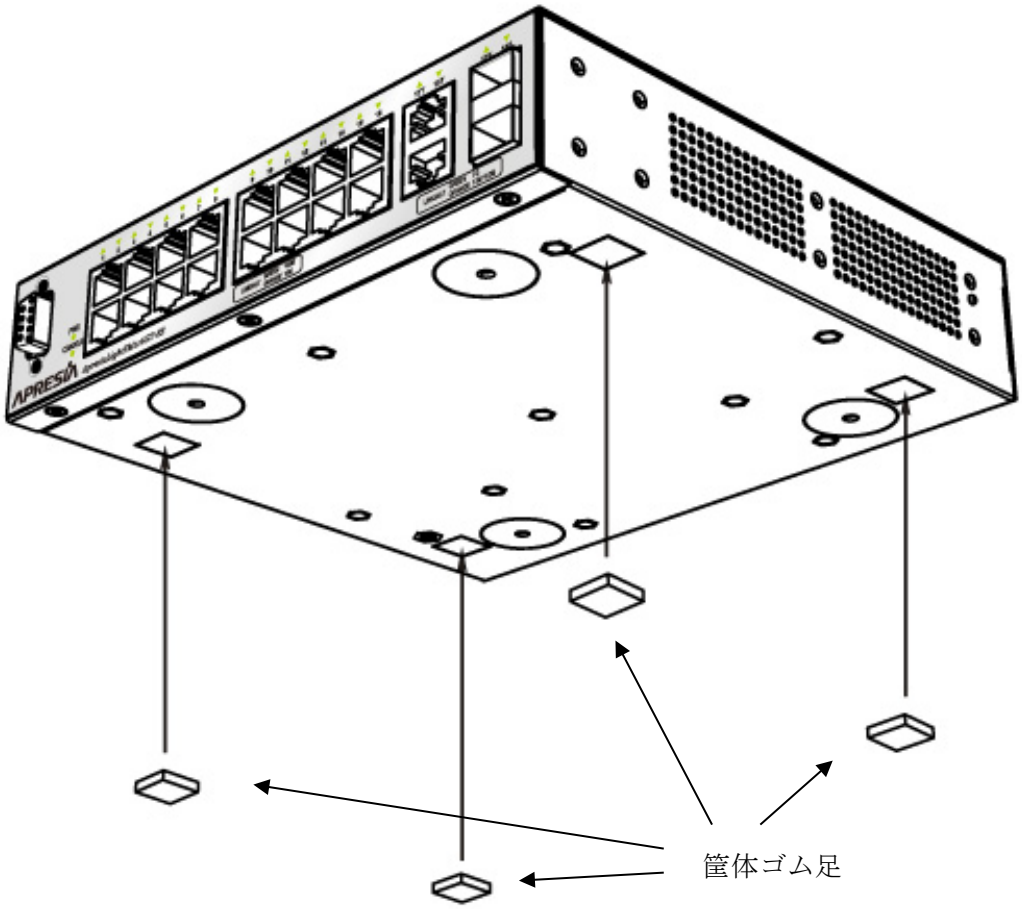


図 3-10 筐体ゴム足の取り付け方法

3.3 トランシーバーの装着

3.3.1 SFP の装着

(1) 使用するポートに SFP を挿入してください。トランシーバーの向きに注意してください。(SFP の挿入方向は奇数ポートと偶数ポートで反対になります)

(2) カチッと手応えを感じるまで押し込んでください。脱け防止金具がある SFP の場合は、最後まで押し込んだ後ロックしてください。

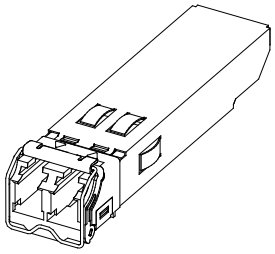


図 3-11 SFP の外観

図 3-12 SFP の接続

SFP の向きを間違えて挿入した場合、途中で強い抵抗感がありますので、それ以上無理に押し込もうとせず、SFP を一旦引き抜いてから向きを確認して、再度挿入してください。
SFP の向きを逆にして接続しようとすると、SFP が損傷することがあります。

SFP ポートは Auto-negotiation を Enable または Disable に設定できます。初期設定時は Enable に設定されていますので、必要に応じて設定を変更してください。

対応するトランシーバー(2.5 項参照)を使用してください。対応するトランシーバー以外のものを使用した場合、通信が出来ないことがあります。

3.3.2 SFP の脱着

(1) 奇数のポートの場合、SFP の脱け防止金具を下げ、引き抜いてください。
(2) 偶数のポートの場合、SFP の脱け防止金具を上げ、引き抜いてください。

3.4 電源の接続

3.4.1 AC 電源の接続

本装置では AC 電源を使用します。電源コードのインレットを本装置の AC インレットに挿入し、電源コードのプラグを電源コンセントに挿入してください。

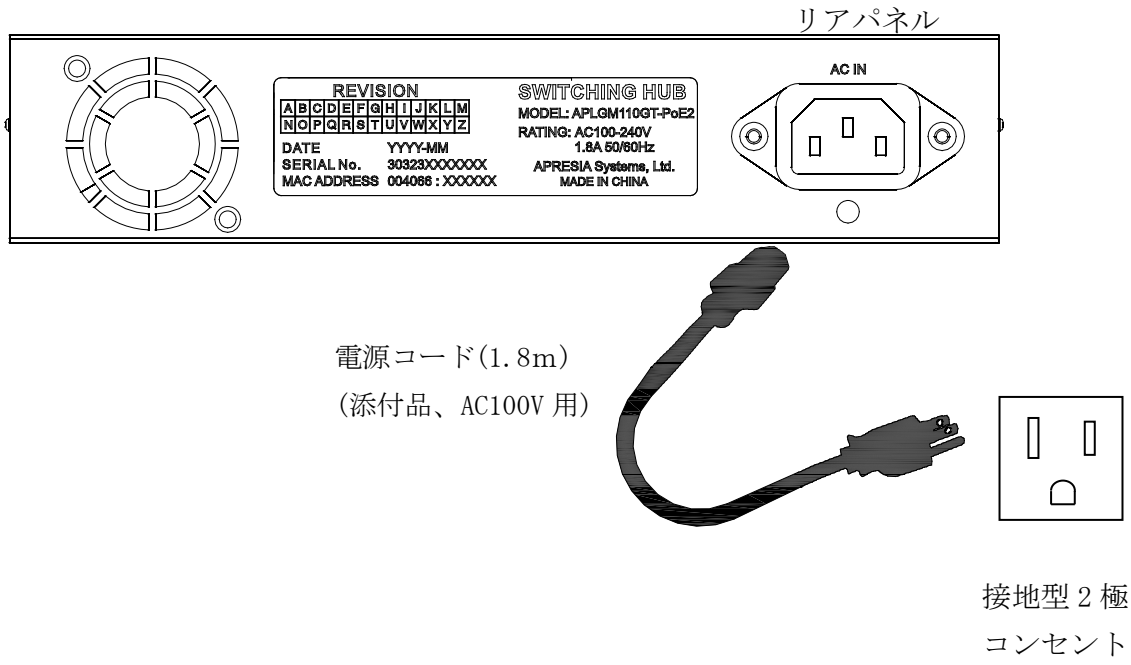


図 3-13 AC 電源の接続方法

(1) 電源コードのプラグは、所定のコンセントにしっかり差し込んでください。
(2) コンセントは、必ずアース付きのものを使用してください。

⚠ 警告

電源コードは、必ず添付品の接地付き三端子電源コードを使用してください。またコンセントは、接地極が正しく接地されたコンセントを使用してください。接地が正しく行われていない状態で運転した場合、作業者が感電する恐れがあります。また、本装置の故障の原因となります。

⚠ 警告

ノイズなどが重畳された不安定な接地極を使用しないでください。不安定な接地極を使用した場合、作業者が感電する恐れがあります。また、本装置の予期しない動作や故障の原因となります。

⚠ 警告

添付されている電源コードは本装置専用ですので、他の製品で使用しないでください。

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。この対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

3.5 装置起動の確認

本装置に電源コードを接続後、PWR LED が点灯することを確認してください。PWR LED が点灯しないときは、電源供給を停止した後、電源コードを取り外し、電源コードの接続状態、および供給電圧が正常かどうかを確認してください。接続に問題がないにもかかわらず LED の点灯状態が異常な場合は、本装置の故障が考えられます。ただちに運転を停止して、お買い求めの販売店もしくは販売元にご連絡ください。

本装置の起動途中に接続先装置のポートが一時的にリンクアップする場合があります。

3.6 周辺機器の接続

本装置を接続する際は、以下の手順にて周辺機器を接続してください。
各ポートの接続状態を確かめた時点で「LINK/ACT」LED が接続状態の表示とならない場合は、7 章トラブルシューティングを参考にしてください。

3.6.1 RJ45 ポートの接続

本装置の 10/100M ポート、10/100/1000M ポートは、通信速度及び全二重/半二重の認識及び固定設定が可能です。

(1) ご使用になるツイストペアケーブルを 10/100M ポート、10/100/1000M ポート及び端末または他のネットワーク機器に正しく接続してください。
(2) 正しく接続されるとリンク信号を受信し、そのポートに対応する LINK/ACT LED が点灯します。
LED の点灯色に関しては、2.4 項をご参照ください。

本装置は、ツイストペアケーブル等に帯電した電荷がユーザポートに印加されますと、故障の原因になりますので、ケーブルの敷設や移動をした場合、除電を確認した後で本装置にツイストペアケーブルを接続することをお勧めします。

3.6.2 光ポートの接続

(1) ご使用になる光ケーブルを 1000BASE-X(SFP)ポートに接続してください。
(2) 端末または他のネットワーク機器（スイッチングハブ等）と適合するケーブルで接続されるとリンク信号を受信し、そのポートに対応する LINK/ACT LED が点灯します。

3.6.2.1 光トランシーバー型式と光ケーブルの対応

光トランシーバーと光ケーブルの対応表を以下に記載します。

表 3-4 光トランシーバーと光ケーブルの対応表

光トランシーバータイプ	光ケーブルの種類	モード帯域 (MHz･km)	伝送距離 (※参考値)
H-SX-SFP	GI-62.5/125	160 *1)	最大 220m
		200 *1)	最大 275m
	GI-50/125	400 *1)	最大 500m
		500 *1)	最大 550m
H-LX-SFP	SM-9/125	-	最大 5km
H-FX-SFP	GI-62.5/125	500 *2)	最大 2km
	GI-50/125		
H-BX10-SFP	SM-9/125	-	最大 10km
H-BX20-SFP			最大 20km

*1）波長 850nm 帯　*2）波長 1300nm 帯

⚠ 警告

電源が入っている場合は、光ポート及びそれに接続されている光ファイバー終端を直接見てはいけません。

⚠ 注意

光ケーブルを本装置に接続する際には、ファイバークリーナ等で必ず光コネクターの端面を清掃してから接続してください。汚れが光トランシーバーに溜まり、故障の原因となります。

表 3-4 の伝送距離は参考値です。周囲の環境や、ご使用する光ケーブルの品質および設置状態等により最大伝送距離は変化します。

光ケーブルの接続は、SFP を正しい向きで奥までしっかりと挿入してから行ってください。SFP の装着が不完全な状態では正常な通信は行われません。

4. システムパラメーター設定の手順

システムパラメーター設定は、コンソールポートにパラメーター設定端末を接続して行うことができます。システムパラメーター設定の手順を以下に記載します。

パラメーター設定端末の準備(4.1.1 節参照)

↓

パラメーター設定端末の接続(4.1.2 節参照)

↓

パラメーター設定端末の電源 ON

↓

本装置の電源 ON

↓

LED 表示ランプの確認

PWR 表示 LED が点灯していることを確認してください。

↓

表示されたら、何かキーを押してください。
表示されない場合、Ctrl+R を押し、コンソール画面を更新してください。
<表示例>
Press any key to login...

↓

パラメーター設定端末の表示画面の確認
以下のような表示がされていることを確認してください。
表示されない場合、Ctrl+R を押し、コンソール画面を更新してください。
<表示例>

```
ApresiaLightFM108GT-SS Fast Ethernet Switch
Command Line Interface

Firmware: 1.12.00
Copyright(C) 2019 Apresia Systems, Ltd. All rights reserved.
UserName:
```

↓

システムパラメーターの設定

(CLI マニュアル又は SW マニュアル参照)

↓

本装置からログアウト

```
#logout


Press any key to login...
```

↓

パラメーター設定端末を電源 OFF とし、本装置から取り外します。

↓

セットアップ完了

図 4-1 システムパラメーター設定手順

4.1 コンソールポートからパラメーターの設定

4.1.1 パラメーター設定端末の準備

本装置のパラメーター設定に必要な端末の条件及び通信条件を以下に記載します。

表 4-1 パラメーター設定端末の条件

項番	項目	仕様
1	端末の設定	ANSI(VT100 互換)

表 4-2 通信条件

項番	項目	仕様
1	スクリーンサイズ	80 列×25 行/スクリーン以上
2	キャラクター	8bit/キャラクター
3	ストップビット	1bit
4	パリティ	なし
5	フロー制御	なし
6	ボー・レート	9600bps
7	RS, ER	常時 ON とする。
8	CD	監視しない。
9	端末接続ケーブル	RS-232C ケーブル(ストレート)、 ただし、本装置側は DB-9 オス型コネクターを使用のこと。

4.1.2 パラメーター設定端末の接続

パラメーター設定端末と本装置のコンソールポートを標準添付されている専用コンソールケーブル(ストレート)を用いて接続します。

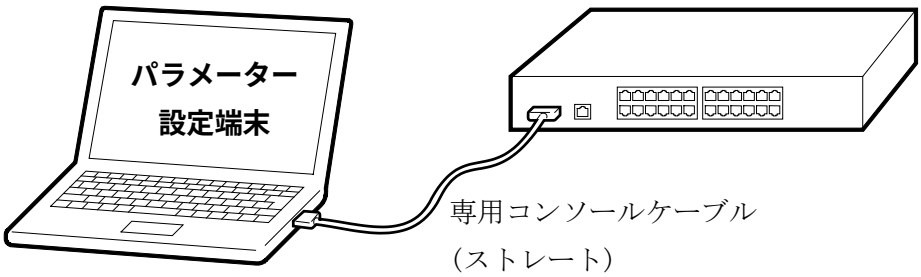


図 4-2 RS-232C ケーブルの接続

コンソールポートには、パラメーター設定時のみに RS-232C ケーブルを接続し、通常の運用時には接続しないでください。

5. パラメーターの設定

コマンドライン方式による基本的なキー操作を説明します。その他の詳細な設定に関しては、別紙 CLI マニュアルをご参照ください。

5.1 基本的なキー操作

コマンド編集キーと表示制御キーの使い方を以下に記載します。

表 5-1 コマンド編集キーの使い方

Delete キー	カーソルを当てた文字を削除して、次に、その行に残った文字を左にシフトします。
Backspace キー	文字をカーソルの左方向に削除して、次に、その行に残っている文字を左にシフトします。
Insert キーまたは Ctrl+R	オンとオフを切り替えます。 オンの場合、文字を挿入し、前の文字を右にシフトします。
左向き矢印キー	左にカーソルを移動します。
右向き矢印キー	右にカーソルを移動します。
上向き矢印キー	前に入力したコマンドを繰り返します。 上向き矢印キーを押すたびに表示されているものよりも前のコマンドが表示されます。 このように、現在のセッションのコマンド履歴を見直すことができます。 コマンド履歴を順番に沿って前に進めるためには、下向き矢印キーを使用します。
下向き矢印キー	下向き矢印キーは現在のセッションに入力されたコマンド履歴において次のコマンドを表示します。 各コマンドは、入力した順番に表示されます。 上向き矢印キーを使用して、前のコマンドを見直します。
Tab キー	左にある次のフィールドにカーソルをシフトします。

表 5-2 表示制御キーの使い方

スペースバー	次のページを表示します。
Ctrl+C	複数のページが表示される場合、残りのページの表示を止めます。
ESC キー	複数のページが表示される場合、残りのページの表示を止めます。
n	次のページを表示します。
p	前のページを表示します。
q	複数のページが表示される場合、残りのページの表示を止めます。
r	現在表示されているページを更新します。
a	ページ表示を中断せずに、残りのページを表示します。
Enter キー	次の行またはテーブルエントリを表示します。

本装置を再起動またはログアウトすると、コマンド履歴はクリアされます。

使用されるターミナルエミュレータプログラムによっては、動作しない場合があります。

ローカルコンソールで入力する文字は大文字、小文字を区別します。たとえば S と s は別の文字と認識されますので、ご注意ください。

5.2 初期ログイン方法

パラメーター設定端末が正しく接続された状態で本装置の電源を投入するとローカルコンソール画面に以下に示すような UserName:が表示され、UserName : adpro により装置にログインします。初回立ち上げ時にはパスワードは設定されていませんので、そのままリターンを押してログインしてください。

```
                    ApresiaLightFM108GT-SS Fast Ethernet Switch
                              Command Line Interface


                                 Firmware: 1.12.00
          Copyright(C) 2019 Apresia Systems, Ltd. All rights reserved.
UserName:adpro
PassWord:


#
```

5.3 ユーザーアカウント設定

5.3.1 ユーザーアカウントの作成

参照ユーザーアカウントの作成は、create account コマンドで行います。続けてアカウントレベルを入力した後、アカウントとして任意の文字列（1-15 文字以内）を入力し Enter キーを押します。アカウント作成後は save コマンドを使用して変更を保存してください。

(以下の例は、ユーザー権限のアカウント名「APS」を作成した場合)

```
#create account user APS
Command: create account user APS


Enter a case-sensitive new password:****
Enter the new password again for confirmation:****
Success.


#
```

5.3.2 パスワードの設定

管理者アカウント「adpro」のパスワード設定は、config account コマンドで行います。コマンドに続いてアカウント名を入力し Enter キーを押します。現在のパスワード入力を促すコメントが表示されますので、入力し Enter キーを押します。新規パスワード入力を促すコメントが表示されますので、任意の文字列（0-15 文字以内）を入力し、Enter キーを押します。さらに新規パスワードの再入力を促すコメントが表示されますので、同じ文字列を入力し、Enter キーを押します。パスワード変更後は save コマンドを使用して変更を保存してください。パスワードは*で表示されます。

(以下の例は、アカウント名 APS にパスワードを設定した場合)

```
#config account APS
Command: config account APS

Enter a old password:****
Enter a case-sensitive new password:****
Enter the new password again for confirmation:****
Success.

#
```

パスワードはシステム保護上非常に重要な情報となります。従って、他人に解読されないような複雑な文字列を入力ください。また、決して忘れないでください。

5.3.3 アカウントの削除

参照ユーザーアカウントの削除は、delete account コマンドで初期化することで行います。

(以下の例は、ユーザー権限のアカウント名「APS」を削除した場合)

```
#delete account APS
Command: delete account APS

Success.

#
```

5.3.4 IP アドレスの設定

VLAN に IP アドレスを設定します。

(以下の例は、vlan 名:default に IP アドレス:10.1.1.1/8 を設定した場合)

```
#config ipif System ipaddress 10.1.1.1/8 vlan default
Command: config ipif System ipaddress 10.1.1.1/8 vlan default

Success.

#
```

5.4 設定の保存

設定・変更したコンフィグデータの保存は、save コマンドで行います。

```
#save
Command: save

Saving all configurations to NV-RAM...... Done.
Success.

#
```

設定変更後に設定保存コマンドを使用しない場合にはリブート後に設定が元に戻ってしまいます。

5.5 ログアウト

ログアウトは、logout コマンドで行います。

```
#logout

Press any key to login...
```

logout コマンドの他に、コンソールの使用されていない時間が一定時間を超えた場合、本装置から自動的にログアウトします。

6. ソフトウェア使用について

ユーザーは、本装置を使用することにより、本ハードウェア並びに本ハードウェア内部で動作するソフトウェア（以下、本ソフトウェアといいます）に関して、下記の諸条件に同意したものとします。

(1) 本装置の使用に起因する、または本装置の使用不能によって生じたいかなる直接的または間接的な損失・損害等（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、これに限定されない）については、当社はその責を一切負わないものとします。

(2) 当社は、本ソフトウェアに関していかなる保証も致しません。

(3) 本ソフトウェアを逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブルすることはできません。

(4) 本ソフトウェアを本ハードウェアから分離すること、または本ハードウェアに組み込まれた状態以外で本ソフトウェアを使用すること、または本ハードウェアでの使用を目的とせず本ソフトウェアを移動することはできません。

Apresia は、APRESIA Systems(株)の登録商標です。
AEOS は、APRESIA Systems(株)の登録商標です。
Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。

7. トラブルシューティング

現象	対策
「PWR」 LED が点灯しない	電源コードが本装置のインレットとコンセントに正常に接続されていることを確認してください。
ツイストペアケーブルを接続しても、通信ポート用 LED が点灯しない	ツイストペアケーブルに異常がないかどうか確認してください。
	接続相手の端末が正常に動作しているかどうか確認してください。
	モジュラープラグ(RJ-45)の接続に異常がないかどうか確認してください。
	接続相手が NIC またはハブのカスケードポートである場合、ツイストペアケーブルがストレートケーブルであることを確認してください。また、接続相手がハブの MDI-X ポートの場合、ツイストペアケーブルがクロスケーブルであることを確認してください。
	SFP モジュールが正しく挿入されていることを確認してください。
「CONSOLE」 LED が点滅している	当該装置またはその接続先ネットワークにてループが生じていないか確認してください。

7.1 コンソール端末に関連する現象と対策

現象	対策
電源投入してもプロンプトが出力されない	コンソール端末の通信条件の設定が正しいことを確認してください。 設定値は「通信速度 9600bps、1 キャラクター8 ビット、ストップビット 1 ビット、パリティなし、フロー制御なし、RS, ER は常時「ON」です。
	コンソールポートとパラメーター設定端末が専用コンソールケーブルで接続されていることを確認してください。
	コンソールポートへの接続が正常かどうか確認してください。
	「PWR」 LED が点灯していることを確認してください。
設定値が正常に入力されていない	正常な文字数であれば、内部のメモリーに異常が発生していると考えられます。お買い求めの販売店もしくは販売元にお問い合わせください。

7.2 Telnet に関連する現象と対策

現象	対策
端末から Telnet によりログインすることができない	本装置の IP アドレス、ネットマスク、デフォルトルートの設定が正常であることを確認してください。また設定後にリセットもしくは電源再投入がされていることも確認してください。
	接続しているポートの通信設定が ENABLE 状態になっていることを確認してください。ENABLE 状態ならば、ツイストペアケーブルの接続を確認してください。
	Telnet しようとするアドレスが本装置のアドレスであることを確認してください。
	本装置が正常に起動し、動作していることを確認してください。

7.3 スイッチングハブ機能に関連する現象と対策

現象	対策
端末から別の端末にデータの中継ができない	各端末が別々のポート VLAN グループに所属していないかどうか確認してください。
	各端末とスイッチングハブ間のケーブルの接続が正常であることを確認してください。
	本装置のポート通信動作と、接続先装置のポート通信動作を確認してください。本装置が Half Duplex で動作し、かつ、接続先装置ポートが Full Duplex で動作している場合、中継異常になる場合があります。Half Duplex 同士、又は、Full Duplex 同士で接続した後に、本装置を再起動してください。
パケットロスが発生する	特定のポートから出力されるフレームの負荷が 100%を超えていないかどうか確認してください。(特定のポートに 100%を超える負荷が集中した場合、別ポートにも影響を及ぼし、パケットロスが発生する場合があります。)

本装置と一部の古い端末(NIC 等)を接続した状態で本装置を起動させた場合、Auto-Negotiation 有効同士の設定にもかかわらず、10M 固定でリンクアップしてしまう場合があります。復旧方法としては、ツイストペアケーブルを複数回挿抜する必要があります。

7.4 VLAN に関連する現象と対策

現象	対策
VID を指定するとエラーメッセージが表示される	指定した VID が、既に他の VLAN グループで使用されているとき、エラーメッセージが表示されます。VID の設定を修正してください。

7.5 SFP に関連する現象と対策

現象	対策
SFP を認識している状態でリンクアップしない	SFP を認識している状態でリンクアップしない場合は、SFP の光送受信レベルが異常になっている可能性があります。show sfp diag コマンド(APLFM シリーズは Version 1.08.00 以降、APLGM シリーズは Version 1.04.00 以降でサポート)により SFP の光送受信レベルを確認してください。
SFP を認識している状態で通信しない	SFP を認識している状態で通信しない場合は、SFP が不完全装着になっている可能性があります。SFP を再度装着し直してください。現象が再発する場合は SFP 又は装置の異常が考えられます。show sfp diag コマンド(APLFM シリーズは Version 1.08.00 以降、APLGM シリーズは Version 1.04.00 以降でサポート)により SFP の光送受信レベルを確認してください。

7.6 PoE に関連する現象と対策

現象	対策
端末へ給電されない	給電の Status が Enable になっているかを確認してください。
	ツイストペアケーブルに異常がないかどうか確認してください。
	モジュラープラグ(RJ-45)の接続に異常がないかどうか確認してください。
	端末の給電クラスと合致しているかを確認してください。
	スイッチの給電制限を超えていないかを確認してください。
PoE 機能が停止する	APLGM1xxGTPOE/POE2 内部の基板部には温度センサーが内蔵されています。この温度センサーが 65℃以上を検知すると PoE 機能を停止します。仕様範囲内の温度でご使用ください。
装置が停止する	APLGM124GTPOE/POE2 内部の電源部には温度センサーが内蔵されています。この温度センサーが 90℃以上を検知すると装置への電力供給を停止します。仕様範囲内の温度でご使用ください。

基板部温度センサーの閾値超過検知により PoE 機能が停止し、その後温度が閾値以下になった場合、自動復旧させるモードと手動復旧させるモードを設定可能です。

電源部温度センサーの閾値超過検知により PoE 機能が停止し、その後温度が閾値以下になった場合、電源 OFF/ON によってのみ復旧が可能です。自動復旧しません。

7.7 FAN に関連する現象と対策

現象	対策
電源投入しても冷却ファンが回転しない	ファンそのものの異常が考えられます。カバーをあけることなく、お買い求めの販売店もしくは販売元にお問い合わせください。
FAN 異常のログが表示される	APLGM1xxGTPOE/POE2 および APLGM152GT は FAN の状態(回転数)を検知して動作します。FAN 回転数：0～2,000rpm で Abnormal slow(FAN 低速)、FAN 回転数：0rpm で Stop(FAN 停止)のログを出力します。APLGM118GTPOE/POE2 および APLGM124GTPOE/POE2 は FAN 異常を検出すると PoE 機能を停止します。

APLGM1xxGTPOE/POE2 および APLGM152GT では show environment コマンドで FAN の回転数を確認する事ができます。show environment コマンドで表示される FAN の番号と APLGM124GTPOE/POE2 の FAN の場所の関係を図 7-1 に、APLGM124GTPOE/POE2 の FAN の場所の関係を図 7-2 に、APLGM152GT の FAN の場所の関係を図 7-3 に示します。

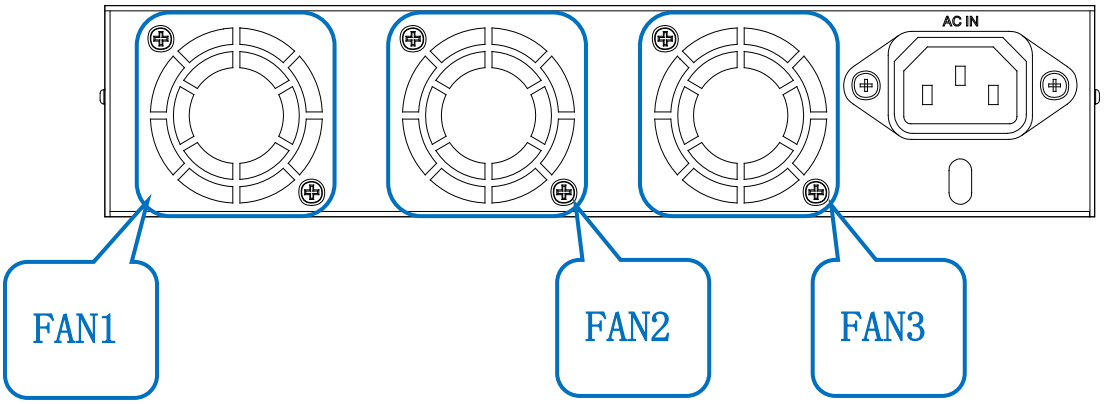


図 7-1 APLGM118GTPOE/POE2 の FAN と show environment コマンドで表示される FAN 番号

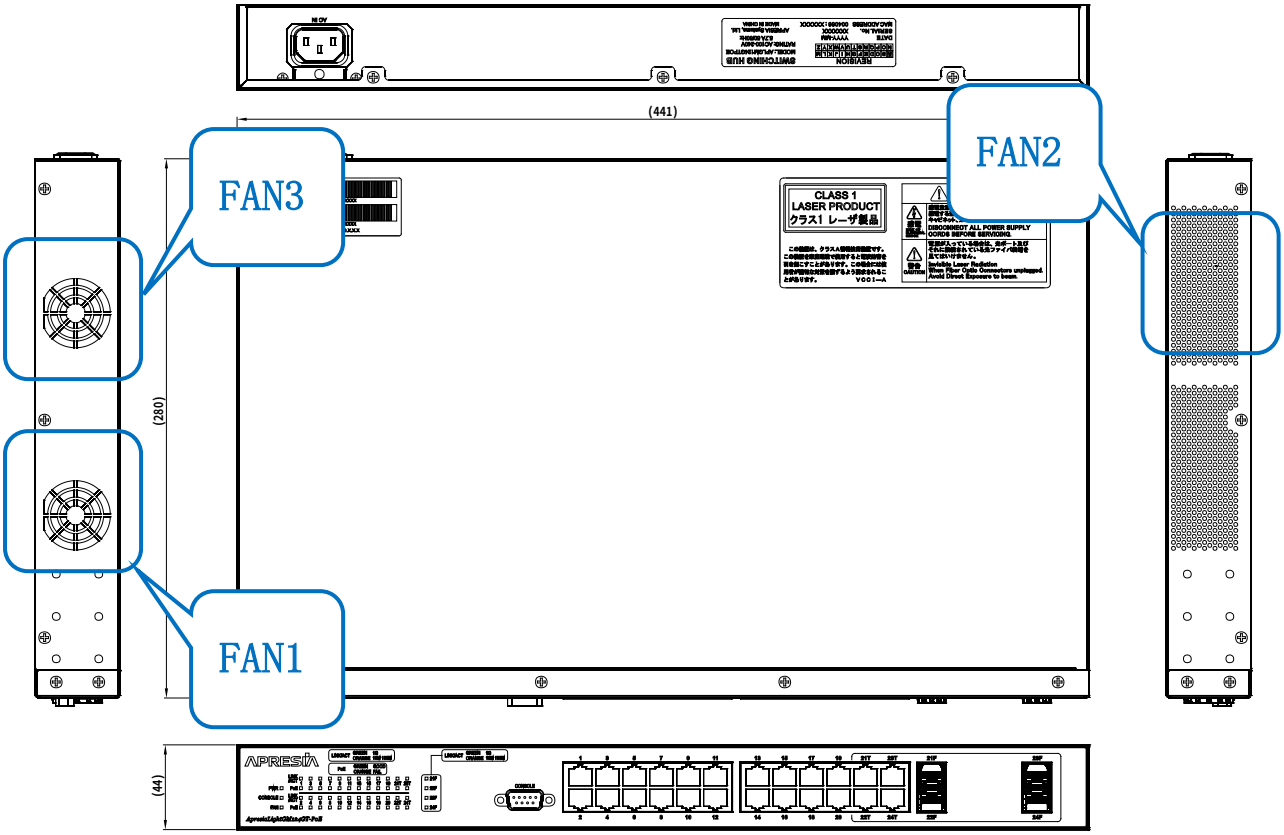


図 7-2 APLGM124GTPOE/POE2 の FAN と show environment コマンドで表示される FAN 番号

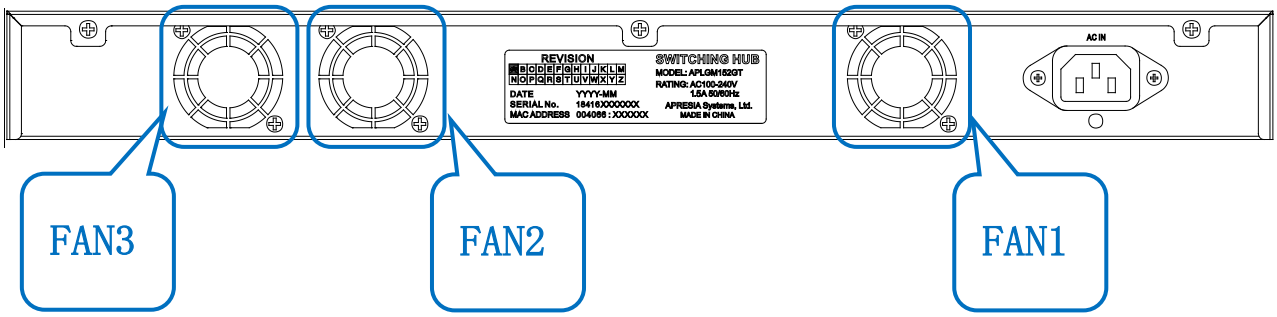


図 7-3 APLGM152GT の FAN と show environment コマンドで表示される FAN 番号

APLGM118GTPOE/POE2 および APLGM124GTPOE/POE2 は、FAN 回転数異常検知により PoE 機能を停止した後 FAN の回転数が正常になった場合、自動復旧させるモードと手動復旧させるモードを設定可能です。

ApresiaLightFM/GM シリーズ、ApresiaLightGM152GT
ハードウェアマニュアル

Copyright(c) 2011 APRESIA Systems, Ltd.

2011 年 1 月 初版
2021 年 2 月 第 17 版

APRESIA Systems 株式会社
東京都中央区築地二丁目 3 番 4 号
築地第一長岡ビル 8 階
https://www.apresiasystems.co.jp/